

デジタルHD ビデオカセットレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDV
HDV 1080i

DVCAM™

DV Digital
Video
Cassette

Mini **DV** Digital
Video
Cassette

PROGRESSIVE

HVR-M35J

目次

第1章 概要

本機の特長	4
各部の名称と働き	6
前面パネル	6
背面パネル	16
付属リモコン	21
文字情報表示について	23

第2章 再生・記録

電源・カセットについて	28
電源を準備する	29
電源を入れる	29
カセットを入れる／取り出す	29
再生／録画時のご注意	30
記録フォーマットと入出力信号について	31
HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い	31
EEモード時の入力信号と出力信号	31
記録時の入力信号と記録フォーマット	32
再生時のフォーマットと出力信号	33
再生する	35
接続する	35
準備する	37
再生する	37
再生機能	38
オートリピート（カスタムリピート）	40
エッジクロップマーカー	42
MARKER BURN	43
レコーダーとして使う	44
接続する	44
準備する	46
記録する	47
記録機能	47

第3章 タイムコードを活用する

タイムコードやユーザービットを設定する	49
内蔵タイムコードジェネレーターを使う	49
タイムコードを出力する	54

(続く)

第4章 i.LINK端子を使ったダビング、デュプリケート、音声ダビングとパソコンとの接続

i.LINK端子を使って他の機器へダビングする	55
接続する	55
ダビングする	56
デュプリケート (同一タイムコードのワークテープ作成)	57
音声ダビング	61
編集する (パソコンと接続する)	63
接続する	63
準備する	64

第5章 メニューで行う調整と設定

メニューの操作	65
メニューの構成	66
メニューの項目	67

第6章 保守・点検

困ったときは	83
警告表示とお知らせメッセージ	90
本機の性能を保持するために	92
VTRについて	92
ヘッドのクリーニング	92
カセットについて	93
液晶画面について	94
結露について	94
デジタル時計による定期点検	95
内蔵の充電式電池について	95
ライセンスに関する注意	95

付録

ダビングについて	96
i.LINK (アイリンク) について	99
保証書とアフターサービス	100
仕様	100
索引	103
サブメニュー索引	105

概要

本機の特長

HVR-M35J は、HDV フォーマットとDVCAM/DV フォーマットを採用したデジタルHD ビデオカメラレコーダーです。映像信号を色信号と輝度信号に分け(コンポーネント方式)、デジタル処理を行うことにより、安定した高画質を実現しています。

以下に、本機的主要な特長を紹介します。

HDV/DVCAM/DV フォーマットを採用

DVCAM フォーマットカセットまたは DV フォーマットカセットに、HDV/DVCAM/DV フォーマットで録画・再生できます。

●**HDV フォーマット:** デジタルハイディフィニション(HD)の画像の録画・再生ができます。HDV 映像信号の圧縮形式はBS デジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクで採用されているMPEG2 方式です。本機では、HDV フォーマットの中で、有効走査線数 1080 本のインターレース方式(1080/60i、1080/50i 方式)、およびプログレッシブ方式(1080/24p、1080/30p、1080/25p 方式)を採用しています。記録時の映像ビットレートは約25Mbps です。デジタルインターフェースにi.LINKとSDI(出力)を採用し、HDVに対応するテレビやパソコンとのデジタル接続が可能です。

●**DVCAM/DV フォーマット:** 4:1:1(60i 方式)、4:2:0(50i 方式)コンポーネントデジタル方式の家庭用DV フォーマットをベースにソニーが開発した、業務用の1/4インチデジタル記録フォーマットです。本機では、DVCAMとDV フォーマットのSP モードで記録・再生ができます。

◆ 詳しくは、「HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い」(31ページ)をご覧ください。

HDV インターレース/プログレッシブ方式の録画/再生に対応

HDV フォーマットの1080/60i、1080/24p、1080/30p、1080/50i、1080/25p方式の録画、再生に対応しています。

また、HDVフォーマットの720/30p、720/24p、720/25pの再生に対応しています。

(録画はデジタルインターフェースのi.LINK 入力からになります。)

HDV 4 チャンネルオーディオ再生対応

HDV フォーマットで4チャンネル録音された音声の再生に対応しています。

高性能ダウンコンバート機能

HDVフォーマットで録画したテープを再生するとき、ダウンコンバートして映像を出力することができますので、デジタルハイディフィニション(HD)に対応していないディスプレイでのプレビューが可能になります。またアスペクト比もスクイーズ、レターボックス(ⓘ HDV/DV 端子出力を除く)、エッジクロップ(サイドカット)から選択できます。

16:9カラーLCDモニター

2.7型16:9カラーLCDモニターを装備しており、記録・再生している内容をその場で確認することができます。セットアップメニューやオーディオレベル、本機の状態などの文字情報をスーパーインポーズして表示することもできます。

スピーカーを装備

本体の内蔵のモノラルスピーカーで、手軽に再生／録画音声の確認ができます。

豊富な入／出力端子

以下の端子を装備し、様々な機器との接続を可能にします。

- ・入力端子：
 - S VIDEO IN 端子、VIDEO IN 端子、AUDIO IN 端子
- ・出力端子：
 - HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子、S VIDEO OUT 端子、VIDEO OUT 端子、AES/EBU OUT 端子、AUDIO OUT 端子、MONITOR 端子、TC OUT 端子
- ・入出力端子：
 - HDV/DV 端子

SDI とは

Serial Digital Interface (シリアル デジタル インターフェース) の略です。本機では HD/SD の非圧縮映像信号を出力します。

AES/EBU とは

デジタル音声信号を非圧縮で伝送するフォーマットです。1 個の端子で 2 チャンネルの信号を扱うことができます。

VTR操作に必要なボタン・スイッチ類を装備

本機には、入力選択スイッチや、録音レベル調節つまみ、ヘッドホンレベル調節つまみ、ステータスチェックボタンなど、VTRの操作に必要な様々なボタンやスイッチ類を装備しています。

タイムコード・ユーザービット類を装備

本機でメニュー操作して、タイムコードやユーザービットを設定できます。また、TC OUT 端子を使用して外部へタイムコードを出力できます。

JOG AUDIO機能

DSRM-10 (別売) を使用すると、ジョグ／シャトルモードによるサーチ時に、音声をモニターすることができます。

(HDVフォーマットで記録されたテープではジョグ音声は出力できません。)

言語設定

本機は、画面上に表示される言語を選択することができます。お買い上げ時は英語で表示される設定になっています。

- ◆ 表示する言語を変えるときは、「OTHERS」メニューの「LANGUAGE」(80 ページ) をご覧ください。

メンテナンスを容易にする諸機能

- **自己診断／警告表示機能**：操作や接続の誤り、動作異常などを自動的に検出し、これらの内容、原因、対策を HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子、S VIDEO OUT 端子、VIDEO OUT 端子、MONITOR 端子と LCD モニターに出力します。
- **デジタル時間計**：通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、テープスレディング／アンスレディング回数の4種類の累積値を算出し、メニュー内に表示します。

.....
これらはソニー株式会社の登録商標です。

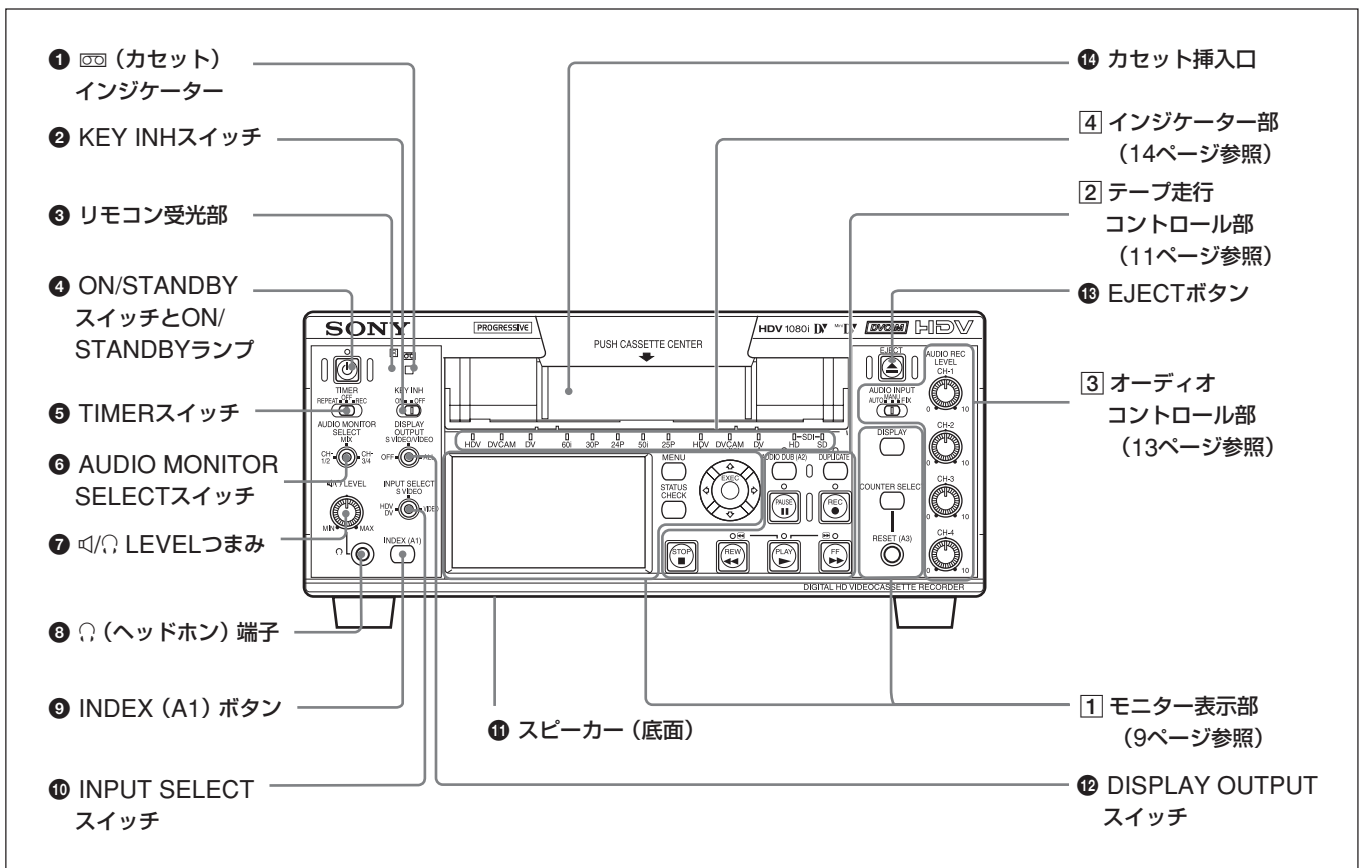


HDV はソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。

その他、本書で登場するシステム名および製品名は、各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文では™、® マークは明記していません。

各部の名称と働き

前面パネル



1 (カセット) インジケータ

デジタルビデオカセットが挿入されているときに点灯します。カセット入れがカセットを引き込んでいないときは、点灯しません。カセット取り出し中は点滅します。
◆詳しくは「カセットを入れる／取り出す」(29ページ)をご覧ください。

2 KEY INH (キー操作禁止) スイッチ

[ON]にするとすべてのボタンが働かなくなります。誤ったボタン操作を防ぎたいときに使用します。

ご注意

- このスイッチをONに設定しているときもスイッチ5、6、10、12、3-1、つまみ7、3-2、背面パネルの2-1を操作することができます。
- このスイッチをONに設定していても、リモコン、LANC、CONTROLS、i.LINKから本機を操作することができます。

3 リモコン受光部

ご注意

付属リモコンだけでなく、他のソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが[VTR4]に設定されているもの) が本機に向けて使用された場合、本機はリモコン操作に反応します。リモコンによる本機の操作をすべて無効にしたいときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。

4 ON/STANDBY (オン/スタンバイ) スイッチとON/STANDBY (オン/スタンバイ) ランプ

本機背面パネルのPOWER (主電源) スイッチが|側 (ON) のとき、ON/STANDBYランプは緑色または赤色に点灯します。赤色に点灯(スタンバイモード)中にこのスイッチを押すと本機の電源が入り、ランプが緑色に点灯します。もう一度押すと、本機はスタンバイモードに戻ります。

ご注意

- ON/STANDBYランプが消灯しているとき、このスイッチは働きません。背面パネルのPOWERスイッチを|側 (ON) にしてから操作してください。
- ◆ POWERスイッチについて詳しくは、「POWER (主電源) スイッチ」(17ページ) をご覧ください。
- KEY INHスイッチ②をONに設定しているときは、このスイッチは働きません。OFFに設定してから操作してください。

5 TIMER (タイマー) スイッチ

オートリピート(連続再生)とタイマー記録の切り換えスイッチです。

REPEAT: 本機に電源が供給されるとテープがテープトップまで巻き戻り、再生が始まります。テープ上にある下記項目を検出すると、テープトップまで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。

-インデックス信号

-未記録部分

-[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットで記録されている部分

-テープエンド

テープの再生中や巻き戻し中にREPEATに切り換えても同様に連続再生します。

- ◆ オートリピートについて詳しくは、「オートリピート (カスタムリピート)」(40ページ)、または「VTR SET」メニューの「CUSTOM REPEAT」(76ページ) をご覧ください。

OFF: オートリピートやタイマー記録をしません。

REC: 本機に電源が供給されると記録が始まります。

ご注意

このスイッチの設定は、KEY INH スイッチ②がONに設定されていても切り換えに従って本機が動作します。

6 AUDIO MONITOR SELECT (オーディオモニター選択) スイッチ

4チャンネル音声出力のときに、本機背面のMONITOR AUDIO端子と⊖(ヘッドホン) 端子⑧およびスピーカー⑪に出力する音声チャンネルを選択します。

CH-1/2: チャンネル1/2

MIX: チャンネル1~4

CH-3/4: チャンネル3/4

ご注意

- 音声ダビング中にテープに記録された音声のみを聞くときは、このスイッチをCH-1/2に設定してください。ダビング音声のみを聞くときはCH-3/4に設定してください(音声ダビングはチャンネル3/4にのみ行うことができます)。また音声ダビングの前にダビング音声のみを確認したい場合は、このスイッチをCH-3/4に設定して、停止状態でAUDIO DUB (音声ダビング) ボタンを押してください。一時的に音声ダビングするチャンネル(チャンネル3と4)のみを聞くことができます。

- ◆ 音声ダビングについて詳しくは61ページをご覧ください。また、あわせて11ページのAUDIO DUB(A2)ボタン①の説明もご覧ください。

- オーディオ4チャンネルで記録したHDV再生の場合も、このスイッチの設定は有効です。
- HDVまたはDVのフォーマットにかかわらず、オーディオモードが2チャンネルの場合、このスイッチの設定をCH-3/4にすると音声出力されません。
- このスイッチを[MIX]に設定しているときはチャンネル1と3、およびチャンネル2と4の合成信号レベルになります。

7 ㊦/⊖ LEVEL (スピーカー/ヘッドホンレベル調節) つまみ

本体底面のスピーカー⑪および⊖(ヘッドホン) 端子⑧に接続したヘッドホンの音量レベルを調整します。

- スピーカーとヘッドホンの音量レベルの設定は共通です。個別に設定することはできません。
- スピーカーからの音声出力のON/OFFは[OTHERS]メニューの[SPEAKER/BEEP]の設定(81ページ)を変更することで、切り換えることができます。

8 ⊖ (ヘッドホン) 端子

ヘッドホンを接続します。ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生中の音声信号をヘッドホンでモニターできます。モニターする音声信号は、AUDIO MONITOR SELECTスイッチ⑥で選択できます。

接続すると本体スピーカーからの音は聞こえなくなります。


(続く)


⑨ INDEX (インデックス) (A1) ボタン

記録中に押すとインデックスを打ち込むことができます。インデックスは頭出しするときに便利です。また、ASSIGN (A1) ボタンとして使用することができます。


- ◆ インデックスについて詳しくは、「記録機能」(47ページ)をご覧ください。
[OTHERS]メニューの[ASSIGN BTN]→[ASSIGN[A1]]でASSIGN ボタンの設定を切り換えた場合、設定された機能を実行します。
- ◆ ASSIGN ボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」(80ページ)をご覧ください。

⑩ INPUT SELECT (入力選択) スイッチ

本機背面パネルの  HDV/DV 端子、S VIDEO IN 端子、VIDEO IN 端子からの入力を切り換えます。




- HDV/DV :  HDV/DV 端子からの入力信号が選択されます。
- S VIDEO : S VIDEO IN 端子からの入力信号が選択されます。
- VIDEO : VIDEO IN 端子からの入力信号が選択されます。

ご注意

- 記録中は切り換えしないでください。切り換えた瞬間に画面表示が明るくなったり、画像と音声にノイズが出たりすることがあります。その部分は正常に記録されません。また、タイムコードが不連続になる場合があります。
- 記録中にスイッチを切り換えると、 HDV/DV 端子からの出力信号が途切れることがあります。また、著作権などの情報を誤って検出する可能性があります。
- i.LINK 入力時は以下の映像、音声に関する各種の設定は無効になります。
 - 60i/50i SEL
 - AUDIO MODE
 - AUDIO LOCK
 - AGC CH1, 2
 - AGC CH3, 4
 - AUDIO IN の INPUT LEVEL (−10/−2/+4) スイッチ
 - AUDIO REC LEVEL つまみ
 - AUDIO INPUT (AUTO/MANU/FIX) スイッチ

⑪ スピーカー(底面)

記録/再生中の音声信号をモノラルでモニターできます。音量レベルの調整とモニターする音声信号の設定はヘッドホン出力と共通です。ヘッドホンを接続しているときは、スピーカーから音は出ません。

- ◆ 音量レベル調整について詳しくは「  LEVEL (スピーカー/ヘッドホンレベル調節) つまみ」(7ページ)をご覧ください。また、ヘッドホン出力について詳しくは、「 (ヘッドホン) 端子」(7ページ)をご覧ください。

⑫ DISPLAY OUTPUT (文字情報表示切り換え) スイッチ OUTPUT 端子に文字情報をスーパーインポーズする出力先を選択します。

OFF : 出力されません。

S VIDEO/VIDEO : S VIDEO OUT 端子、VIDEO OUT 端子、MONITOR VIDEO 端子に文字情報をスーパーインポーズします。

ALL : HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子、S VIDEO OUT 端子、VIDEO OUT 端子、MONITOR VIDEO 端子に文字情報をスーパーインポーズします。

⑬ EJECT (カセット取り出し) ボタン

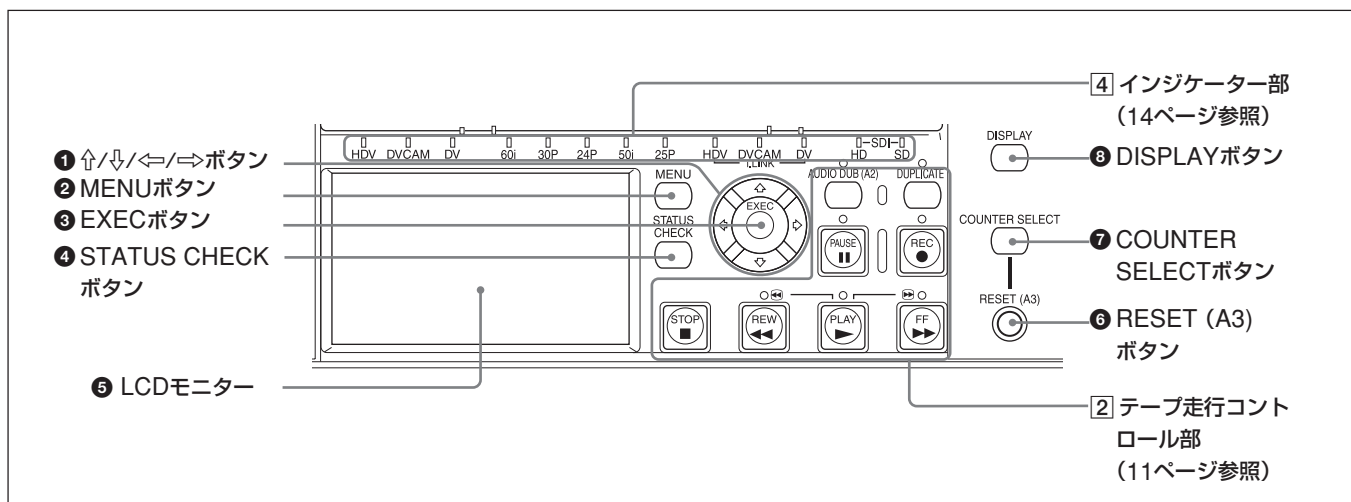
カセットが入っているときに押すと、カセット挿入口からカセットが排出されます。

⑭ カセット挿入口

スタンダードサイズまたはミニサイズのデジタルビデオカセットを挿入します。

- ◆ 使用できるカセットについては、「電源・カセットについて」(28ページ)をご覧ください。

1 モニター表示部



1 上/下/左/右ボタン

メニュー項目などを設定するときに使います。

LCDモニターにデータ（フォーマット、走行モードなど）を表示しているときに上/下ボタンを押すことで、LCD画面の明るさを調整することができます。調整レベルの表示は調整終了後、約1秒たつと消えます。

画面がタイムカウンター表示状態になっているときは上/下ボタンでカウンターの位置を移動することができます。カウンターがSMALL表示のときは上下だけでなく、左/右ボタンで左右にも移動することができます。

ステータスチェック画面表示中は上/下ボタンで画面を切り換えることができます。

2 MENU（メニュー）ボタン

押すとメニューが表示されます。

◆メニューについて詳しくは、「メニューの操作」（65ページ）をご覧ください。

3 EXEC（実行）ボタン

メニュー項目などを設定するときに使います。

4 STATUS CHECK（設定状況チェック）ボタン

オーディオレベルやメニューの設定状況の確認ができます。

STATUS CHECKボタンを押すと、設定状況画面を表示します。上/下ボタンを押すことによって、オーディオレベルメーター/SPEAKER/BEEP設定値、出力設定値、ASSIGNボタン設定値、カスタムリピート設定値を切り換えて表示します。設定状況画面を消すには、もう一度STATUS CHECKボタンを押します。

ご注意

オーディオレベルメーターは[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]、AUDIO MONITOR SELECTスイッチ、再生テープのオーディオモードの設定によって表示が異なります。

5 LCD（液晶）モニター

本機の再生画およびEE¹⁾画を表示します。さらに、タイムデータ、本機の状態、メニュー、オーディオレベルなどの文字情報をスーパーインポーズして表示します。

6 RESET（カウンターリセット）（A3）ボタン

タイムカウンターのカウント値を表示しているときに、このボタンを押すと、カウント値を0:00:00:00にリセットします。

また、ASSIGN（A3）ボタンとして使用することができます。

[OTHERS]メニューの[ASSIGN BTN]→[ASSIGN[A3]]でASSIGNボタンの設定を切り換えた場合、設定された機能を実行します。

◆ASSIGNボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」（80ページ）をご覧ください。

（続く）

1) EE画：EEは「Electric to Electric」の略。VTRの記録回路に入力した映像・音声の信号を、テープや磁気変換回路を通さずに、電気回路のみを通して出力するモードをEEモードという。EE画はEEモードの出力画像のこと。

ご注意

- タイムコードおよびユーザービット表示には、このボタンは働きません。
- タイムコードやユーザービットをリセットしたいときは、[TC/UB SET]メニューの[TC PRESET]、[UB PRESET]でリセットしてください。

⑦ COUNTER SELECT (カウンター選択) ボタン

データ表示、またはタイムカウンター表示のときに、このボタンを押すたびにタイムコード、ユーザービット、カウンターのカウント値を切り換えて表示します。

カウンターのカウント値(7桁表示)は±12時間モードで表示します。

ご注意

本機のカウンターのカウント値は、タイムコードを元に算出した簡易的なものです。そのため以下のような場合には、正確な値が算出されることがあります。

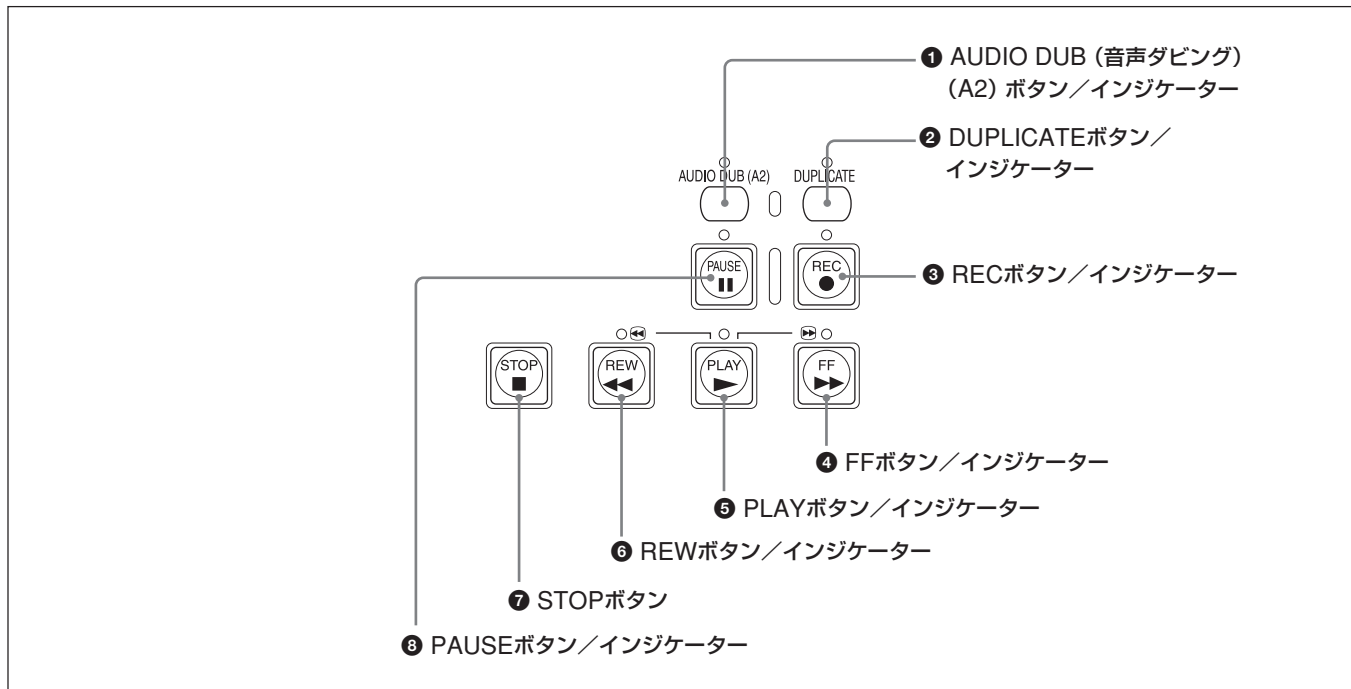
- タイムコードに不連続な部分があるテープを使用している場合
- DF/NDFが混在して記録されているテープを使用している場合 (60i方式 (30p/24pを含む) の信号使用時のみ)
- 記録部分の間に無記録部分があるテープを使用している場合
- [OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を[60i]に設定していて、50iまたは25pフォーマットで記録されたテープを使用している場合
- [OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を[50i]に設定していて、60iまたは24p/30pフォーマットで記録されたテープを使用している場合
- [TC/UB SET]メニューの[TC RUN]を[FREE RUN]に設定している場合

⑧ DISPLAY (LCDモニターとビデオ端子出力への文字情報表示切り換え) ボタン

LCDモニターと本機背面のビデオ出力端子への文字情報の表示方法を切り換えます。このボタンを押すたびに映像のみ、映像とデータ表示、映像とタイムカウンター表示を切り換えて表示します。

- ◆ 文字情報について詳しくは、「文字情報表示について」(23ページ)をご覧ください。

2 テープ走行コントロール部



1 AUDIO DUB (音声ダビング) (A2) ボタン/インジケータ

音声ダビングするときに使います。音声ダビング中はインジケータが点灯します。

また、ASSIGN (A2) ボタンとして使用することができます。

- ◆ 音声ダビングについて詳しくは、「音声ダビング」(61ページ)をご覧ください。

停止状態のときに、i.LINK入力以外を選択しているかつ、カラーバーを表示していない場合、このボタンのみを押すと、一時的にダビング入力の音声(チャンネル3、4)のEE信号を確認することができます。確認中はインジケータが点灯します。確認を終了するときはSTOPボタンを押します。

- ◆ 詳しくは、「IN/OUT REC」メニューの「EE/PB SEL」(72ページ)をご覧ください。

[OTHERS]メニューの[ASSIGN BTN]→[ASSIGN[A2]]で

ASSIGNボタンの設定を切り換えた場合、設定された機能を実行します。

- ◆ ASSIGNボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」(80ページ)をご覧ください。

2 DUPLICATE (デュプリケート：複製) ボタン/インジケータ

タイムコード情報も含めた同じテープをデュプリケート(複製)するときに使います。デュプリケート中はインジケータが点灯します。

- ◆ デュプリケートについて詳しくは、「デュプリケート(同一タイムコードのワークテープ作成)」(57ページ)をご覧ください。

停止状態のときに、i.LINK入力を選択しているHDV/DV信号が入力されている場合、このボタンのみを押すと、一時的に画像、音声、タイムコードのEE信号を確認することができます。確認中はインジケータが点灯します。確認を終了するにはSTOPボタンを押します。

- ◆ 詳しくは、「IN/OUT REC」メニューの「EE/PB SEL」(72ページ)をご覧ください。

- ◆ タイムコードについて詳しくは、「本機のタイムコード」(53ページ)をご覧ください。

(続く)

③ REC (記録) ボタン/インジケータ

このボタンを押したままPLAYボタンを押すと、RECボタンとPLAYボタンのインジケータが点灯し、記録が始まります。停止状態のときにこのボタンのみを押すと、一時的に画像、音声のEE信号を確認することができます。HDV/DV端子選択時に、[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]が[EXTERNAL]に設定されていれば、タイムコードのEE信号も確認することができます。確認を終了するにはSTOPボタンを押します。

- ◆ 詳しくは、「IN/OUT REC」メニューの「EE/PB SEL」(72ページ)をご覧ください。
- ◆ タイムコードについては詳しくは、「TC/UB SET」(78ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本機は、民生用DVフォーマットのLPモードの記録には対応していません。SPモードの記録のみ対応しています。
- リモートコントロールユニットDSRM-10(別売)を使って本機を記録一時停止状態にする場合は、DSRM-10のPLAYボタンを押したままPAUSEボタンを押して本機を再生一時停止状態にしてから、RECボタンを押してください。
- 記録モードがHDVの場合は記録開始まで数秒かかることがあります。この間RECインジケータが点滅します。

④ FF (早送り) ボタン/インジケータ

押すとインジケータが点灯し、テープを早送ります。早送り中、テープの映像はモニター画面に現れません(EE画は出力されません)。早送り中、再生中および再生一時停止状態でFF(早送り)ボタンを押したままにすると、早送り再生になります。

- ◆ [VTR SET]メニューについては詳しくは、「VTR SETメニュー」(76ページ)をご覧ください。

ご注意

- [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]を[PB]に設定すると、EE画、EE音は出力されません。
- [VTR SET]メニューの[FF/REW SPEED]を[SHUTTLEMAX]に設定すると、早送り動作を常に早送り再生にすることができます。
- ◆ [SHUTTLEMAX]での走行速度については、「VTR SET」メニューの「FF/REW SPEED」(77ページ)をご覧ください。

⑤ PLAY (再生) ボタン/インジケータ

押すとインジケータが点灯し、再生が始まります。また、停止状態でREWボタンを押したままPLAYボタンを押すと、テープトップまで巻き戻り、自動的に再生が始まります(巻き戻り中、REWインジケータが点灯し、PLAYインジケータは点滅します)。

ご注意

- HDVフォーマット、DVCAMフォーマットまたはDVフォーマットの記録の境目や60iフォーマット(24p/30pを含む)と50iフォーマット(25pを含む)の境目を再生すると、その位置では映像および音声がかかります。
- 本機は、民生用DVフォーマットのLPモードの再生には対応していません。

⑥ REW (巻き戻し) ボタン/インジケータ

押すとインジケータが点灯し、テープを巻き戻します。巻き戻り中、テープの映像はモニター画面に現れません(EE画は出力されません)。巻き戻り中、再生中および再生一時停止状態でREWボタンを押したままにすると、巻き戻り再生になります。

また、停止状態でREWボタンを押したままPLAYボタンを押すと、テープトップまで巻き戻り、自動的に再生が始まります。(巻き戻り中、REWインジケータが点灯し、PLAYインジケータは点滅します)。

- ◆ [VTR SET]メニューについては詳しくは、「VTR SETメニュー」(76ページ)をご覧ください。

ご注意

- [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]を[PB]に設定すると、EE画、EE音は出力されません。
- [VTR SET]メニューの[FF/REW SPEED]を[SHUTTLEMAX]に設定すると、巻き戻り動作を常に巻き戻り再生にすることができます。
- ◆ [SHUTTLEMAX]での走行速度については、「VTR SET」メニューの「FF/REW SPEED」(77ページ)をご覧ください。

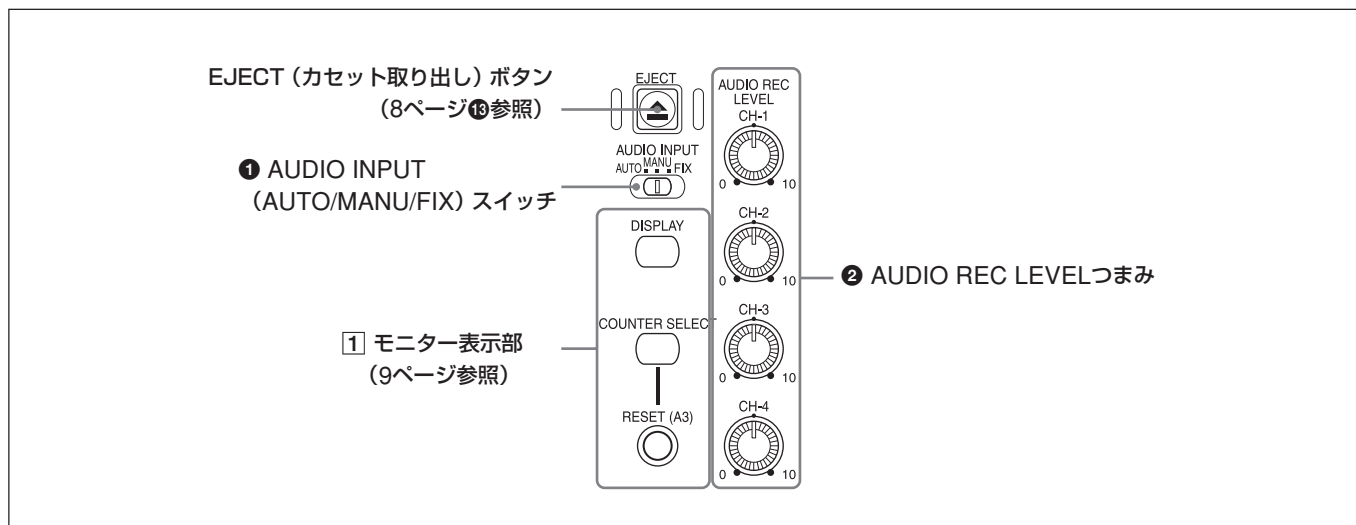
⑦ STOP (停止) ボタン

押すとテープ走行が停止します。

⑧ PAUSE (一時停止) ボタン/インジケータ

記録中、再生中、音声ダビング中にPAUSEボタンを押すと、インジケータが点灯し、各動作が一時停止状態になります。もう1度押すと、各動作を再開します。

3 オーディオコントロール部



① AUDIO INPUT (AUTO/MANU/FIX) (録音レベル調整モード切り換え) スイッチ

録音レベルの調整方法を切り換えます。

AUTO：録音レベルを自動的に調整します。(AUDIO REC LEVELつまみ②の調整が無効になります。) 入力可能な音声レベルは以下の表をご覧ください。

INPUT LEVELスイッチ (20ページ)	入力可能な最大音声
-10	+18 dBu
-2	+24 dBu
+4	+30 dBu

MANU：AUDIO REC LEVELつまみ②の調整を有効にします。

FIX：録音レベルをAUDIO REC LEVELの中間値で固定します。(AUDIO REC LEVELつまみ②の調整が無効になります。) 入力可能な音声レベルは以下の表をご覧ください。

INPUT LEVELスイッチ(20ページ)	入力可能な最大音声
-10	+18 dBu
-2	+24 dBu
+4	+30 dBu

ご注意

- i.LINK入力時はこのスイッチの設定にかかわらず、入力した信号と同じ録音レベルになります。
- [AUTO]に設定しても入力アンプのダイナミックレンジ以上の大音量に対しては効果がありません。

- 最大音声レベル以上の音声が入力されると、音声がひずみます。

② AUDIO REC LEVEL (CH-1~4) (録音レベル調整) つまみ

本機に入力されたアナログ音声信号のオーディオレベルを各チャンネルごとに調整します。

このつまみの調整は、AUDIO INPUT (AUTO/MANU/FIX) スイッチ①をMANUに設定している場合のみ有効です。

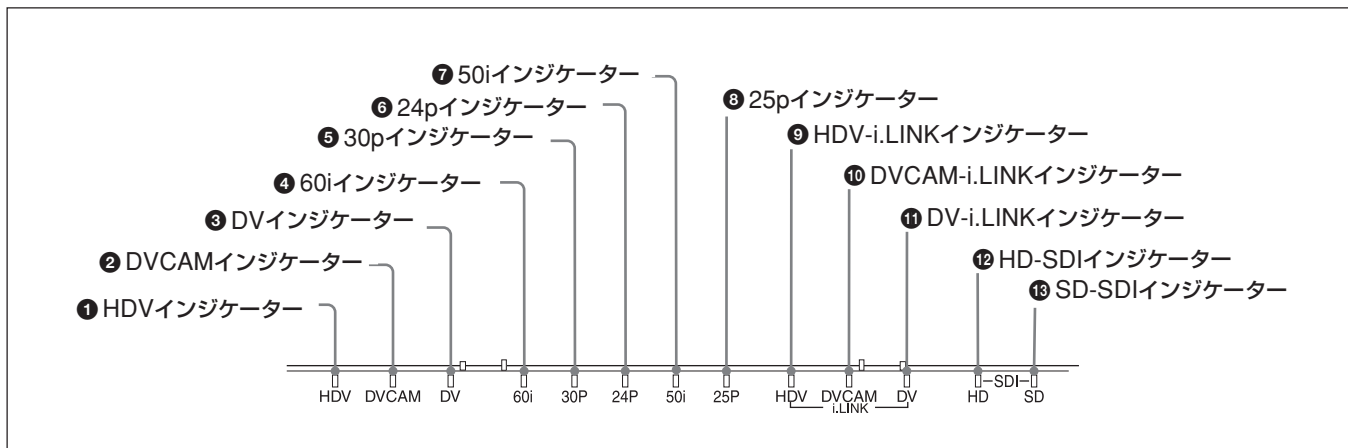
オーディオレベルメーターを表示させたいときは、本機のSTATUS CHECKボタンを押して表示します。

- ◆ オーディオレベルメーターについて詳しくは、「ステータスチェック画面」(25ページ)をご覧ください。

ご注意

i.LINK入力時は、このつまみを使ってオーディオレベルを調整することはできません。

4 インジケータ部



① HDVインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- HDVフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]に設定していて、HDVフォーマットの信号をi.LINK入力しているとき
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[HDV]に設定しているとき

② DVCAMインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- DVCAMフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- 次の4つの条件がそろっているとき
 - [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]に設定している
 - [IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]を[DVCAM]に設定している
 - 入力端子からDVまたはDVCAM信号を入力している
 - 記録時、またはEE時
- 次の3つの条件がそろっているとき
 - [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[DV]に設定している
 - [IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]を[DVCAM]に設定している
 - 記録時、またはEE時

③ DVインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- DVフォーマット (SPモード) で記録されたテープを再生しているとき
- 次の4つの条件がそろっているとき
 - [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]に設定している
 - [IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]を[DV]に設定している
 - 入力端子からDVまたはDVCAM信号を入力している
 - 記録時、またはEE時
- 次の3つの条件がそろっているとき
 - [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[DV]に設定している
 - [IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]を[DV]に設定している
 - 記録時、またはEE時

④ 60iインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- EE時または記録中で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定が[60i]になっているとき
- 1080/60i、またはNTSC方式の信号をi.LINK入力しているとき
- 1080/60i、またはNTSC方式の信号が記録されたテープを再生しているとき

⑤ 30pインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- 1080/30p、720/30pフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- 1080/30pフォーマットの信号をi.LINK入力しているとき

⑥ 24pインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- 1080/24p、720/24pフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- 1080/24pフォーマットの信号をi.LINK入力しているとき

⑦ 50iインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- EE時または記録中で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定が[50i]になっているとき
- 1080/50i、またはPAL方式の信号をi.LINK入力しているとき
- 1080/50i、またはPAL方式の信号が記録されたテープを再生しているとき

⑧ 25pインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- 1080/25p、720/25pフォーマットで記録されたテープを再生しているとき
- 1080/25pフォーマットの信号をi.LINK入力しているとき

⑨ HDV-i.LINKインジケータ

HDVフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

⑩ DVCAM-i.LINKインジケータ

DVCAMフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

⑪ DV-i.LINKインジケータ

DVフォーマットの信号をi.LINK入出力しているときに点灯します。

⑫ HD-SDIインジケータ

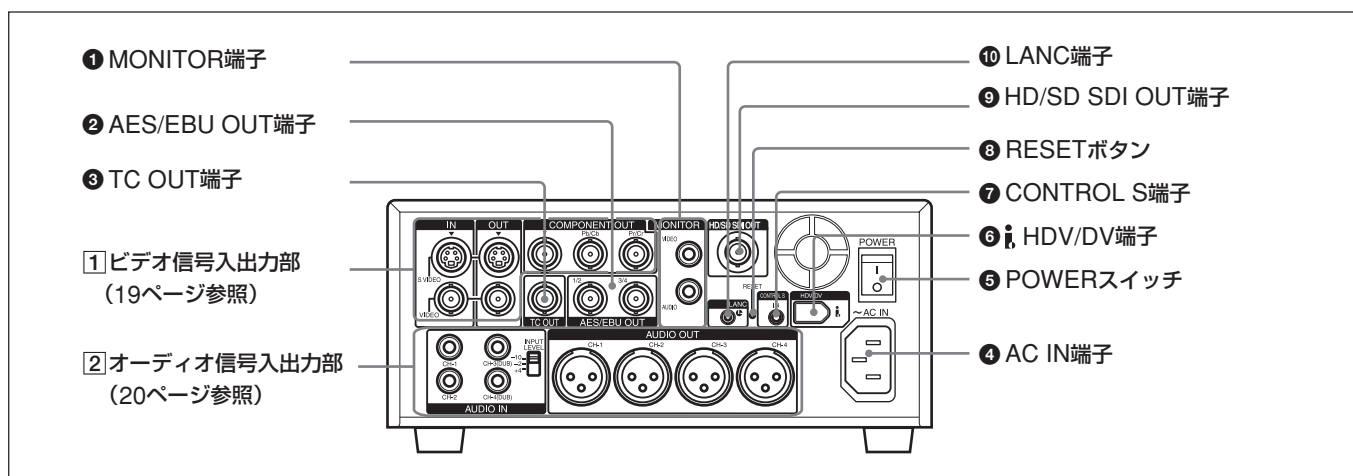
HD信号をHD/SD SDI OUT端子に出力しているときに点灯します。

⑬ SD-SDIインジケータ

本機が以下の状態のときに点灯します。

- SD信号をHD/SD SDI OUT端子に出力しているとき
- HDVフォーマットの信号をダウンコンバートしてHD/SD SDI OUT端子に出力しているとき

背面パネル



① MONITOR (モニター) 端子

MONITOR VIDEO (モニタービデオ) 端子：標準画質のビデオ信号を出力します。外部モニターの入力端子と接続します。前面パネルの DISPLAY OUTPUT スイッチを ALL または S VIDEO/VIDEO に設定しているときは、接続したモニターにタイムコード、メニュー、警告表示などの情報がスーパーインポーズ表示されます (23 ページ)。

ご注意

- MONITOR VIDEO 端子に出力される EE 画の映像の映像同期信号周波数とバースト信号は同期していません。
- MONITOR VIDEO 端子と VIDEO OUT 端子からは全く同じ信号が出力されます。
- DV 入力を選択している場合、モニターによっては EE 時に色や輝度が乱れたりする場合があります。
- この端子に接続した外部モニターにスーパーインポーズ表示させる文字情報は、LCD モニターと同じ内容です。外部モニターと LCD モニターに異なる文字情報を表示させることはできません。

MONITOR AUDIO (モニター オーディオ) 端子：モノラルの音声信号を出力します。この端子から出力する音声信号のチャンネルは、前面パネルの AUDIO MONITOR SELECT スイッチを設定して以下のように選ぶことができます。

- CH-1/2： チャンネル 1/2
- MIX： チャンネル 1～4
- CH-3/4： チャンネル 3/4

② AES/EBU OUT 端子

AES/EBU フォーマットのデジタル音声信号を出力します。AES/EBU インターフェース対応機器の入力端子と接続します。

③ TC OUT (タイムコード出力) 端子

本機のタイムコードを出力します。タイムコードリーダーや VTR などの外部機器のタイムコード入力端子と接続します。本機の動作状態によって以下のタイムコードをそれぞれ出力します。

- 再生時： 再生タイムコード
- 記録時： 本機内蔵のタイムコードジェネレーターで発生するタイムコードまたは外部のタイムコードのスルー信号

◆ 詳しくは、「本機のタイムコード」(53 ページ) をご覧ください。

ご注意

[TC/UB SET] メニューの [JOG TC OUT] を [ON] に設定すると、サーチ走行中にもタイムコードは出力されますが、不連続なタイムコードが出力されます。

④ AC IN (AC 電源入力) 端子

付属の電源コードを使って、AC 電源に接続します。本機はスタンバイ状態でも電力を消費します。完全に電源を切る場合は、POWER スイッチ ⑤ を ○ 側 (OFF) にしてください。

ご注意

アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

⑤ POWER (主電源) スイッチ

本体の主電源スイッチです。|側 (ON) にすると、前面パネルのON/STANDBYランプが緑色に点灯します。(ON/STANDBYランプは、スタンバイモードの場合は赤色に点灯します。)

長期間本機を使用しない場合は、このPOWERスイッチを○側 (OFF) にしてください。

⑥ i.LINK (アイリンク) 端子 (6ピン)

i.LINK (アイリンク) に準拠したi.LINK端子です。接続する機器にi.LINK端子があるときに使います。記録時やダビング時、画像の取り込み時などにi.LINK端子を使うと、画質劣化のほとんどないデジタル信号での伝送ができます。

◆ 詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- パソコン、本機にi.LINKケーブルをつなぐとき、端子の向きを確認してください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- この端子はHDV (1080i) /DVCAM/DV信号に対応しています。◆ 詳しくは「i.LINK (アイリンク) について」(99ページ)をご覧ください。
- i.LINK端子に入力した映像信号を、VIDEO OUT端子およびS VIDEO OUT端子に出力した場合、EE画の映像同期信号とバースト信号は同期していません。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流 (8~40 V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- 本機のi.LINK端子は6ピンタイプですが、電源供給はされません。◆ i.LINK入力時に各種の設定について詳しくは、「HDV/DV SEL」(67ページ)をご覧ください。
- 本機i.LINK端子に入力された映像信号は、i.LINK伝送信号のジッター (周波数の揺れ) がそのままHD/SD SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子に出力されます。接続しているテレビモニターにこの揺れが表示される場合があります。上記端子に他のVTRを接続して記録する場合はご注意ください。本機でテープに記録する画像には問題はありません。
- i.LINK入力されたSD画質の信号は、HD/SD SDI OUT端子からは出力されません。HD画質の信号は出力されます。

- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定を変更すると、i.LINK端子、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子に出力している映像信号が一瞬乱れる場合があります。

◆ i.LINK端子の出力については、「映像出力端子共通のご注意」(17ページ)をご覧ください。

⑦ CONTROL S (コントロールS入力) 端子

リモートコントロールユニットDSRM-10 (別売) を接続して本機をコントロールできます。DSRM-20 (生産終了品:別売) もお使いいただけます。

ご注意

コントロールS出力端子のある機器から本機を操作するときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROL S]に合わせてください。

映像出力端子共通のご注意

- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]と[DOWN CONVERT]の設定、[DISPLAY SET]メニューの[ALLSCAN MODE]の設定、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]と[DOWN CONVERT]の設定を変更すると画像が乱れる場合があります。また、上記設定の組み合わせにより、映像出力の形式が制限を受ける場合があります。◆ 詳しくは88ページの表および各メニュー設定の説明をご覧ください。
- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定を変更すると、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子、i.LINK端子に出力している映像信号が一瞬乱れる場合があります。
- 本機は標準ビデオ信号の入力のみに対応しています。以下のような映像信号を入力した場合には、記録される映像や音声の乱れることがあります。
 - 一部の家庭用ゲーム機の映像
 - 民生用VTRのブルーバック、グレーバック画面
 - TBC (タイムベースコレクター) を搭載していないVTRの変速再生中の映像
 - 同期信号が乱れている映像信号
 - テープおよび記録の状態が悪いカセットを、TBCを搭載していないアナログVTRで再生した映像
- 入力している映像信号のジッター (画面全体の揺れ) を吸収するため、アンダースキャン部で映像信号の乱れを吸収します。アンダースキャンモニターでは、アンダースキャン部にこの処理が見える場合がありますが故障ではありません。テープに記録される画像には問題はありません。

(続く)

- 記録時またはEE時、本機から出力される色信号のサブキャリアは水平同期信号と同期していません。接続するモニターによっては、色や水平同期信号が乱れることがあります。
- VIDEO、S VIDEOのOUT端子、またはCOMPONENT OUT端子に文字情報を出力させたくない場合は、本機のDISPLAY OUTPUTスイッチをOFFに合わせてください。モニター画面に表示されている項目に応じて、リモコンのDATA CODE、SEARCH SELECTボタンを押して画面表示を消してください。

⑧ RESET (リセット) ボタン

ボールペンなどの先の細いもので押すと、以下の設定は初期化されます。

- [OTHERS]メニューの[CLOCK SET](81 ページ) と[60i/50i SEL](82 ページ)
- 本機のメニュー以外の設定

⑨ HD/SD SDI OUT端子

SDIフォーマット(SD/HD)のデジタル映像/音声信号を出力します。

SDI入力端子のついた機器と接続するときは、本機のHD/SD SDI OUT端子に接続してください。COMPONENT OUT端子よりもさらに信号劣化の少ない高品質の映像を出力できます。出力される映像フォーマットは[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]で設定を行います。

ご注意

- HD/SD SDI OUT端子と、COMPONENT端子には同時に信号が出力されます。[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定は、HD/SD SDI OUT端子と、COMPONENT端子両方に有効です。
- HD/SD SDI OUT端子の信号はテープ再生時、およびi.LINK入力のHDVフォーマットEE画のみ出力されます。S VIDEO、VIDEO入力時のEE画、i.LINK入力のDV/DVCAMフォーマットEE画は出力されません。
- HDVのi.LINK入力時のSDI出力とAES/EBU出力は、SDI信号、AES/EBU信号の規格を満たしません。
- i.LINK端子に接続する機器のi.LINK信号の品質や、接続する機器のSDI入力端子、AES/EBU入力端子の性能や種類によっては、映像、音声の乱れが発生することがあります。ご使用前に問題が発生しないか、十分にご確認ください。

- 出力解像度を480p、576pに設定したときは、HD/SD SDI OUT端子から信号は出力されません。
- 内部カラーバー発生時と、無入力時もHD/SD SDI OUT端子からは信号が出力されます。

⑩ LANC (ランク) 端子

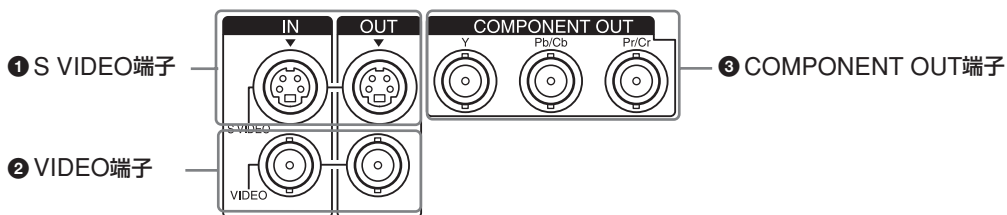
LANC¹⁾端子を持つ外部機器から本機のテープ走行などをコントロールするときに、この端子に接続します。

ご注意

- 本機のLANC端子は[LANC-S]機能にのみ対応しています。[LANC-M]機能は搭載していません。[LANC-S]の状態の機器とは接続できません。誤動作することがあります。
- 本機をプレーヤーとして使用する場合は、レコーダーのLANC切り換えをM側に合わせてください。M/Sの切り換えがないレコーダーでは、本機をコントロールすることはできません。
- 本機を接続する[LANC-M]機能付きの機器にSHUTTLE A/Bの切り換えがある場合、HDVで記録されたテープを扱うときはSHUTTLE A、DVCAM/DV (SPモード)で記録されたテープを扱うときは、SHUTTLE Bに設定することをおすすめします。
- LANC端子を通じて伝送される情報には、再生・停止・一時停止などの操作命令や、タイムコードやテープカウンター、機器の状態などのデータがあります。
- コントロールL (CONTROL L) という表示の端子はLANC端子と同じ機能を持っています。
- HDVフォーマットのテープを使用して編集する場合は、編集に制限を生じる場合があります。
 - ◆ 63ページの「編集する (パソコンと接続する)」の「ご注意」もあわせてご覧ください。

1) LANC (Local Application Control bus system):
民生用VCRをコントロールするための双方向インターフェース

1 ビデオ信号入出力部



① S VIDEO (S映像) 端子

S映像端子のついた機器と接続するときは、本機側もS VIDEO端子と接続してください。VIDEO端子と接続したときよりも信号劣化の少ない高品質の映像を入/出力することができます。

前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをS VIDEO/VIDEO、またはALLに設定しているときは、S VIDEOのOUT端子に接続した外部モニターに、タイムコード、メニュー、警告表示などの文字情報がスーパーインポーズ表示されます(23ページ)。

◆ S VIDEO端子の出力については、「映像出力端子共通のご注意」をご覧ください(17ページ)。

② VIDEO (映像) 端子

アナログ映像信号の入/出力を行います。

文字情報は、S VIDEO端子と接続したときと同様にスーパーインポーズ表示されます(23ページ)。

◆ VIDEO端子の出力については、「映像出力端子共通のご注意」をご覧ください(17ページ)。

③ COMPONENT OUT (コンポーネント出力) 端子

コンポーネント信号を出力します。コンポーネントビデオ入力端子のついた機器と接続するときは、本機のCOMPONENT OUT端子と接続してください。S VIDEO端子よりもさらに信号劣化の少ない高品質の映像を出力することができます。

出力される映像フォーマットは[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]で設定を行います。

前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをALLに設定しているときは、COMPONENT OUT端子に接続したモニターにタイムコード、メニュー、警告表示などの情報がスーパーインポーズ表示されます(23ページ)。

ご注意

- 720pで映像を出力している場合、モニターによっては文字情報表示の一部(外周部:アンダースキャン部に近い部分)が欠ける場合があります。このような場合は本機のLCDモニターもしくはS VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子で文字情報をご確認ください。また、モニターにアンダースキャンの機能が搭載されている場合は、アンダースキャン状態にて文字情報全体をご確認いただけます。

- COMPONENT端子とHD/SD SDI OUT端子には同時に信号が出力されます。[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定は、COMPONENT端子、HD/SD SDI OUT端子と、両方に有効です。

- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定を変更すると、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子、HDV/DV端子に出力している映像信号が一瞬乱れる場合があります。

- DVCAM (DV)フォーマットテープの再生時、NTSC/PALフォーマットのEE画像を表示しているときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定にかかわらず、480i (NTSC)もしくは576i (PAL)の解像度で映像が出力されます。

- COMPONENT OUT端子からの出力レベルは、以下のとおりです。

480i (NTSC)出力時

[IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL]にて[BETACAM]選択時

Y: 1.0 Vp-p (0.286 Vp-p 負同期付き, 75 Ω, 不平衡)

Pb/Cb/B-Y, Pr/Cr/R-Y: 0.7 Vp-p (75 Ω, 不平衡)

(7.5 IRE セットアップ付き 75% カラーバー時)

[IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL]にて[SMPTE]選択時

Y: 1.0 Vp-p (0.3 Vp-p 負同期付き, 75 Ω, 不平衡)

Pb/Cb/B-Y, Pr/Cr/R-Y: 0.7 Vp-p (75 Ω, 不平衡)

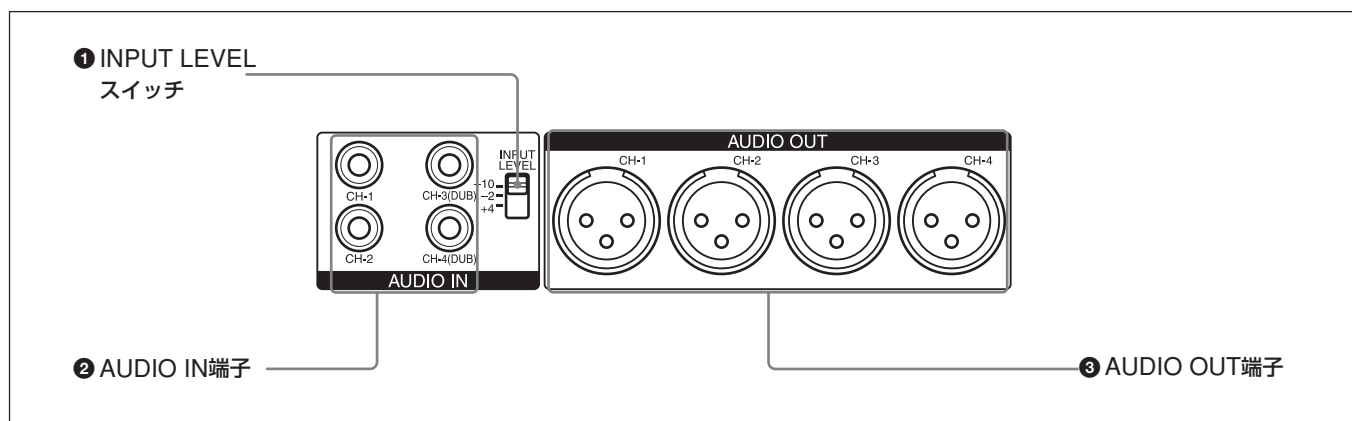
(セットアップなし 100% カラーバー時)

(続く)

その他の出力の場合

- Y: 1.0 V_{p-p} (75 Ω、不平衡)
- Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y: 0.7 V_{p-p} (75 Ω、不平衡)
(セットアップなし100%カラーバー時)
- 480i/480pはYに0.3 V_{p-p}負同期付き
- 1080i/720pはY/Pb/Prに0.6 V_{p-p}の3値同期付き

2 オーディオ信号入出力部



1 INPUT LEVEL (-10/-2/+4) (入力レベル調整) スイッチ

AUDIO IN 端子のオーディオ入力信号のレベルに合わせて-10 dB、-2 dB、+4 dBから選択します。

ご注意

このスイッチの設定が適切でないと、クリッピングが起こったりノイズが多くなったりします。

- ◆ このスイッチの設定については、89ページの「INPUT LEVEL スイッチの設定について」もあわせてご覧ください。

2 AUDIO IN (CH1~4)(チャンネル1~4音声信号入力) 端子

チャンネル1~4のアナログ音声信号を入力します。
音声ダビング時はチャンネル3、4に記録されます。

ご注意

音声ダビング時は、AUDIO IN 端子のチャンネル3、4の端子を使用してください。

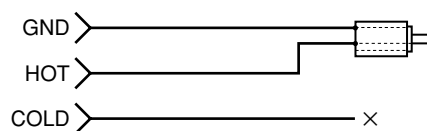
チャンネル1、2の端子を使用して音声ダビングすることはできません。

3 AUDIO OUT (CH1~4)(チャンネル1~4音声信号出力) 端子

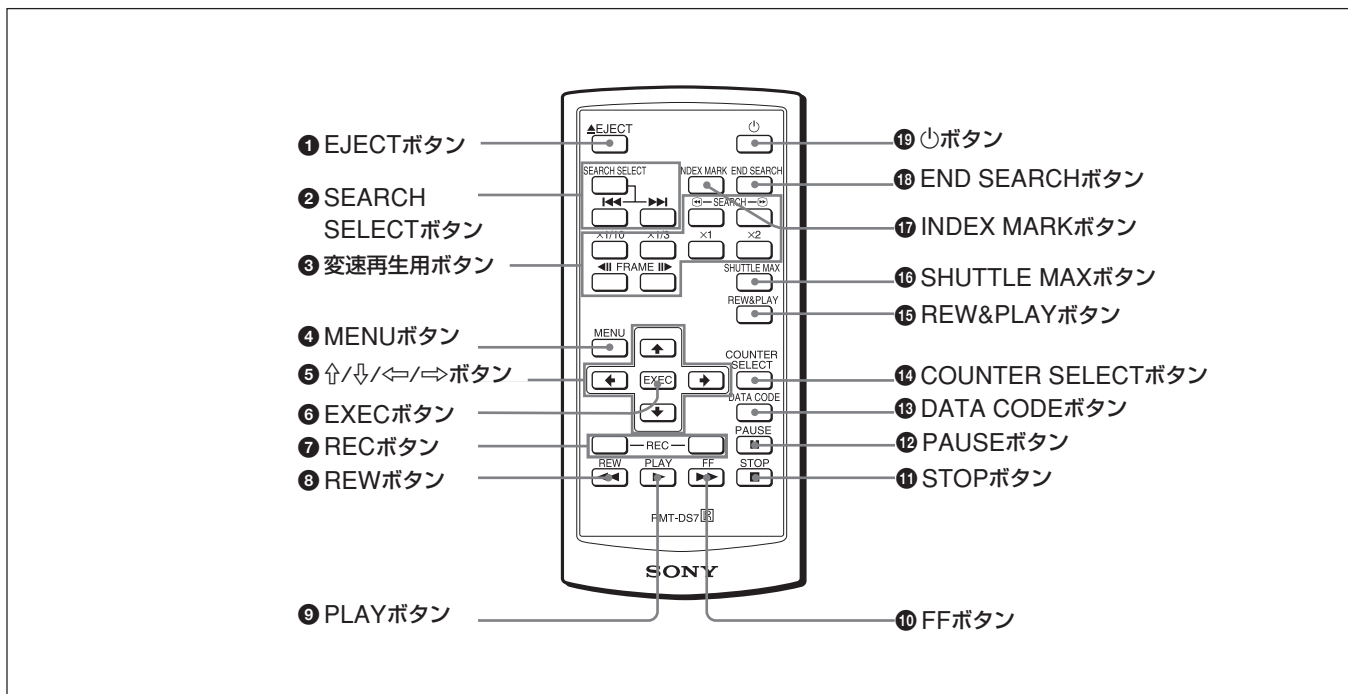
チャンネル1~4の音声信号を出力します。

ご注意

- AUDIO IN 端子へ平衡の音声信号を入力する場合には、下図のように COLD 側を OPEN にした変換ケーブルを使用してください。
- ◆ 変換ケーブルについては、ご使用の機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。



付属リモコン



① ▲EJECT (カセット取り出し) ボタン

② SEARCH SELECT (サーチ選択) ボタン

場面を頭出しするときに押します。

◆ 頭出しについて詳しくは、「頭出しする」(39ページ)をご覧ください。

③ 変速再生用ボタン

再生時に、いろいろな速さで画像を見られます。

◆ 変速再生について詳しくは、「変速再生する」(38ページ)をご覧ください。

④ MENU (メニュー) ボタン

メニューを開くときに押します。

◆ メニューについて詳しくは、「メニューの操作」(65ページ)をご覧ください。

⑤ 上下左右ボタン

メニュー画面でのカーソル操作や、カウンター位置の移動などをするときに押します。

⑥ EXEC (実行/決定) ボタン

各種メニュー設定画面で設定値を決定するときに押します。

⑦ REC (記録) ボタン

左右のボタンを同時に押すと、本体のRECインジケータとPLAYインジケータが点灯し、記録が始まります。

⑧ REW (巻き戻し) ボタン

⑨ PLAY (再生) ボタン

⑩ FF (早送り) ボタン

⑪ STOP (停止) ボタン

⑫ PAUSE (一時停止) ボタン

⑬ DATA CODE (データコード) ボタン

データコード (日付情報) を表示します。

◆ データコードについて詳しくは、「テープに記録された情報 (データコード) の表示」(38ページ)をご覧ください。

(続く)

14 COUNTER SELECT (カウンター選択) ボタン

データ表示、またはタイムカウンター表示のときに、このボタンを押すたびにタイムコード、ユーザービット、カウンターのカウント値を切り換えて表示します。

カウンターのカウント値 (7桁表示) は±12時間モードで表示します。

15 REW&PLAY (巻き戻し&再生) ボタン

テープトップまで巻き戻し、自動的に再生を始めるときに押します。(巻き戻し中、本体のREWインジケーターが点灯し、PLAYインジケーターは点滅します。)

16 SHUTTLE MAX (最速変速再生) ボタン

テープ再生中に、最速再生するときに押します。

17 INDEX MARK (インデックス打ち込み) ボタン

記録中にインデックスを打ち込みます。

◆ インデックスについて詳しくは、「インデックス信号を打ち込む」(47ページ)をご覧ください。

18 END SEARCH (エンドサーチ) ボタン

最後に記録した部分を5秒だけ再生して停止するときに押します。一度カセットを取り出すとこの機能は働きません。

19 ⏻ (オン/スタンバイ) ボタン

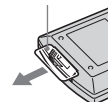
ご注意

- 付属のリモコンのリモコンモードは「VTR4」に固定されています。
- 付属のリモコンを使うときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[WIRELESS]に設定してください。
- 付属のリモコンだけでなく、ソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが「VTR4」に設定されているもの) が本機に向けて使用された場合、本機はリモコン操作に反応します。リモコンによる本機の操作をすべて無効にしたいときは、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。

操作を始める前に

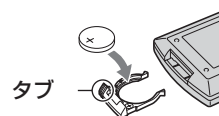
絶縁シートを引き抜いてからリモコンをお使いください。

絶縁シート



リモコンの電池を交換するには

- 1 タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- 2 十面を上にして新しい電池を入れる。
- 3 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池 (CR2025) が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

文字情報表示について

本機と接続した外部モニターに、各種文字情報をスーパーインポーズ表示することができます。

外部モニターに文字情報を表示するときは、本機の DISPLAY OUTPUT スイッチを ALL、または S VIDEO/VIDEO に設定してください。また、DISPLAY ボタンを押して、各種文字情報の表示/非表示を切り換えることができます。

この取扱説明書では、画面に表示される項目を英語で表記しています。本機ではお好みに合わせて、メニューの設定で表示言語を変更することができます。

◆ 詳しくは「OTHERS」メニューの「LANGUAGE」(80ページ)をご覧ください。

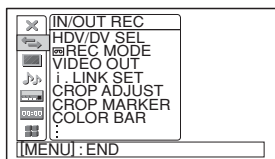
ご注意

720p モードで出力している場合、モニターテレビによっては画角の違いにより、文字情報などの一部(外周部:アンダースキャン部に近い部分)が欠けて表示される場合があります。このような場合は、本機の LCD モニターもしくは S VIDEO OUT 端子、VIDEO OUT 端子で文字情報をご確認ください。また、モニターテレビにアンダースキャンの機能が搭載されている場合は、アンダースキャンの状態でご確認いただけます。

メニュー画面

MENU ボタンを押すと表示されます。

◆ メニューについて詳しくは、「第5章 メニューで行う調整と設定」(65ページ)をご覧ください。

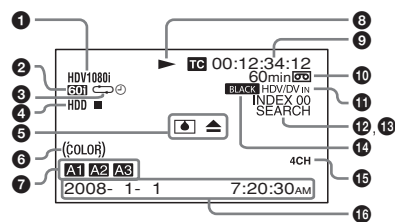


データ表示画面

DISPLAY ボタンを押すたびに、映像のみ、映像とデータ表示、映像とタイムカウンター表示を切り換えて表示します。

データ表示について

タイムコードやテープ残量など、通常の記録/再生時に必要な情報をモニターに表示させることができます。



① フォーマット表示

[HDV1080i]、[HDV720p]、[DVCAM]または[DV SP]が表示されます。

② 60i/24p/30p/50i/25p表示

③ リピート表示

TIMER スイッチを REPEAT に設定しているときに表示されます。また、[VTR SET]メニューの[CUSTOM REPEAT]→[START TIME]が[ON]に設定されているときは、⓪も表示されます(40ページ)。

④ HVR-DR60、HVR-MRC1接続表示

本機に HVR-DR60 を i.LINK 接続中に表示されます。HVR-MRC1 を接続したときは [CF] と表示されます(25ページ)。

⑤ 警告表示

警告を表示します。

◆ 警告表示について詳しくは、「警告表示とお知らせメッセージ」(90ページ)をご覧ください。

⑥ x.v.Color表示

x.v.Color で録画された画像の再生中に表示されます。

◆ x.v.Color について詳しくは「x.v.Color再生について」(30ページ)をご覧ください。

(続く)

7 ASSIGNボタン表示

各ASSIGN ボタンを初期設定以外に設定しているときに表示されます。

◆ ASSIGN ボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」(80ページ)をご覧ください。

8 走行モード表示

テープの走行モードを表示します。

9 タイムカウンター (タイムコード、ユーザービット、カウンターのカウント値) 表示

カウンターのカウント値、タイムコードまたはユーザービットを表示します。表示の切り換えは前面パネルのCOUNTER SELECT ボタンで行います。

タイムコードを表示しているときは、タイムコードの左側に **TC** と表示されます。ドロップフレームモードの場合、分と秒の間がピリオドで表示されます (例: 00:12.58:00)。

ユーザービットを表示しているときは、ユーザービットの左側に **UB** と表示されます。

カウンターのカウント値を表示している場合、タイムカウンター表示の左端の桁には、カウント値が負 (マイナス) のときには「-」が表示されます。カウント値が正 (プラス) のときには何も表示されません。カウンターのカウント値は7桁で表示されます。

自己診断機能が働いた場合には、診断番号を表示します。

ご注意

タイムコードが記録されていないテープや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたテープを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

10 テープ残量表示

テープ残量を表示します。

◆ テープ残量表示について詳しくは、「DISPLAY SET」メニューの「REMAINING」(74ページ)をご覧ください。

ご注意

テープトップまで巻き戻しているカセットを入れた直後は表示されません。しばらくテープを走行させるとテープ残量が表示されます。

11 INPUT SELECT表示

INPUT SELECT (入力選択) スイッチの位置に合わせて表示が変わります。([HDV/DV IN]、[S VIDEO IN] または [VIDEO IN]。)

12 **■** (インデックス) 表示

インデックスが打ち込まれたとき、**■** を表示します。

13 サーチ表示

付属のリモコンからサーチ (頭出し) を行った場合、サーチモードを表示します。

◆ サーチ (頭出し) について詳しくは、「頭出しする」(39ページ) をご覧ください。

14 ブラック信号表示

[IN/OUT REC]メニューの[COLOR BAR]で[COLOR BAR]を[ON]、かつ[TYPE]を[BLACK]に設定したときに表示されます。

◆ カラーバーの種類について詳しくは「IN OUT REC」メニューの「COLOR BAR」(71ページ) をご覧ください。

15 オーディオモード表示

DV記録時は、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で[FS32K]が選択されていた場合、**32k**が表示されます。[FS48K]が選択されていた場合は、**48k**が表示されます。HDV記録時はオーディオモードが**2CH/4CH**で表示されます。

DV再生時、音声ダビング中は、テープに記録されているオーディオモードを**32k/48k**で表示します。HDV再生時は、テープに記録されているオーディオモードを**2CH/4CH**で表示します。i.LINK入力時は、**■** HDV/DV端子にDV信号が入力されている場合は**32k/48k**で、HDV信号が入力されているときは**2CH/4CH**でオーディオモードを表示します。

ご注意

DVフォーマットでは、DVCAMのロックモード以外の信号はノンスタンダードオーディオとなり、再生時または**■** HDV/DV端子から入力されたときは、**NS32k/NS48k**が表示されます。

16 日付情報

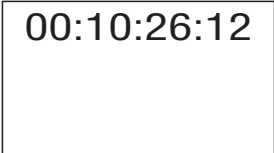
リモコンのDATA CODE ボタンを押す、または[DISPLAY SET]メニューの[DATA CODE]で[DATE]を選択すると、撮影時の日付情報を表示することができます。

◆ 日付情報について詳しくは「テープに記録された情報 (データコード) の表示」(38ページ) をご覧ください。

タイムカウンター表示について

DISPLAY ボタンを押してタイムカウンター画面に切り換えると表示されます。このタイムカウンター画面ではタイムデータ(カウンターのカウント値、タイムコード、ユーザービット)を表示します。

タイムカウンター表示中に \uparrow/\downarrow ボタンを押すと、表示位置を上下に移動することができます。また、小タイムカウンターを表示しているとき、 \leftarrow/\rightarrow ボタンを押すと左右に移動することができます。



00:10:26:12

カウンターのカウント値を表示している場合、タイムカウンター表示部の左端の桁には、カウント値が負(マイナス)のときは「-」が表示されます。カウント値が正(プラス)のときには何も表示されません。タイムコードを表示している場合、フレームモードがドロップフレームのときには、タイムコードの分と秒の間がピリオドで表示されます。(例:「00:12.58:00」)。

ユーザービットを表示しているときは、ユーザービットの各桁の間が空白になります。

ご注意

- 再生中、記録されたテープに不連続な部分があると、タイムカウンター表示部の表示が以下になることがあります。
 - カウンターのカウント値は、その位置から歩進が不正確になることがあります。
 - タイムコードとユーザービットは、その位置で一時的に表示が不正確になることがあります。
- 60iフォーマット(24p/30pを含む)で記録した部分と50iフォーマット(25pを含む)で記録した部分が混在しているテープの記録の境目を再生すると、その位置でカウンターに表示されるデータが不正確になることがあります。
- 異なったビデオフォーマット(HDV、DVCAM、またはDV)の記録の境目を再生すると、その位置でカウンターに表示されるデータが不正確になることがあります。
- カウンターのカウント値は±12時間表示されます。本機は24時間表示には対応していません。
- カウンターのカウント値は7桁表示されます。「時」の10の位の桁は表示されません(例: カウント値が「11:22:11:22」の場合、表示は「1:22:11:22」となります)が、本機内部では時間の桁を「11」として扱っています。

タイムカウンターの表示設定について

[DISPLAY SET]メニューの[COUNTER SET]で、タイムカウンター表示の設定ができます。

DISPLAY: タイムカウンター表示の有無を選択する。

SIZE: タイムカウンター表示の大きさを選択する。

COLOR: タイムカウンター表示の色を選択する。

- ◆ タイムカウンター表示の設定について詳しくは、「[DISPLAY SET]メニューの「COUNTER SET」(73ページ)をご覧ください。

ステータスチェック画面

STATUS CHECKボタンを押すと表示されます。

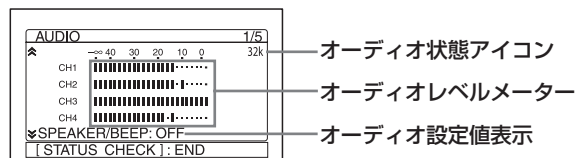
本機の \uparrow/\downarrow ボタンを押すたびに、オーディオレベルメーターと音声モニターの設定値、出力設定値、ASSIGNボタン設定値、オートリピート設定値を切り換えて表示させることができます。

ステータスチェック画面を消す場合は、STATUS CHECKボタンをもう一度押してください。

HVR-DR60、またはHVR-MRC1をi.LINK接続しているときは、本機の \uparrow/\downarrow ボタンを押して接続した機器の情報を表示させることができます。

オーディオ画面

ステータスチェック画面を[AUDIO]に設定しているときに表示されます。



オーディオ状態アイコン表示について

DV記録時は、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で[FS32K]が選択されていた場合、32kが表示されます。[FS48K]が選択されていた場合は、48kが表示されます。HDV記録時は、オーディオモードが2CH/4CHで表示されます。

DV再生時、音声ダビング中は、テープに記録されているオーディオモードを32k/48kで表示します。HDV再生時は、テープに記録されているオーディオモードを2CH/4CHで表示します。i.LINK入力時は、i.LINK端子にDV信号が入力されている場合は32k/48kで、HDV信号が入力されているときは2CH/4CHでオーディオモードを表示します。

(続く)

オーディオ設定値表示について

[OTHERS]メニューの[SPEAKER/BEEP]の設定状況を確認することができます。

◆詳しくは、「OTHERS」メニューの「SPEAKER/BEEP」(81ページ)をご覧ください。

オーディオレベルメーターについて

オーディオレベルの確認や調整をするときに使用します。オーディオモードやAUDIO MONITOR SELECTスイッチの設定によって表示が異なります。

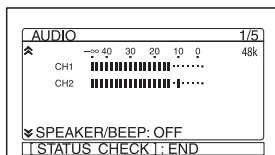
オーディオモードは以下のようになります。

再生時: テープに記録されているオーディオモード

記録時/EE時: 現在設定されているオーディオモード (設定は[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で変更できます。)

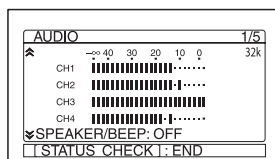
INPUT SELECTスイッチをHDV/DVに設定していて、HDV、またはDV信号を入力しているとき: 入力している信号のオーディオモード (i.LINK入力時はオーディオモードを変更できません。)

オーディオモードが2チャンネル (DVモードの場合、48 kHz、16ビット) のとき



(チャンネル1、2の2チャンネルが表示されます。)

オーディオモードが4チャンネル (DVモードの場合、32 kHz、12ビット) のとき



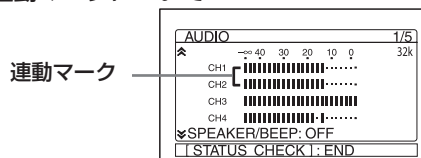
(チャンネル1~4の4チャンネルが表示されます。音声ダビング時はCH1、2には再生信号レベルが、CH3、4には音声ダビングの入力信号レベルが表示されます。また音声ダビングの前にダビング音声のみのレベルを確認したい場合は、停止状態でAUDIO DUBボタンを押してください。音声ダビングするチャンネル (チャンネル3と4) のみレベルが振れます。)

ご注意

EE時、記録時、音声ダビング時 (音声ダビングするチャンネルのみ) に入力レベルが0 dBを越えると、オーディオレベルメーターが振り切れて赤色表示されます。

再生時およびi.HDV/DV端子から信号入力時、またはAUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定しているときは赤色表示されません。

連動マークについて



チャンネルのAGC (Auto Gain Control) が連動している場合に、チャンネルどうしをこのマークで囲んで表示します。

EE時に[AUDIO SET]メニューの[AGC CH1, 2]を[LINKED]に設定していて、AUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定している場合に、チャンネル1を左音声、チャンネル2を右音声とする1組のステレオとしてAGC動作をします。

[AUDIO SET]メニューの[AGC CH3, 4]を[LINKED]に設定していて、AUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定している場合に、チャンネル3を左音声、チャンネル4を右音声とする1組のステレオとしてAGC動作をします。

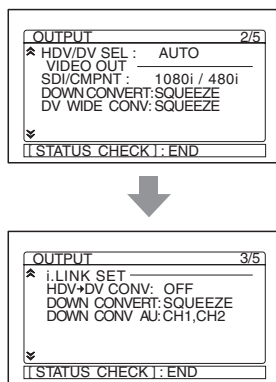
ご注意

INPUT SELECTスイッチを[HDV/DV]に設定している場合は、AGCおよびAGC連動は働きません。また、連動マークは表示されません。

出力設定値表示

ステータスチェック画面を[OUTPUT]に設定しているときに表示されます。ここでは次の設定状況を確認することができます。

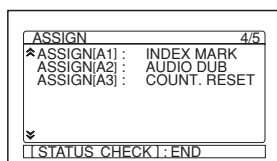
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]
 - [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]と[DOWN CONVERT]と[DV WIDE CONV]
 - [IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]と[DOWN CONVERT]と[DOWN CONV AU]
- ◆ [IN/OUT REC]メニューについて詳しくは、「[IN/OUT REC メニュー]」(67ページ)をご覧ください。



ASSIGNボタン設定値表示

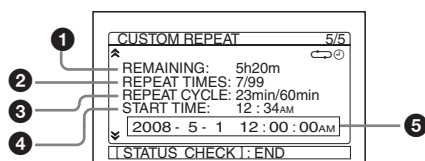
ステータスチェック画面を[ASSIGN]に設定しているときに表示されます。[OTHERS]メニューで設定された[ASSIGN BTN]を確認することができます。

- ◆ ASSIGN ボタンについて詳しくは、「[OTHERS] メニューの「ASSIGN BTN」」(80ページ)をご覧ください。



オートリピート (カスタムリピート)

ステータスチェック画面を[CUSTOM REPEAT]に設定しているときに表示されます。[VTR SET]メニューの[CUSTOM REPEAT]の設定を表示します。また、オートリピート再生中には、オートリピートの途中経過を確認することができます。



① REMAINING

オートリピート終了までの概算の時間を分単位で表示します。

② REPEAT TIMES

[REPEAT TIMES]で設定されたリピート回数を表示します。また、オートリピート再生中は、現在のリピート回数も同時に表示します。

③ REPEAT CYCLE

[REPEAT CYCLE]で設定された再生間隔の時間を表示します。また、オートリピート再生中には現在の再生時間も同時に表示します。

④ START TIME

[START TIME]で設定されたオートリピートの開始時刻を表示します。

⑤ 日付時刻

[START TIME]が [ON]に設定されている場合、[OTHERS]メニューの[CLOCK SET]で設定された日付と時刻が表示されます。

ご注意

設定されていない項目は[OFF]が表示されます。

- ◆ [CUSTOM REPEAT]について詳しくは、「[VTR SET]メニューの「CUSTOM REPEAT」」(76ページ)をご覧ください。

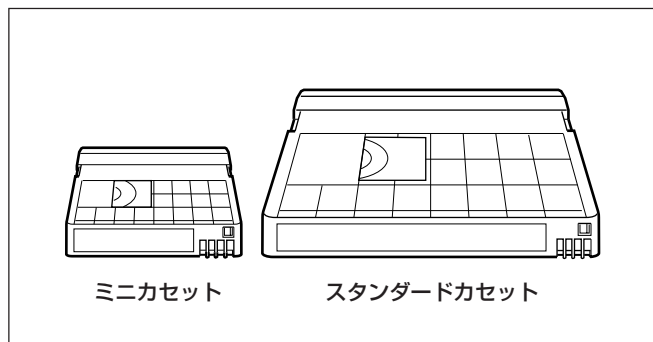
再生・記録

電源・カセットについて

使用できるカセット

HDV/DVフォーマットで記録するときは、スタンダード HDV/DVCAM/DVカセット (PHDV-276DMなど)、またはミニ HDV/DVCAM/DVカセット (PHDVM-63DM) のデジタルマスターカセットのご使用をおすすめします。

DVCAMフォーマットで記録するときは、スタンダード DVCAMカセット、ミニ DVCAMカセット、または上記のデジタルマスターカセットのご使用をおすすめします。



カセットの互換性

HDVはDV規格のカセットテープが使用可能です。HVR-M35Jで採用したHDV1080i方式は、記録ビットレートは約25 Mbps、テープ上の記録トラックピッチは10 μmと、家庭用DV(SP)と同じです。テープに記録できる時間もDV(SP)と同じです。

DVCAMはトラックピッチが15 μmと、HDV/DV(SP)の1.5倍となっています。そのため、同じテープを用いてDVCAMで記録した場合の記録時間は、HDV/DV(SP)記録時の時間の3分の2になります。

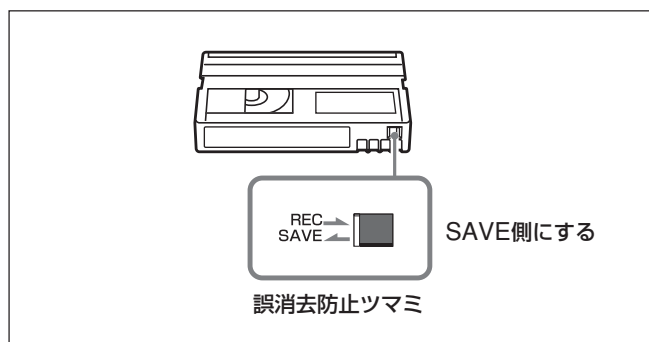
カセットメモリー

ミニカセットおよびスタンダードカセットには、カセットメモリー (CIIマーク) の付いているものがありますが、本機はカセットメモリーには対応していません。

ただし、DSR-25/45/50などを記録機として使用した場合、[AUTO] (CII) を選択したときに限り、カセットメモリーのデュプリケートにも対応します。

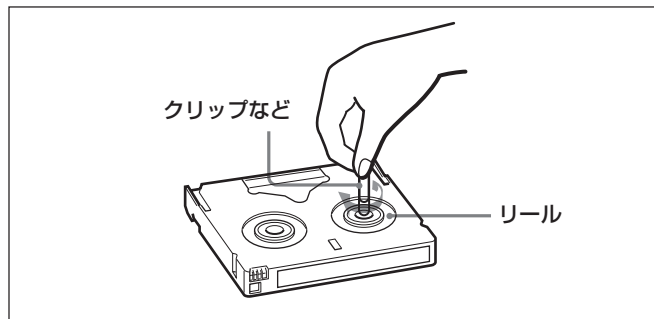
録画内容を消したくないときは

カセットの背にある誤消去防止ツマミを誤消去防止状態にします。再び録画や音声ダビングするときは、ツマミを戻してください。



テープにたるみがないことを確認するには

クリップなどでリールを矢印の方向へ軽く回します。テープにたるみがあればリールは回りません。



電源を準備する

電源コード(付属)をAC IN端子に接続します。次に電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。接続をはずすときは、最初に必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

電源を入れる

本機背面のPOWERスイッチを|側(ON)にします。次に本機前面のON/STANDBYボタンを押します。

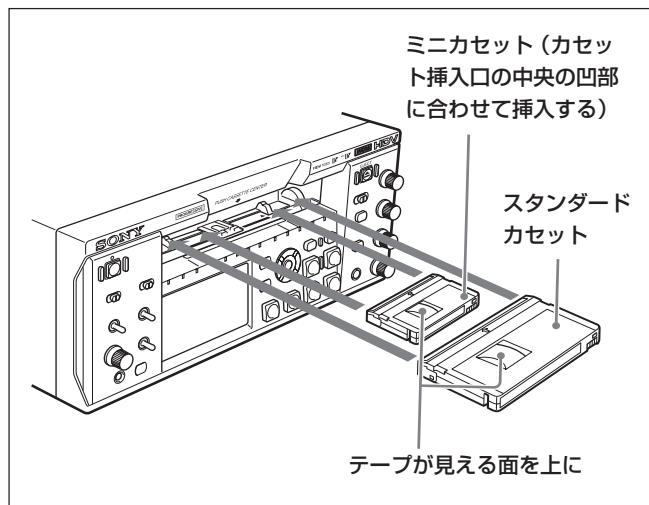
初めて電源を入れたときは「CLOCK SET」画面が表示されます。

◆「CLOCK SET」について詳しくは、81ページをご覧ください。

カセットを入れる／取り出す

カセットを入れるには

テープにたるみのないことを確認してから、テープが見える面を上にしてカセットを入れる。

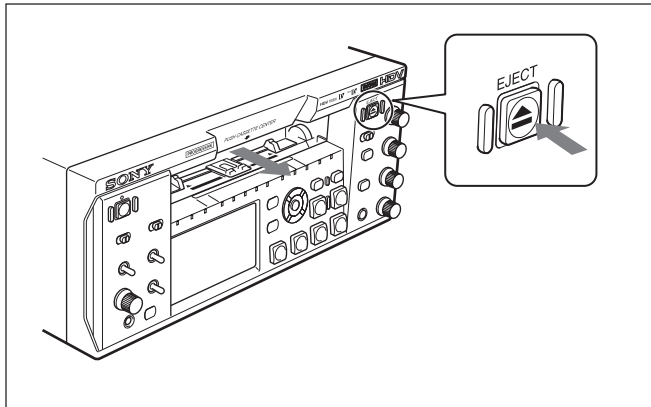


ご注意

- カセットを無理に押し込んで入れないでください。故障の原因になります。
- カセットの出し入れは本機の内部に光が当たらない場所で行ってください。本機の内部に光が当たると内部のセンサーが誤動作する可能性があります。
- カセットを挿入するときは、カセットの中央部を持って奥までしっかりと入れてください。カセットの端の部分を持って入れようとすると、正しい位置に入らないことがあります。
- カセットが挿入されないときや挿入途中で引っかかるときは、カセットを取り出して再度入れ直してください。カセットを取り出さずにそのまま無理に押し込むと、カセットが正しい位置に入らなかったり、故障の原因になったりします。
- カセットを挿入後、本機がカセットを認識し、現在のテープ位置情報を確認するための時間がかかります。

カセットを取り出すには

カセット挿入口右側のEJECTボタンを押す。



カセットが取り出せる状態になります。

再生／録画時のご注意

録画内容の補償はできません。

万一、デジタルビデオカセットレコーダーやカセットなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

著作権保護信号について

●再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機をつないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

●記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像音声は本機で記録することはできません。

このような映像音声を記録しようとする、LCDモニター上に[Cannot record due to copyright protection] (コピープロテクトされています 記録できません) が表示されます。

なお、本機で記録した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

フォーマットによる制約について

本機は、HDV (1080/60i、1080/24p、1080/30p、1080/50i、1080/25p)、DVCAMフォーマットおよびDVフォーマット (SPモード) での記録・再生ができます。またHDV拡張フォーマットの4チャンネルオーディオ信号で記録されたテープの再生ができます。

●HDV/DV端子からの入出力・記録ができます。

本機ではHDVフォーマットの720/24p、720/25p、720/30pで記録した画像を再生できますが、●HDV/DV端子から入出力することはできません。

本機ではHDVフォーマットの720/60p、720/50pとSDフォーマットの480p/576pは入出力・記録・再生することはできません。

◆詳しくは、「HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い」(31ページ)をご覧ください。

複数のフォーマットが混在して記録されたテープを再生する場合、以下のような制限があります。

- フォーマットが切り替わった位置で画像が乱れたり、音声にノイズ音が出されたりする場合があります。
- テープの走行が安定するまで、一時的にテープ走行コントロール部のボタンがきかなくなる場合があります。

他機で再生するときのご注意

本機でHDVフォーマットで記録したテープは、記録したフォーマットに対応していない機器で再生することはできません。他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

x.v.Color再生について

本機は、x.v.Colorで録画された画像を再生できます。

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

記録フォーマットと入出力信号について

HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い

(本機および他の業務用の機器においては、機能が拡張されている場合があります。表外の注釈をご覧ください。)

仕様	HDV1080i	DVCAM	DV (SP)
トラック幅	10 μm	15 μm	10 μm
オーディオサンプリング周波数	16 bit : 48 kHz	12 bit : 32 kHz 16 bit : 48 kHz	12 bit : 32 kHz 16 bit : 32 kHz, 44.1 kHz 48 kHz ²⁾
オーディオ記録モード ¹⁾	ロックモード	ロックモード	アンロックモード ³⁾
タイムコード	ドロップフレーム (60i/24p/30pのみ) ⁴⁾ ユーザービットなし ⁴⁾	NTSC : SMPTEタイムコード (DF/NDF, ユーザービットあり) PAL : EBUタイムコード (ユーザービットあり)	ドロップフレーム (NTSCのみ) ⁴⁾ ユーザービットなし ⁴⁾

- 1) 音声信号の記録には、ロックモードとアンロックモードがあります。ロックモードでは、オーディオのサンプリングクロックとビデオのサンプリングクロックが同期しています。一方、民生用DVフォーマットで採用しているアンロックモードでは、オーディオとビデオのサンプリングクロックはそれぞれ独立しています。ロックモードはアンロックモードに比べ、上位フォーマットとの親和性が高く、オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有利です。
- 2) 本機は 16 bit : 32 kHz, 44.1 kHz の記録には対応していません。
- 3) 本機はロックモードとアンロックモードの切り換えができるように機能拡張されています。
- 4) 本機は 60i モード (24p/30p を含む) で HDV 時、DV (SP) 時にも DF/NDF の選択、いずれのフォーマットでもユーザービットの設定ができるように機能拡張されています。

EEモード時の入力信号と出力信号

入力信号の選択は、前面パネルの INPUT SELECT スイッチで行います (8 ページ)

アナログ信号出力部

○ : 出力有り、- : 出力なし / 非該当

入力信号	入力端子	アナログビデオ出力		アナログオーディオ出力		出力端子
		VIDEO/S VIDEO	COMPONENT OUT ¹⁾	AUDIO OUT 1/3	AUDIO OUT 2/4	
アナログ信号入力	VIDEO/S VIDEO	○	○	○	○	
デジタル信号入力	HDV/DV (HDVフォーマット)	○ ²⁾	○	○	○	
	HDV/DV (DVCAM, DV (SP) フォーマット)	○	○	○	○	

- 1) COMPONENT OUT 端子から出力される画像フォーマットは、[IN/OUT REC] メニューの [VIDEO OUT] → [SDI/CMPNT] で設定できます (68 ページ)。
- 2) ダウンコンバートされ、SD 画質で出力されます。

(続く)

記録フォーマットと入出力信号について

デジタル信号出力部

○：出力有り、－：出力なし/非該当

入力信号	入力端子	SDI出力 ¹⁾	i.LINK出力		デジタルオーディオ出力	出力端子
		SDI	DV(DVCAM/DV)	HDV	AES/EBU	
		HD/SD SDI OUT	HDV/DV	HDV/DV	AES/EBU OUT	
アナログ信号入力	VIDEO/S VIDEO	－	○	－	○	
デジタル信号入力	HDV/DV(HDVフォーマット)	○ ²⁾	－	－	○ ²⁾	
	HDV/DV (DVCAM,DV(SP)フォーマット)	－	－	－	○	

- 1) HD/SD SDI OUT端子から出力される画像フォーマットは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]で設定できます(68ページ)。
 2) HDV/DV端子からのHDV入力時は、規格を満たさない信号が出力されます。接続する機器により信号処理が正しく動作しない場合があります。

記録時の入力信号と記録フォーマット

本機はHDV(1080/60i (24p/30pを含む)、1080/50i (25pを含む))、DVCAMフォーマットおよび、DVフォーマット (SPモード) の記録が可能です。

○：記録可、－：記録不可

入力信号	入力端子	記録フォーマット		
		HDV	DVCAM	DV(SP)
アナログ信号入力	VIDEO/S VIDEO	－	○	○
デジタル信号入力	HDV/DV(HDVフォーマット)	○	－	－
	HDV/DV (DVCAM,DV(SP)フォーマット)	－	○	○

ご注意

- 本機ではHDVフォーマットの720/30p/25p/24pの信号を再生できますが、HDV/DV端子の入出力には対応していません。
- 本機ではHDVフォーマットの720/60p、720/50pとSDフォーマットの480p/576pは入出力・記録・再生することはできません。

再生時のフォーマットと出力信号

アナログ信号出力部

○：出力有り、－：出力なし/非該当

テープに記録されているフォーマット		アナログビデオ出力		アナログオーディオ出力		出力信号
		VIDEO/ S VIDEO	COMPONENT OUT	AUDIO OUT 1/3	AUDIO OUT 2/4	出力端子
DV	DVCAM	○	○	○	○	
	DV(SP)	○	○	○	○	
HDV	1080/60i	○ ¹⁾	○	○	○	
	1080/24p	○ ^{1) 2)}	○ ²⁾	○	○	
	1080/30p	○ ¹⁾	○	○	○	
	1080/50i	○ ¹⁾	○	○	○	
	1080/25p	○ ¹⁾	○	○	○	
	720/30p/25p/24p	○ ¹⁾	○	○	○	

1) HDVからダウンコンバートした信号を出力します。ダウンコンバート出力の設定は、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]で変更できます(68ページ)。

2) 24p信号が、2-3 pull-downで60i変換して出力されます。

ご注意

- 本機ではHDVフォーマットの720/30p/25p/24pの信号を再生できますが、i HDV/DV端子の入出力には対応していません。
- 本機ではHDVフォーマットの720/60p、720/50pとSDフォーマットの480p/576pは入出力・記録・再生することはできません。

(続く)

デジタル信号出力部

○：出力有り、－：出力なし/非該当

		SDI出力	i.LINK出力		デジタルオーディオ出力	出力端子
		SDI	DV(DVCAM/DV)	HDV	AES/EBU	
テープに記録されているフォーマット		HD/SD SDI OUT	HDV/DV	HDV/DV	AES/EBU OUT	
DV	DVCAM	○	○	—	○	
	DV(SP)	○	○	—	○	
HDV	1080/60i	○ ¹⁾	○ ^{2) 3)}	○	○	
	1080/24p	○ ^{1) 4)}	○ ^{2) 3) 4)}	○	○	
	1080/30p	○ ¹⁾	○ ^{2) 3)}	○	○	
	1080/50i	○ ¹⁾	○ ^{2) 3)}	○	○	
	1080/25p	○ ¹⁾	○ ^{2) 3)}	○	○	
	720/30p/25p/24p	○ ¹⁾	—	—	○	

- 1) HD/SD SDI OUT端子から出力される画像フォーマットは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]で設定できます(68ページ)。
- 2) HDVからダウンコンバートした信号を出力します。ダウンコンバート出力の設定は、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[DOWN CONVERT]で変更できます(69ページ)。
- 3) HDV 4チャンネル音声は、ダウンコンバート時に2チャンネルに変換されます。出力音声チャンネルは[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[DOWN CONV AU]で設定できます(69ページ)。
- 4) 24p信号が、2-3 pull-downで60i変換して出力されます。

ご注意

- 本機ではHDVフォーマットの720/30p/25p/24pの信号を再生できますが、HDV/DV端子の入出力には対応していません。
- 本機ではHDVフォーマットの720/60p、720/50pとSDフォーマットの480p/576pは入出力・記録・再生することはできません。

再生する

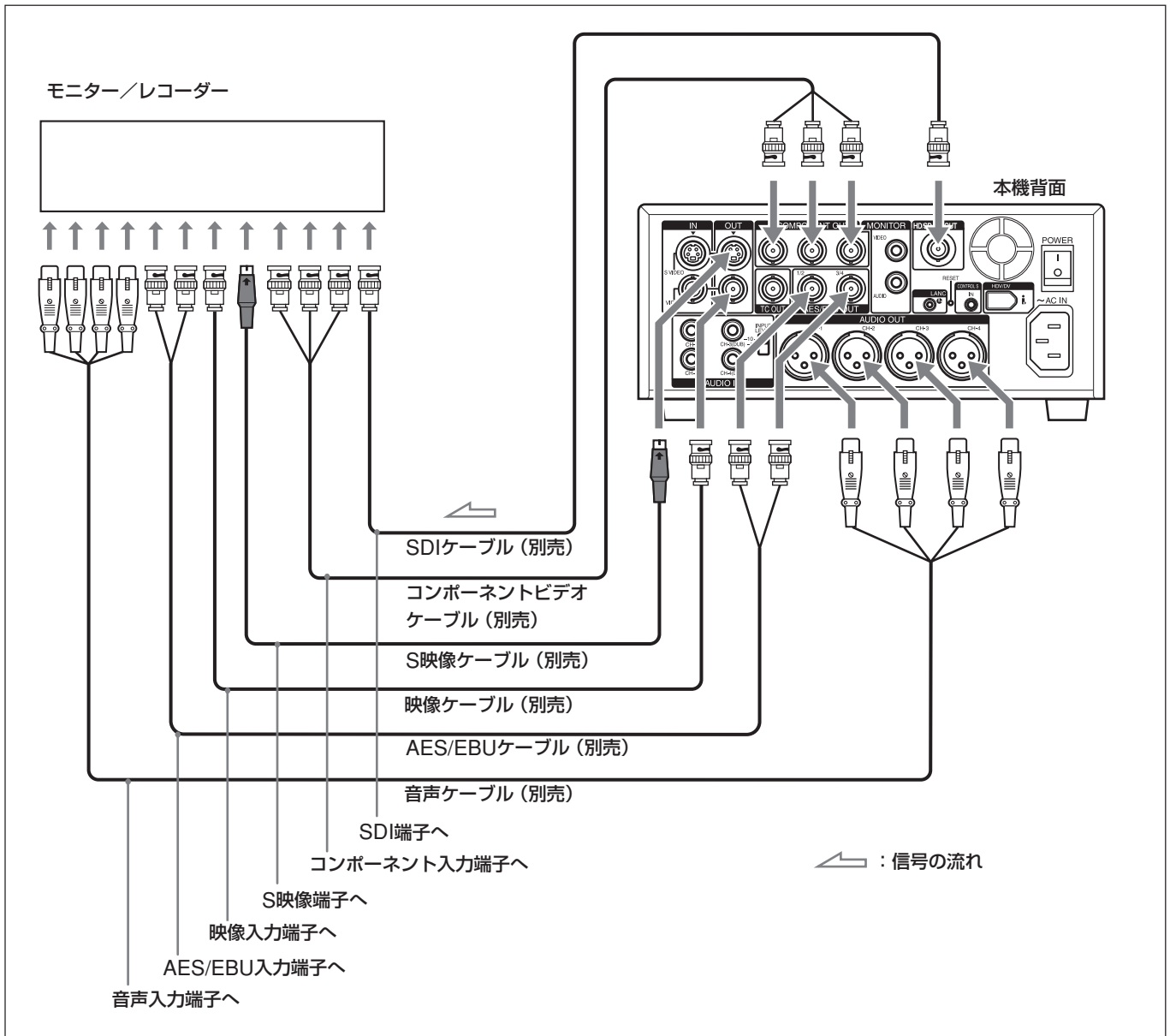
本機で再生するときの接続や準備の方法、変速再生・頭出しなどの再生機能を説明します。

接続する

i.LINK端子のないモニターとの接続

i.LINK端子のないモニター／レコーダーと接続する場合は、以下のように映像ケーブル、音声ケーブルを接続してください。各端子の説明は「背面パネル」(16ページ)をご覧ください。

SDIケーブルでSDI音声対応モニターに接続するときは、音声ケーブルの接続は不要です。SDI音声非対応モニターに接続する場合は、音声ケーブルの接続が必要です。



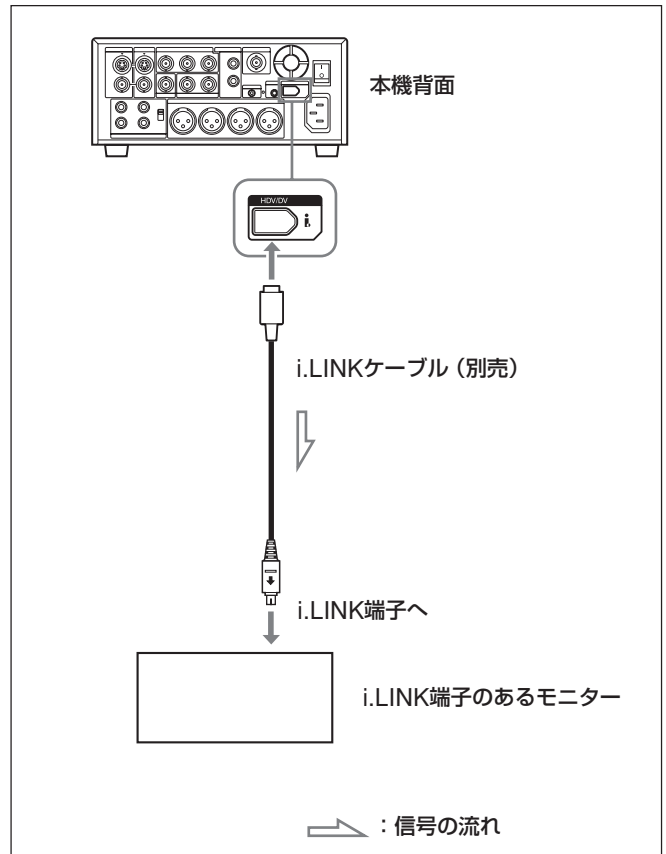
(続く)

ご注意

- SDIケーブル、またはコンポーネントビデオケーブルでモニターと接続する際、HDVの画像を再生するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]を接続するモニターに合わせて設定してください(68ページ)。DVCAM(DV)フォーマットで記録したテープを再生するときは、[SDI/CMPNT]の設定値にかかわらず、HD/SD SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子からはDVCAM(DV)フォーマット相当(480i(NTSC)または576i(PAL))の画像しか出力されません。
- HD/SD SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子からの出力は本機の「仕様」(100ページ)をご覧ください。
- COMPONENT OUT端子の出力レベルを変更する場合は[IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL](72ページ)をご覧ください。
- 本機のHD/SD SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子から出力される画像には制限があります。
 - ◆「各部の名称と働き」のHD/SD SDI OUT端子⑨(18ページ)、COMPONENT OUT(コンポーネント出力)端子①-③(19ページ)を参照してください。
- HDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートして出力する場合、i.LINK以外の端子へは4チャンネルの音声出力が可能です。
- モニターの出力を本機の入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。
- 本機では、DVCAM(DV)フォーマットで記録した画像をHDVにアップコンバートして出力することはできません。
- [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]を[1080i/480i]または[1080i/576i]に設定しているときは、1080/24pと1080/30pの再生映像は1080/60i、1080/25pの再生映像は1080/50iに変換されて、COMPONENT OUT端子、HD/SD SDI OUT端子から出力されます。

i.LINK端子のあるモニターとの接続

HDV、DVCAM、DV対応のi.LINK端子のあるモニターで画質・音質の劣化がほとんどない再生ができます。



ご注意

- i.LINKケーブルをつなぐ前に[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]になっているか確認してください(お買い上げ時の設定)。i.LINKケーブルをつないでから設定を変えると、モニターが映像信号を正しく認識できないことがあります(67ページ)。
- i.LINK端子がついているモニターと接続するときは、本機を認識させるためにモニター側の設定が必要になることがあります。
 - ◆詳しくはモニターの取扱説明書をご覧ください。
- i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを出力することはできません。
- モニターの出力を本機の入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。

- i.LINKケーブルで接続するときは、モニターがHDVまたはDVに対応している必要があります。HDVで記録されたテープをDV対応モニターで再生するときは、i.LINKケーブルで接続する前に、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]か[DV SP]に設定してください。
◆ 詳しくはモニターの取扱説明書をご覧ください。
- オーディオ4チャンネルで記録したHDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートしてi.LINKに出力する場合、オーディオは2チャンネルになります。このとき、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]で[DOWN CONV AU]の設定を変更すると、出力するチャンネルをCH1とCH2からCH3とCH4に切り換えることができます。
- i.LINK端子から、HDV信号のまま、インターレース信号からプログレッシブ信号へ、またはプログレッシブ信号からインターレース信号へ変換して出力することはできません。
- プログレッシブ方式で記録されたHDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートしてi.LINKに出力する場合、信号はインターレース方式に変換されます。1080/24pと1080/30pは480iフォーマットに、1080/25pは576iフォーマットにそれぞれ変換されます。
- 民生用のテレビには、i.LINKケーブルで接続した機器をコントロールする機能を搭載しているものがありますが、本機には対応しない場合があります。

準備する


本機の準備

ご注意

- 本機のVIDEO、S VIDEOのOUT端子、COMPONENT OUT端子、またはHD/SD SDI OUT端子からのビデオ出力には各種文字情報がスーパーインポーズされます。文字情報を出力したくない場合には、前面パネルのDISPLAY OUTPUTスイッチをOFFにしてください。
◆ DISPLAY OUTPUTスイッチについて詳しくは、8ページをご覧ください。
◆ 文字情報について詳しくは、「文字情報表示について」(23ページ)をご覧ください。
- HDVフォーマットで記録したテープを4:3モニターに接続して見るときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を希望のモードに設定してください(68ページ)。

- 1 モニターの電源を入れて、接続した入力端子に合わせて、モニターの入力切り換えを行う。
- 2 本機の電源を入れる。

再生する

- 1 カセットを入れて、 (カセット) インジケータースイッチが点灯していることを確認する。
- 2 本機のPLAYボタンを押す。

再生が始まります。


再生を終了するには

本機のSTOPボタンを押します。

再生を一時停止するには

本機のPAUSEボタンを押します。

ご注意

- フォーマットが切り替わった位置で画像が乱れたり、音声にノイズ音が出力されたりする場合があります。
- 本機では、DV(LPモード)で記録した画像を再生することはできません。
- 60i方式と50i方式のビデオ信号が混在して記録されたテープを再生すると、方式が切り替わった位置では映像および音声がかかります。
- HDVで記録されたテープでは、一時停止中の映像は、 HDV/DV端子から出力されません。

再生機能

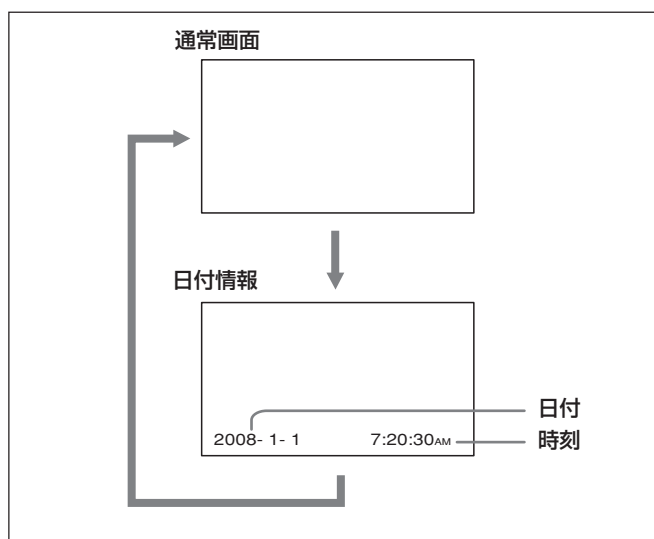
ここでは、再生時に便利な機能を説明します。

テープに記録された情報（データコード）の表示

ソニー製のデジタルHDビデオカメラレコーダーや、デジタルカムコーダーを使用して撮影したテープには、撮影時の情報（データコード）が記録されます。

本機では、データコードのうち日付情報（日付、時刻）を再生中に表示して確認することができます。付属リモコンのDATA CODE ボタンを押すたびに、以下のように、データコード表示なしと日付情報表示が切り替わります。また、[DISPLAY SET]メニューの[DATA CODE]でも切り換えることができます。

◆詳しくは、「[DATA CODE]」（73ページ）をご覧ください。



ご注意

- データコードが記録されていない場合は、画面に「---」が表示されます。
- 本機を使用してカメラデータを記録、再生することはできません。

変速再生する

付属のリモコンを使って、スローやコマ送り、倍速などの変速再生ができます。

HDVフォーマットの場合

ボタン	動作速度	パネル/アナログ出力		i.LINK出力	
		正方向	逆方向	正方向	逆方向
×1/10	10分の1	◎	—*	—	—*
×1/3	5分の1	◎	—*	—	—*
×1	通常再生	◎	○	◎	○
×2	通常再生	—*	—*	—*	—*
FRAME ◀ / ▶	コマ送り	◎	—*	—	—*
⏪/⏩	8倍速	○	○	○	○
SHUTTLE MAX	24倍速	○	○	○	○

* ×1と同じ出力となります。

◎：正常に再生される。

○：サーチ用の簡易画像が出力される（画像は粗い）。

—：再生されない。

DVCAM (DV) フォーマットの場合

画像の動く速さ	操作方法
10分の1（スロー）	再生中に×1/10ボタンを押します。
3分の1（スロー）	再生中に×1/3ボタンを押します。
通常の再生と同じ速さ	再生中に×1ボタンを押します。
2倍速	再生中に×2ボタンを押します。
コマ送り	再生一時停止状態でFRAME◀ / ▶ボタンを押します。正方向は ▶、逆方向は◀ を押します。押し続けると連続してコマ送りします。
早送り再生	再生中または変速再生中に⏩ボタンを押します。
巻き戻し再生	再生中または変速再生中に⏪ボタンを押します。
最速再生	再生中にSHUTTLE MAXボタンを押します。

再生の方向を変えるには

再生中または変速再生中に、FRAME◀|||/|||▶ボタンを押します。正方向は|||▶、逆方向は◀|||を押します。

ご注意

- 他のソニー製機器（リモコンモードまたはコマンドモードがVTR4に設定されているもの）に向けて、本機の付属リモコンの×1/3ボタンを押すと、再生速度が1/5スローになる場合があります。

- 本機で±1/10スロー再生が1分以上続くと、自動的に通常の再生（正方向）になります。

変速再生中に音声を聞くには

[AUDIO SET]メニューの[JOG AUDIO]を[ON]に設定します。

- ◆ [AUDIO SET]メニューについて詳しくは、「AUDIO SETメニュー」（75ページ）をご覧ください。

ご注意

HDVフォーマットで記録されたテープは変速再生の音声を聞くことができません。

頭出しする

本機ではテープ上に記録されている以下の信号の頭出しができます。

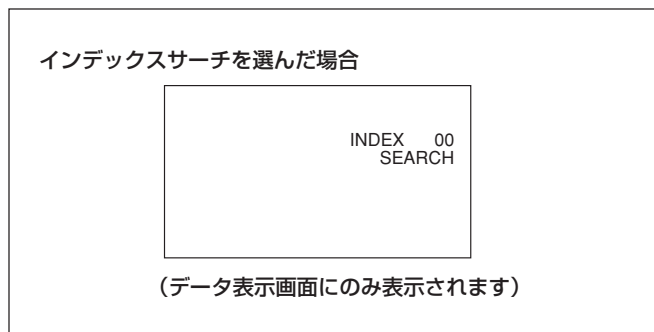
- 録画の開始位置を探す：インデックスサーチ
- 撮影日を探す：日付サーチ

頭出しの操作は、付属リモコンで行います。また、ASSIGNボタンにリモコンの頭出しの機能を割り当てることもできます。

- ◆ ASSIGNボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」（80ページ）をご覧ください。

- 1 付属リモコンのSEARCH SELECTボタンを押して、頭出しの種類を選ぶ。

インデックスサーチ→日付サーチ→（表示なし）の順で切り替わります。



- 2 ◀◀/▶▶ボタンを繰り返し押して、頭出しする場面を選ぶ。

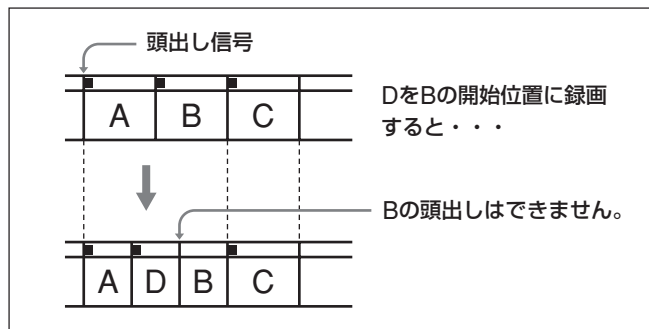
押した回数だけ先または前の場面が頭出しされます。いくつ先（前）の場面かが数字で表示されます。「0」になるまで巻き戻しまたは早送りされると、通常の再生になります。

頭出し信号について

頭出し信号には、インデックス信号、タイトル信号、日付信号、フォト信号の4種類がありますが、本機がテープに記録できるのは、インデックス信号と日付信号のみです。

ご注意

- 頭出し信号の開始位置の上に他の場面を録画した場合、元の画面の頭出し信号は消え、元の画面は頭出しできなくなります。



- 日付またはインデックスの間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。
- テープの途中に無記録部分があると、正しく頭出しできないことがあります。
- 頭出し信号のみを後から付けることはできません。
- 本機はカセットメモリーを使用した頭出し、データの読み書きには対応していません。DSR-25/45/50などを用いたデュプリケートについては「カセットメモリー」（28ページ）をご覧ください。
- ソニー製以外のデジタルビデオ機器で記録されたテープでは、頭出しが行えないことがあります。

再生ズームする

ASSIGNボタンにPB ZOOMを割り当てると、再生中の動画を約1.1～5倍の範囲で拡大表示することができます。

PB ZOOMを割り当てたASSIGNボタンを押すと倍率モードになり、↑/↓ボタンで倍率を調節できます。

また、倍率モード中にEXECボタンを押すと移動モードに切り替わり、↑/↓/←/→ボタンでズーム位置を変更できます。もう一度EXECボタンを押すと倍率モードに戻ります。

終了するにはASSIGNボタンを押します。

- ◆ ASSIGNボタンについて詳しくは、「OTHERS」メニューの「ASSIGN BTN」（80ページ）をご覧ください。

オートリピート (カスタムリピート)

本機ではテープ全体または一部分を自動的に繰り返し再生することができます。

テープ上にある下記項目を検出すると、テープトップまで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。

- インデックス信号
- 未記録部分
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットで記録されている部分
- テープエンド

[VTR SET]メニューの[CUSTOM REPEAT]で、オートリピートのリピート回数、リピート間隔、リピート開始時刻を設定することができます。また、オートリピートの設定に従ってオートリピートの再生予約をすることができます。

オートリピートを設定する

[VTR SET]メニューの[CUSTOM REPEAT]で以下の設定を行います。

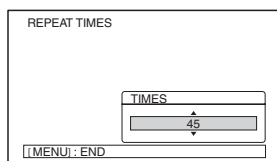
REPEAT TIMES

ON/OFF : リピート回数設定の有無を選択する。

TIMES : リピート回数を設定する。

リピート回数は1回から99回まで設定できます。

本機の \uparrow/\downarrow ボタンを押して、リピート回数の数値を変更します。



EXECボタンを押して決定します。

REPEAT CYCLE

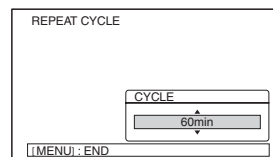
ON/OFF : リピート間隔設定の有無を選択する。

CYCLE : リピート間隔を設定する。

リピート間隔は再生時間、巻き戻し時間、停止時間の合計になります。

リピート間隔は15分から300分まで5分間隔で設定できます。

本機の \uparrow/\downarrow ボタンを押して、リピート間隔の数値を変更します。



EXECボタンを押して決定します。

START TIME

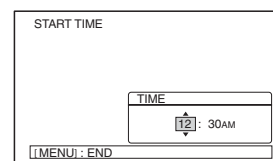
ON/OFF : リピート開始時刻の有無を選択する。

TIME : 開始時刻を設定する。

開始時刻を設定することができます。

本機の \uparrow/\downarrow ボタンを押して、時、分の各数値を変更します。

また、EXECボタンを押すことで、時から分の順番で設定します。



EXECボタンを押して決定します。

開始時刻に再生を開始させたい場合は、あらかじめテープを巻き戻しておいてください。巻き戻していない場合は、開始時刻になるとテープトップまで巻き戻したあと再生が始まります。

ご注意

本機の電源がスタンバイのときは、START TIMEを有効にしている場合に指定時刻になっても自動で電源がONになりません。

- ◆ 詳しくは、「CUSTOM REPEAT」(76ページ)をご覧ください。
- ◆ TIMERスイッチ(7ページ)、ステータスチェック画面(25ページ)、オートリピート(カスタムリピート)(27ページ)もあわせてご覧ください。

オートリピートを実行する

開始時刻を設定していないとき

- 1 本機のTIMERスイッチをREPEATに合わせる。

データ表示画面にが表示されます(23ページ)。

- 2 REW (テープがすでにテープトップまで巻き戻っている場合は、PLAY) ボタンを押す。

テープトップまで巻き戻り、自動的に再生が始まります。テープ上にある下記項目を検出すると、テープトップまで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。

- インデックス信号
- 未記録部分
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットで記録されている部分
- テープエンド

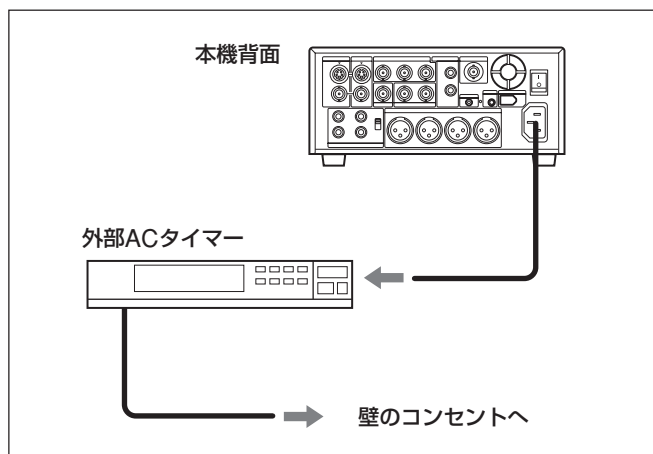
リピート間隔を設定した場合、指定した間隔に到達する数分前まで再生を続ける、またはテープ上の上記項目を検出するとテープトップまで巻き戻り、指定した間隔になると再生が再開します。

また、リピート回数を設定した場合、指定した回数だけリピート再生します。

外部ACタイマーを使ってオートリピートを開始するには

あらかじめ、本体背面のPOWERスイッチは|側(ON)にしておいてください。

- 1 本機を外部ACタイマー(別売)に接続する。



- 2 本機前面パネルのTIMERスイッチをREPEATに合わせる。

- 3 外部ACタイマーで開始時刻を設定する。

開始時刻になると本機の電源が入り、数秒~数十秒後に自動的にオートリピートが始まります。テープ上にある下記項目を検出すると、テープトップまで巻き戻して再び再生が始まり、これを繰り返します。



- インデックス信号
- 未記録部分
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]が[AUTO]以外に設定され、選択した以外のフォーマットで記録されている部分
- テープエンド

オートリピートの開始時刻を設定したとき

本機のTIMERスイッチをREPEATに合わせる。

本機の電源をONにすると、開始時刻まで自動再生を待機します。また、本機の電源がONのとき、TIMERスイッチをREPEATに合わせると、開始時刻まで自動再生を待機します。

ご注意

- データ表示画面にが表示されます。テープが入っていない、録画中など、再生できない状態の場合は、が表示されます。この状態で開始時刻に達すると自動再生は行わず、次の開始時刻まで待機します。
- 自動でオートリピートを実行するには、開始時刻にテープが停止していなければなりません。
- オートリピートの開始時間を設定したときは、開始時刻より前に本機の電源をONにした状態で待機してください。

途中でオートリピートを止めるには

本機のSTOPボタンを押します。

リピート回数と開始時刻を設定している場合、オートリピートを止めるとリピート回数の設定にかかわらず、開始時刻まで待機します。開始時刻になると、リピート回数は0に初期化され、リピート再生を開始します。

オートリピートを解除するには

本機のTIMERスイッチをOFFに合わせます。

(続く)

オートリピートを使って以下のような操作ができます

●30分間隔でオートリピートを繰り返す

- 1 [REPEAT CYCLE]の[ON/OFF]を[ON]に合わせる。
- 2 [REPEAT CYCLE]の[CYCLE]を[30min]に合わせる。
- 3 REW ボタン、またはPLAY ボタンを押す。

●毎日午前9時から2時間間隔で5回だけオートリピートを繰り返す

- 1 [REPEAT CYCLE]の[ON/OFF]を[ON]に合わせる。
- 2 [REPEAT CYCLE]の[CYCLE]を[120min]に合わせる。
- 3 [REPEAT TIMES]の[ON/OFF]を[ON]に合わせる。
- 4 [REPEAT TIMES]の[TIMES]を[5]に合わせる。
- 5 [START TIME]の[ON/OFF]を[ON]に合わせる。
- 6 [START TIME]の[TIME]を[9:00]に合わせる。
- 7 午前9時前に本機の電源をONにする。

ご注意

- 再生を開始してから20秒以内のインデックス信号、[HDV/DV SEL]で[AUTO]以外に設定された信号と異なった信号、および未記録部分は検出できません。
- 本機の電源を切るときは、あらかじめSTOPボタンを押してテープ走行を止めてから切ってください。テープ走行中にACタイマーを使って本機の電源を切ると、本機やテープの損傷の原因となることがあります。
- デジタルノンリニア編集システムから記録したテープ、またはそのテープを元にデジタルダビングしたテープでは、デジタルノンリニア編集システムでご使用の編集ソフトウェアが、元からあるインデックス信号以外にもインデックス信号をテープに打ち込んでしまう場合があるため、正しくオートリピートしないことがあります。

エッジクロップマーカー

本機は16:9画面のHDV映像をダウンコンバートで4:3画面にエッジクロップ出力するときや16:9画面のDVワイド映像を4:3画面にエッジクロップ出力するとき、エッジクロップの位置を調節することができます。また、エッジクロップの位置をマーカー表示することによって、切り出し位置を事前に確認することができます。

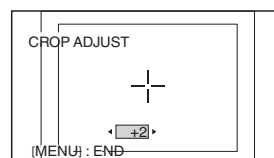
エッジクロップマーカーを設定する

[IN/OUT REC]メニューの[CROP MARKER]を[ON]に設定するときは、あらかじめ次の項目のいずれかを設定してください。

- － [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を[EDGE CROP]に設定
- － [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]を[EDGE CROP]に設定
- － [IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[DOWN CONVERT]を[EDGE CROP]に設定

エッジクロップマーカーの設定画面には、

- 4:3切り出し位置
- 画面中心位置（センター・マーカー）
- 80%安全表示領域（セーフティー・ゾーン）が表示されます。



[IN/OUT REC]メニューの[CROP ADJUST]を選択すると確認画面が出ますので再度EXECボタンを押してください。続いて、エッジクロップマーカーが表示されます。本機の<=>ボタンで画面の中心から左右にクロップマーカーを調節し、EXECボタンを押してクロップする位置を決定します。

ご注意

- LCDモニター上でCROP MARKERが表示されるとき、LCDモニターに表示される文字情報とクロップマーカーは本機背面の各出力端子には出力されません。4:3マーカーを出力させたい場合は、「MARKER BURN」(43ページ)を参照してください。
- HDV映像をダウンコンバートで4:3画面にエッジクロップ出力させるには、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT](68ページ)、および[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET](69ページ)をご覧ください。

- DVワイド映像を4:3画面にエッジクロップ出力させるには、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT] (68ページ)をご覧ください。

MARKER BURN

MARKER BURNは16:9画面に4:3 マーカーを画像と同時に各ビデオ映像出力に表示させる機能です。オリジナルテープから編集用テープなどを作成する場合に使うことができます。

MARKER BURN を設定するには

[DISPLAY SET]メニューの[MARKER BURN]を[ON]にする。

ご注意

- MARKER BURNは以下の条件のみ使用することができます。
 - HDVフォーマット再生、またはHDVフォーマットの信号を
① HDV/DV端子に入力中で、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]の設定を[SQUEEZE]、または[LETTER BOX]に設定しているとき
 - ワイド信号記録されたDVCAMもしくはDVフォーマットの信号を再生、またはワイド信号のHDV、DVCAMもしくはDVフォーマットの信号を各映像端子に入力しているとき
- HDVフォーマットの信号を① HDV/DV端子に入力中、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を[EGDE CROP]に設定しているとき、マーカーは表示されません。
- DVフォーマットの信号を① HDV/DV端子に入力中、またはSD信号をS VIDEO IN端子またはVIDEO IN端子に入力中に、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]を[EDGE CROP]に設定しているとき、マーカーは表示されません。
- エッジクロップマーカー、MARKER BURNで表示されるマーカーは、4:3画像に切り取る場合の水平方向の有効範囲を示しています。一般的な4:3のテレビモニターに表示される映像の領域は、本機のマーカーの範囲より狭くなります。
- エッジクロップマーカーとMARKER BURNを同時にONにした場合は、エッジクロップマーカーの表示が優先されます。
- [DISPLAY SET]メニューの[MARKER BURN]と[ALLSCAN MODE]を同時に[ON]に設定した場合、LCDモニターのマーカーは正しい位置に表示されませんが、故障ではありません。各ビデオ出力端子には正しく出力されます。

レコーダーとして使う

本機をレコーダーとして使うときに必要な接続と設定、記録の方法を説明します。本機をダビング用として使う場合も、必要な設定や操作は基本的に同じです。

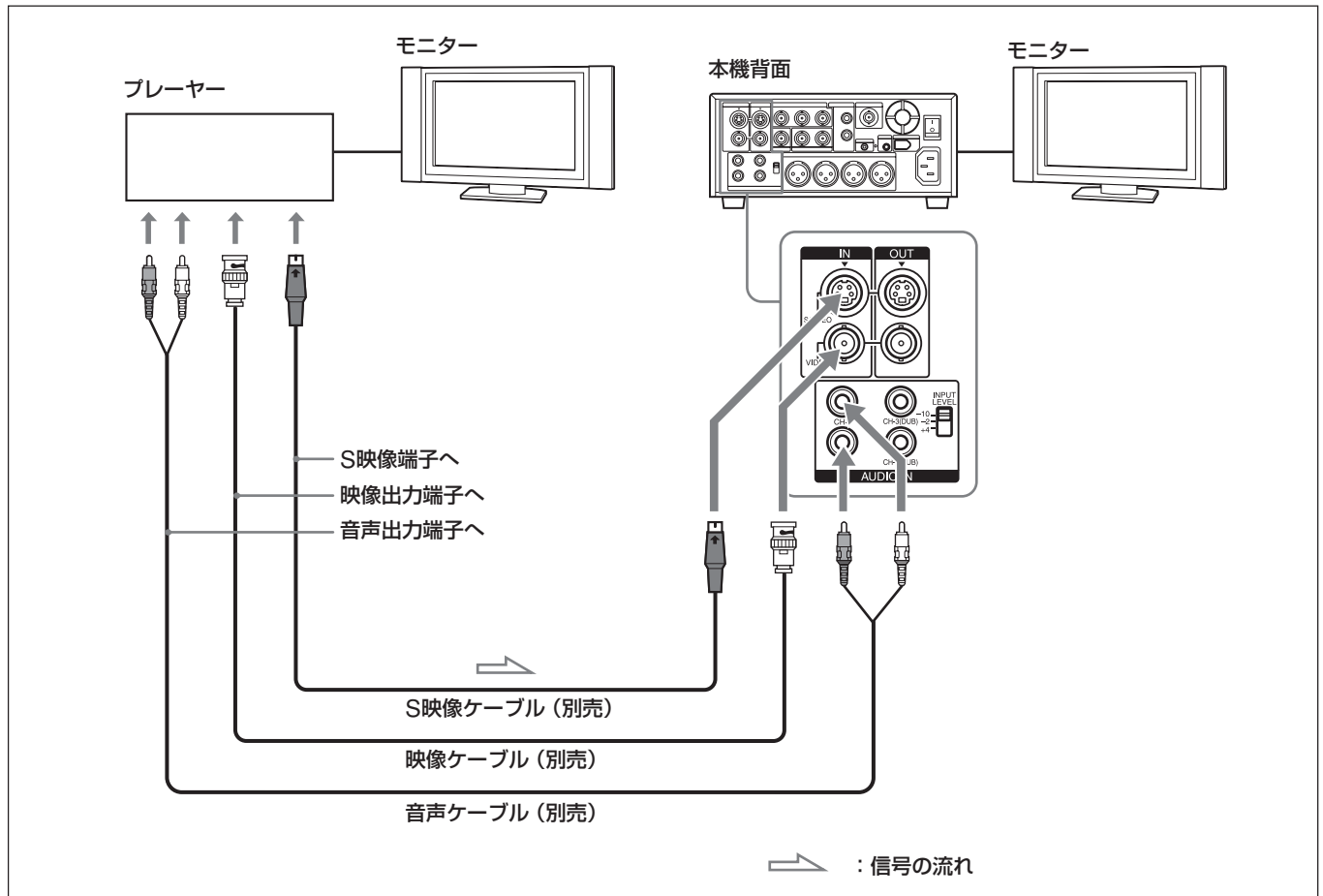
ご注意

- 編集機との接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時は使用する編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、使用する編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- ◆ 63 ページ、64 ページもあわせてご覧ください。

接続する

i.LINK端子のない機器との接続

i.LINK端子のない機器と接続して、本機をレコーダーとして使用する場合は、以下のように接続してください。



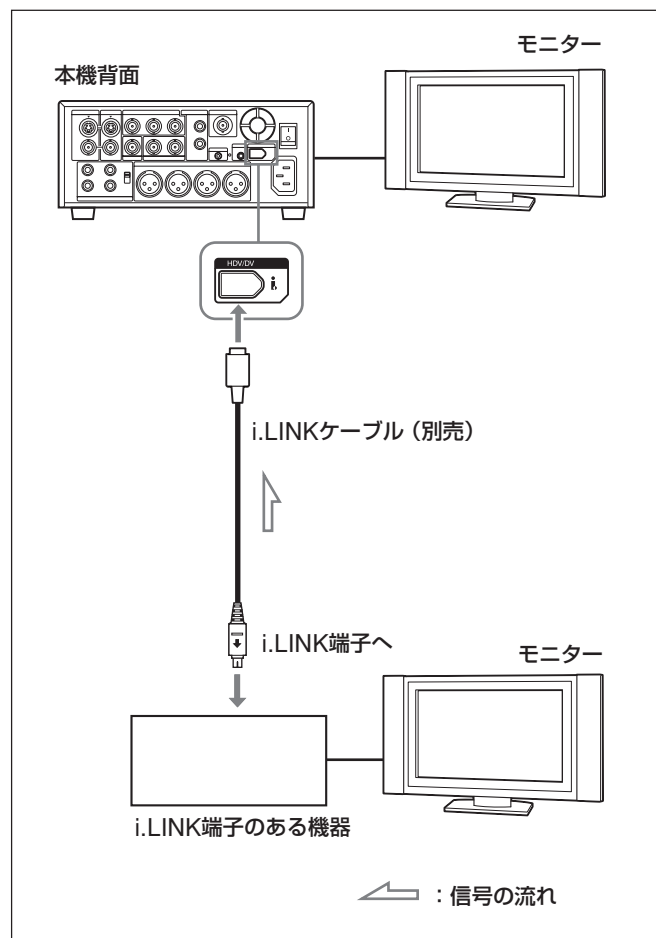
映像用のケーブルは、S映像ケーブルまたは映像ケーブルのどちらかを接続してください。

で注意

- 本機の出力をプレーヤーの入力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで、入力されていない信号を選ぶか、または接続をはずしてください。
- 変速再生の映像やもともと乱れている映像は、記録されなかったり、画像が乱れたりすることがあります。
- HDV インジケーターが点灯した状態で、AUDIO IN端子のみをつないだ場合、音声は入力されません。VIDEO IN端子も同時につなぐか、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[DV]に設定してください。

i.LINK端子のある機器との接続

HDV (1080/60i, 1080/24p, 1080/30p, 1080/50i, 1080/25p) DVCAM, DVフォーマットのi.LINK信号を記録する場合、画質・音質の劣化がほとんどない記録ができます。機器の状態によって信号の流れる方向を自動的に切り換えるため、入力/出力に応じてつなぎ直す必要がありません。

**で注意**

- HDV対応機器から録画するときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]にしてください。DVCAM (DV) 対応機器から録画するときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]または[DV]にしてから、i.LINKケーブルをつないでください (67 ページ)。i.LINKケーブルをつないでから設定を変えると、他機が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- デジタル放送などのコピー制限のある番組を、HDV/DV端子から入力することはできません。
- HDV/DV端子を使ってつないだときは、レコーダー側の音声記録モードはプレーヤーと同じになります。レコーダーの音声記録モードを変えたいときは、44ページの「i.LINK端子のない機器との接続」にて行ってください。
- HDV/DV端子を使ってつないだときは、ソーステープに記録されたデータコード (日付情報、カメラデータ) はそのままレコーダーに伝送されます。このため、記録されたテープを本機で再生しリモコンのDATA CODEボタンを押すと、ソーステープと同じデータコードが表示されます。
- HDV/DV端子を使ってつないだ外部機器の映像が映らないときは、i.LINKケーブルを抜いて、もう一度まっすぐつなぎ直してください。
- 映像または音声のみを記録することはできません。
- DVCAM/DVのとき、再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなる場合があります。HDVのときは映像は記録されません。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流 (8~40 V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- 一時停止または停止したあとで録画を再開すると、スムーズにつながりません。
- モニターやプレーヤーの入力を本機の出力と接続すると、ブーンという音が出たり画像が乱れたりすることがあります。その場合はINPUT SELECTスイッチで入力されていない信号を選ぶか、接続をはずしてください。
- HDVフォーマットの1080/60i, 1080/24p, 1080/30p, 1080/50i, 1080/25p方式の信号以外のMPEG2の信号を録画することはできません。
- HDV/DV端子から入力したHDVフォーマットの信号を記録すると、つなぎ目が約1秒間の静止画となります。

(続く)

レコーダーとして使う

- カラーバー出力はプログレッシブ方式での記録はできません。[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定(82ページ)に従い、1080/60iまたは1080/50iフォーマットで記録されます。

準備する

本機(レコーダー)の準備

ご注意

- 記録を始める前に、[OTHERS]メニューの[CLOCK SET]で日付・時刻を合わせてください(81ページ)。日付・時刻を設定しないと、頭出し信号に日付情報が書き込まれません。
- 著作権保護のための信号が重畳されているテープや信号を使用すると、記録や操作に制限を受けることがあります。
- 記録中は、誤操作によってテープ走行状態が変わることを防ぐため、STOPボタンとPAUSEボタン以外のテープ走行コントロール部のボタンは働かないようになっています。STOPボタンおよびPAUSEボタンも働かないようにするには、記録を始めてからKEY INHスイッチをONにします。この場合、KEY INHスイッチをOFFにしてから記録を終了または一時停止してください。

- 1 モニターの電源を入れて、接続した入力端子に合わせて、モニターの入力切り換えを行う。
- 2 プレーヤー側で再生の準備をする。
 - ◆ プレーヤーの操作について詳しくは、使用するプレーヤー機器の取扱説明書をご覧ください。
- 3 本機の電源を入れる。
- 4 プレーヤーをIN端子につないだときは、入力する信号に合わせて、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を設定する。


60i方式の信号を入力するときは60iに、50i方式の信号を入力するときは50iに切り換えます(82ページ)。

ご注意


- 記録中は、[60i/50i SEL]の設定を変えないでください。
- INPUT SELECTスイッチをS VIDEOもしくはVIDEOに設定しているとき、[60i/50i SEL]の設定と異なるカラーテレビ方式の信号を入力すると、画像はミュートされます。

- i.LINK入力する場合は、本機が自動的に入力信号のカラーテレビ方式を判別します。[60i/50i SEL]の設定を変える必要はありません。ただし、[60i/50i SEL]の設定が50iの場合は、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。このため60i方式の信号をi.LINK入力している場合でも、[TC/UB SET]メニューの[TC FORMAT]の設定にかかわらず、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。ドロップフレームモードで記録するときは、[60i/50i SEL]を60iにしてください。

- 5 本機のINPUT SELECTスイッチを切り換えて、入力信号を選択する。

HDV/DV :  HDV/DV端子からの入力信号を記録する場合
S VIDEO : S VIDEOのIN端子からの入力信号を記録する場合


VIDEO : VIDEOのIN端子からの入力信号を記録する場合

記録したいフォーマットに合わせて[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL](67ページ)と REC MODE(67ページ)を設定する必要があります。

- ◆ 記録テープのフォーマットについて詳しくは、98ページをご覧ください。

ご注意

記録中はINPUT SELECTスイッチを切り換えしないでください。記録中に切り換えると、録画が数秒間停止し、回路内部が切り換わってから録画を再開します。この間、画像は録画されません。

- 6 オーディオモードを選択する。 HDV/DV端子を使って記録する場合を除く)

INPUT SELECTスイッチでS VIDEOもしくはVIDEOを選択した場合、オーディオモードは、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で設定します(75ページ)。

FS32K : オーディオモードを4チャンネルモードにする。

FS48K : オーディオモードを2チャンネルモードにする。

DV (SP) モードで記録するときには、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO LOCK]でオーディオロックモードを設定します(75ページ)。

ご注意

ⓘ HDV/DV 端子から入力している場合、オーディオモードは入力される信号のオーディオモードと同じになります。

◆ 記録後に音声ダビングを行う場合は、61ページをご覧ください。

7 プレーヤーの音声レベルに応じて、背面パネルの INPUT LEVEL スイッチを切り換える。

8 AUDIO INPUT スイッチで、録音レベルの調整方法を切り換える。

ご注意

ⓘ HDV/DV 端子を使って記録する場合には、録音レベルの調整はできません。

9 AUDIO REC LEVEL つまみで、録音レベルを調整する。

手順**8**で、[MANU]を選んだ場合のみ調整します。LCD モニターのオーディオレベルメーターを見ながら、AUDIO REC LEVEL つまみを回して、最大音量のときにレベルが0 dBを越えないように調整します。0 dBを越えると、音がひずみます。


ご注意

- 本機はDVCAM (DV) 記録時、2チャンネル (FS48K) と4チャンネル (FS32K) の2種類のオーディオモードに対応しています。これ以外のモード (例えば2チャンネル (FS32K)) を選択することはできません。
- 記録中は、オーディオモードの切り換えはできません。
- 記録後に本機で音声ダビングをする場合は、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]でオーディオモードを[FS32K] (4チャンネルモード) に設定してください。
 - ◆ [AUDIO SET]メニューについて詳しくは、「AUDIO SETメニュー」(75ページ)をご覧ください。
- 本機ではDVCAMで4チャンネル (FS32K) 記録されたテープにのみ音声ダビングすることができます。

記録する

ここでは、他のVTRをプレーヤーとして、プレーヤーに入れたテープの再生信号を本機で記録する方法を説明します。

◆ ⓘ HDV/DV 端子を使ってパソコンと接続した場合の操作については、63ページの「編集する (パソコンと接続する)」をご覧ください。

1 カセットを入れて、 (カセット) インジケーターが点灯していることを確認してください。

2 プレーヤーの再生ボタンを押す。

プレーヤーが再生を開始します。

3 本機のRECボタンを押したままPLAYボタンを押す。

ご注意

HDVの画像を記録するとき、録画開始までに少し時間がかかりますが、故障ではありません。(録画開始までの間、[STBY]文字とRECインジケーターが点滅します。)

記録を終了するには

本機のSTOPボタンを押します。

記録を一時停止するには


本機のPAUSEボタンを押します。

ご注意

NTSCまたはPALの信号をアップコンバートしてHDVフォーマットで記録することはできません。

記録機能**インデックス信号を打ち込む**

記録中に、本機のINDEXボタン、または付属リモコンのINDEX MARKボタンを押すことで、テープの任意の位置にインデックス信号を打ち込むことができます。インデックスは、再生時の頭出しに便利です。

[VTR SET]メニューの[AUTO INDEX]を[ON]に設定している場合、停止状態から記録を開始すると自動的にインデックス信号が打ち込まれます。インデックス信号打ち込み中は、文字情報表示(23ページ)上に約7秒間が表示されます。

(続く)

レコーダーとして使う

で注意

- **■**が表示されている間は、新しくインデックス信号を打ち込むことができません。
- テープ上にインデックス信号が打ち込まれている位置で上書きして記録すると、インデックスは消去されます。映像、音声を残してインデックス信号のみを消去することはできません。
- 再生中、音声ダビング中にインデックス信号を打ち込むことはできません。本機のINDEXボタンおよび付属リモコンのINDEX MARKボタンは働きません。

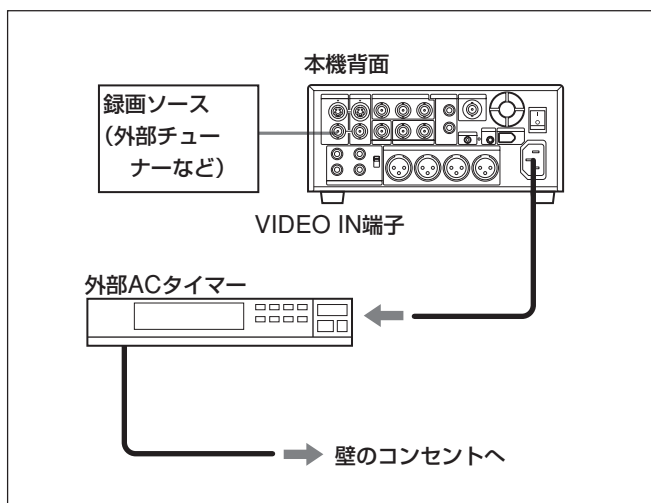
再生時にインデックスを利用するには
「頭出しする」(39ページ)をご覧ください。

ACタイマーを使った記録

本機を外部ACタイマー(別売)に接続すると、設定した時刻に記録を始めることができます。

あらかじめ、本体背面のPOWERスイッチは|側(ON)にしておいてください。

- 1 本機を外部ACタイマー(別売)に接続する。



- 2 記録用のカセットを入れる。
- 3 本機のINPUT SELECTスイッチを切り換えて、入力信号を選択する。
- 4 本機前面パネルのTIMERスイッチをRECに合わせる。

- 5 外部ACタイマーで開始時刻を設定する。

開始時刻になると本機の電源が入り、数秒～数十秒後に自動的に記録を開始します。余裕をもった時刻設定をしてください。RECボタンを押す必要はありません。

で注意

本機の電源を切るときは、あらかじめSTOPボタンを押してテープ走行を止めてから切ってください。テープ走行中にACタイマーを使って本機の電源を切ると、本機やテープの損傷の原因となることがあります。

テープが終わった場合は
そのまま停止状態になります。

途中で記録を止めるには
本機のSTOPボタンを押します。

ACタイマー記録を解除するには
本機前面パネルのTIMERスイッチをOFFに合わせます。

タイムコードを活用する

タイムコードやユーザービットを設定する

本機は、タイムデータに関する機能として、タイムコードおよびユーザービットの設定、表示、記録、再生などを実行することができます。

ご注意

- 本機の **HDV/DV** 端子からHDVフォーマットの信号を記録したとき、ユーザービットは自動的にコピーされ、本機でプリセットすることはできません。またタイムコードは[TC MAKE]の設定に従って設定されます。元のテープのタイムコードをコピーする場合は[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]にします(78ページ)。
- DVCAM (DV) フォーマットで録画された画像を本機の **HDV/DV** 端子から入力したとき、本機でユーザービットとタイムコードをプリセットすることができます。元のテープのユーザービットとタイムコードをコピーする場合はDUPPLICATE PLUS (57、76ページ) をご使用ください。
- HDVとDVCAM (DV) フォーマット混在記録されたテープのときは、つなぎ目でタイムコードが乱れることがあります。
- 無信号記録されたHDVテープを再生すると、タイムコードが乱れることがあります。
- カウンターリセット機能が付いているリモコンからのタイムコード、ユーザービットのリセットは、本機では対応していません。

内蔵タイムコードジェネレーターを使う

内蔵タイムコードジェネレーターが発生するタイムコード(内部タイムコード)をテープに記録する場合、タイムコードの初期値を設定することができます。

また、ユーザービットを使用することにより、日付、時刻、シーン番号、リール名その他のメモ情報をユーザービットデータとして記録することができます。タイムデータに関するさまざまな設定は、メニュー操作によって行います。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「第5章 メニューで行う調整と設定」(65ページ) をご覧ください。

タイムコードの初期値を設定する

ここでは、タイムコードの初期値の設定方法を説明します。

ご注意

タイムコードの初期値を設定する前に、あらかじめ[TC/UB SET]メニューの[TC MAKE]を[PRESET]に設定してください。

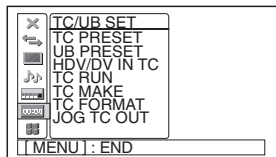
- ◆ [TC MAKE]について詳しくは、「TC/UB SETメニュー」(78ページ) をご覧ください。

(続く)

タイムコードやユーザービットを設定する

1 メニューを表示させる。

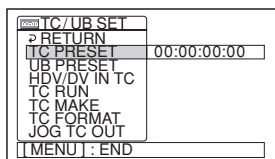
- ◆ メニューの表示方法については、「メニューの操作」(65ページ)をご覧ください。



([TC FORMAT]は、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を[60i]に設定しているときのみ設定できます。)

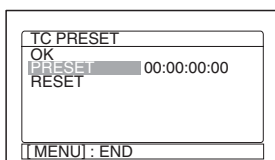
2 各/各ボタンを押して[TC/UB SET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



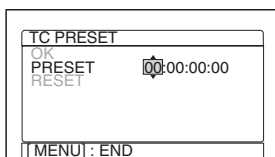
3 各/各ボタンを押して[TC PRESET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



4 各/各ボタンを押して[PRESET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



5 各/各ボタンを押して数値を選び、EXECボタンを押して決定する。

6 手順5と同様に、8桁すべての値を設定する。

7 各/各ボタンを押して[OK]を選び、EXECボタンを押して決定する。

タイムコードが設定され、手順3のメニューに戻ります。

8 各/各ボタンを押して[OK]を選び、EXECボタンを押して決定する。

元のメニューに戻ります。

タイムコードの設定を中止するには

手順7で[CANCEL]を選び、EXECボタンを押す。

タイムコードをリセットするには

手順4で[RESET]を選び、EXECボタンを押す。

ユーザービットを設定する

ユーザービットとして、16進数8桁までの情報をタイムコードトラックに記録することができます。

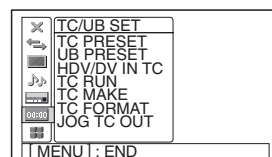
ご注意

ユーザービットは、HDVフォーマットの信号をi HDV/DV端子から入力して記録する場合は、入力されたものがそのまま使用され、本手順での設定は無効になります。

本機に内蔵しているカラーバーをHDVフォーマットで記録する場合に限りHDVフォーマットであってもユーザービットを設定することができます。

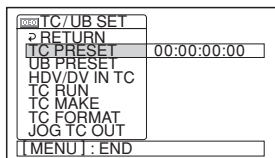
1 メニューを表示させる。

- ◆ メニューの表示方法については、「メニューの操作」(65ページ)をご覧ください。



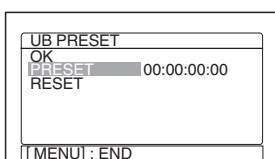
- 2 左/右ボタンを押して[TC/UB SET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



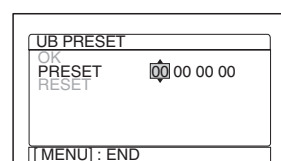
- 3 左/右ボタンを押して[UB PRESET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



- 4 左/右ボタンを押して[PRESET]を選び、EXECボタンを押して決定する。

以下のメニューが表示されます。



- 5 左/右ボタンを押して数値を選び、EXECボタンを押して決定する。

- 6 手順5と同様に、8桁すべての値を設定する。

- 7 左/右ボタンを押して[OK]を選び、EXECボタンを押して決定する。

ユーザービットが設定され、手順3のメニューに戻ります。

- 8 左/右ボタンを押して[OK]を選び、EXECボタンを押して決定する。

元のメニューに戻ります。

ユーザービットの設定を中止するには
手順7で[CANCEL]を選び、EXECボタンを押す。

ユーザービットをリセットするには
手順4で[RESET]を選び、EXECボタンを押す。

ご注意

HDVフォーマットの1080i方式では、ユーザービットは3フレームおきにしに記録されません。

HDV/DV端子に入力した信号を記録するときのタイムコードを選択する

[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を設定して記録するときのタイムコードを選択します。

INTERNAL：本機内部で発生させたタイムコードを記録する。

EXTERNAL：HDV/DV端子から入力されている映像・音声と一緒に、タイムコードも記録する。

ご注意

- [EXTERNAL]に設定した場合は、タイムコードはHDV/DV端子から入力されている値、ユーザービットは[UB PRESET]で設定した値が記録されます。
- HDV/DV端子からHDVフォーマットの信号を入力している場合は上記選択にかかわらず、ユーザービットも入力されている値が記録されます。
- [EXTERNAL]に設定していて、前面パネルのINPUT SELECTスイッチが[HDV/DV]に設定されていて、HDV/DV端子から信号が入力されない状態や接続している編集機の編集ソフトウェアがHDV/DV端子からタイムコードを出力していない状態で記録すると、タイムコードとして、「---:---:---:---」が記録されます。信号が入力されると、その信号のタイムコードが記録されます。
- [EXTERNAL]に設定していて、外部から入力されているタイムコードが不連続な場合や正しく歩進しない場合、本機でのタイムコードの記録や表示がずれることがあります。またこの状態で記録したテープを使うと、組み合わせる機器によっては、編集やサーチが正しく行われないことがあります。

(続く)

記録開始時のタイムコードを設定する

[TC/UB SET]メニューの[TC MAKE]を設定して、記録を開始したときのタイムコードの値を設定します。

REGENERATE: テープにすでに記録されているタイムコードに連続したタイムコードになる。

テープにタイムコードが記録されていない場合は、「00:00:00:00」から記録します。

PRESET: [TC/UB SET]メニューの[TC PRESET]で設定した値から記録する。

歩進モードを設定する

[TC/UB SET]メニューの[TC RUN]を設定して、タイムコードの歩進モード(カウントアップ)を切り換えます。

REC RUN: 記録中のみタイムコードが進む。

FREE RUN: 記録停止中もタイムコードが進む。

タイムコードの初期値を現在の時刻に合わせるときなどに使用します。

ご注意

[FREE RUN]に設定した場合、電源が入っていない間は内蔵時計の精度で進みます。再度電源を入れたり、再生モードにしたり、INPUT SELECTスイッチで[HDV/DV]を選択した場合に、ずれが生じる場合があります。

フレームモードを設定する(60i方式の信号使用時のみ)

[TC/UB SET]メニューの[TC FORMAT]を設定して、タイムコードの記録方式を切り換えます。

AUTO: すでにテープに記録されている方式に合わせる。

テープに何も記録されていない場合は、ノンドロップフレームモードになります。テープのタイムコードの記録方式が読み取れない場合には、その直前の位置の方式になります。カセットを本機から取り出すと、直前の位置の方式はクリアされ、ノンドロップフレームモードになります。

[TC MAKE]を[PRESET]に設定している場合には、ノンドロップフレームモードになります。

DF: ドロップフレームモードにする。

NDF: ノンドロップフレームモードにする。

ご注意

[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]が[50i]に設定されていると、本機は50i仕様の機器として動作します。このため、内部で発生するタイムコードは、ノンドロップフレームモードになります。60i方式の信号をi.LINK入力している場合でも、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]が[50i]に設定されていると、[TC FORMAT]の設定にかかわらず、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。ドロップフレームモードに設定するときは、[60i/50i SEL]の設定を[60i]に切り換えてください。

変速再生時のタイムコード出力を切り換える

[TC/UB SET]メニューの[JOG TC OUT]を設定して、変速再生したときの、TC OUT端子からのタイムコード出力を制御します。

OFF: タイムコードを出力しない。

ON: タイムコードを出力する。

ご注意

•連続したタイムコードは、標準速再生時のみ出力します。変速再生中は不連続なタイムコードが出力されます。


本機のタイムコード

本機は、i.LINK HDV/DV端子を装備しています。INPUT SELECTスイッチを[HDV/DV]に設定した場合と、それ以外に設定した場合は、表示およびテープに記録されるタイムコードが以下のように異なります。

	[HDV/DV IN TC]メニュー	INPUT SELECT スイッチ	状態 (MODE)	表示および記録されるタイムコード/ユーザービット
再生			再生 音声ダビング	テープ上のタイムコード/ユーザービット
			変速再生 ^{a)} DUB1 ^{b)}	テープ上のタイムコード/ユーザービット ([JOG TC OUT]が[ON]のとき。[OFF]のときはミュート。)
EE時	INTERNAL	HDV/DV	デュプリケート DUPLICATE1 ^{b)}	i.LINK HDV/DV端子に接続された他機のタイムコード/ユーザービット ^{c)}
			記録 記録一時停止 REC1 ^{b)}	内部でジェネレートしているタイムコード/ユーザービット ^{c)} 入力した信号がHDVの場合：i.LINK入力されたユーザービット
		S VIDEO または、VIDEO	記録 記録一時停止 REC1 ^{b)}	内部でジェネレートしているタイムコード/ユーザービット ^{c)}
	EXTERNAL	HDV/DV	デュプリケート DUPLICATE1 ^{b)}	i.LINK HDV/DV端子に接続された他機のタイムコード/ユーザービット ^{c)}
			記録 記録一時停止 REC1 ^{b)}	タイムコードは、i.LINK HDV/DV端子に接続された他機のタイムコード ユーザービットは、内部でジェネレートしているユーザービット 入力した信号がHDVの場合：i.LINK入力されたユーザービット
		S VIDEO または、VIDEO	記録 記録一時停止 REC1 ^{b)}	内部でジェネレートしているタイムコード/ユーザービット ^{c)}

- a) 停止、早送り、巻き戻しの状態を含みます。テープ上のタイムコードを読み取ることができない場合は、カウンター表示が「--:--:--:--」となります。
- b) DUB1、DUPLICATE1、REC1は、テープが停止状態のときにそれぞれのボタンのみを押した状態を示します。
- c) タイムカウンターにも表示されます。タイムカウンターについては、25ページをご覧ください。

タイムコードを出力する

再生時、記録時、EEモード時に、TC OUT端子、HD/SD SDI OUT端子、 HDV/DV端子からタイムコードを出力できます。


再生時のタイムコード出力

テープに記録されたタイムコードが出力されます。

記録時、EEモード時のタイムコードの出力

本機内蔵のタイムコードジェネレーターで発生するタイムコード、または外部入力されたタイムコードが出力されます。

ご注意

- 1080/24pフォーマットで記録時に表示されるタイムコードは30フレーム単位に変換されて出力されます。
- 1080/24pのタイムコードを変換せずに出力できるのは、 HDV/DV端子からダウンコンバートしないで出力する場合のみです。
- EE時は[JOG TC OUT]が[OFF]に設定されていると、出力されない場合があります。
- TC OUT端子から出力するタイムコードはCOMPONENT OUT端子の出力信号の位相に合ったタイミングで出力されます。(NTSC動作時、COMPONENT出力信号フォーマットが720pまたは1080iのときは、S VIDEO OUTおよびVIDEO OUT信号の位相より3ライン分早くなります。)

i.LINK端子を使った ダビング、デュプリケート、 音声ダビングと パソコンとの接続

i.LINK端子を使って他の機器へダビングする

本機をプレーヤーとして、他の機器にダビングするときの接続と設定について説明します。

接続する

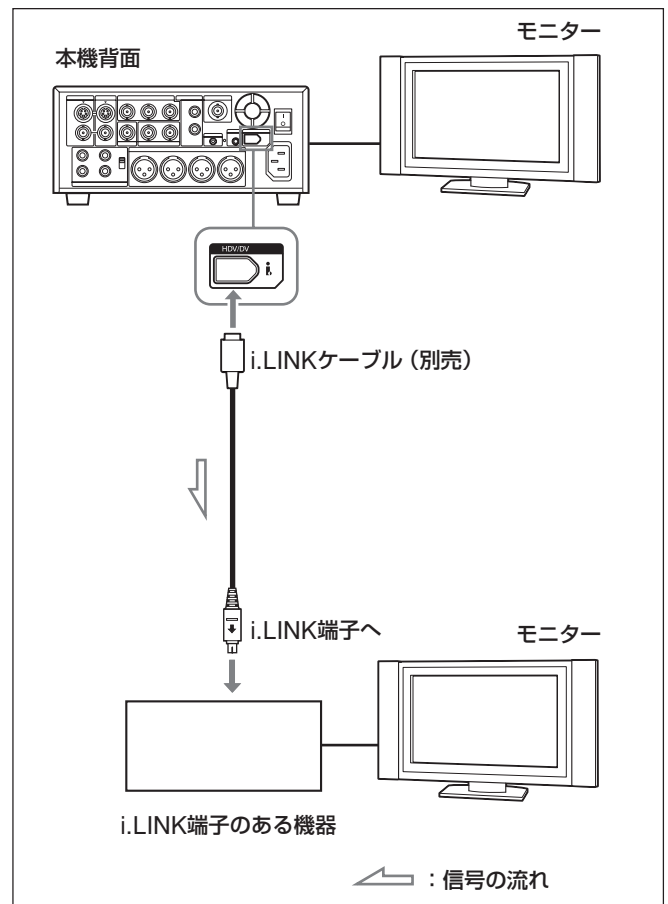
図のようにi.LINKケーブルで本機を録画機につなぎます。
機器の状態によって信号の流れを自動的に切り換えるため、
入力／出力に応じてつなぎ直す必要がありません。本機を編集機
と接続してデジタルノンリニア編集システムで使用する場合も
i.HDV/DV端子を使って編集機と接続します。

◆ 編集機に接続する場合は、編集機に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ダビングを始める前に、出力したいフォーマットに設定します。
[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL](67ページ)と
[i.LINK SET](69ページ)の設定を行ってください。

◆ 詳しくは、31ページの「HDV1080i/DVCAM/DVフォーマットの主な違い」をご覧ください。

DSR-25/45/50などに搭載しているデュプリケート機能を使って
HDVフォーマットで記録されたテープをi.LINK接続でダビングする
場合は、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV
CONV]で[DVCAM]を選択してください。



(続く)

i.LINK端子を使って他の機器へダビングする

HDVフォーマットで記録したテープをDVCAMフォーマットにダウンコンバートする場合、制限があります。

- ◆ [i.LINK SET]について詳しくは、「IN/OUT REC」メニューの「i.LINK SET」(69ページ)をご覧ください。

で注意

- i.LINKケーブル接続時は、再生一時停止中の画像を出力すると、画像が粗くなる場合があります。
- HDVフォーマットの場合、変速再生中は簡易画像が出力されません(38ページ)。
- i.LINKケーブル接続時は、映像または音声のみを出力することはできません。
- HDVをDVCAMにダウンコンバートした信号をデュプリケートしてHDV/DVカセットにDVCAMフォーマットで記録する場合、記録可能時間はカセットに表記されている時間の約2/3になります。DVCAMカセットにDVCAMフォーマットで記録する場合は、カセットに表記されている時間と記録可能時間は同じです。
- プログレッシブ方式で記録されたHDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートしてi.LINKに出力する場合、信号はインターレース方式に変換されます。1080/24pと1080/30pは480iフォーマットに、1080/25pは576iフォーマットにそれぞれ変換されます。
- オーディオ4チャンネルで記録したHDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートしてi.LINKに出力する場合、オーディオは2チャンネルになります。このとき、「IN/OUT REC」メニューの[i.LINK SET]で「DOWN CONV AU」の設定を変更すると、出力するチャンネルをCH1とCH2からCH3とCH4に切り換えることができます。
- HDV再生時にDVCAM(DV)フォーマットにダウンコンバートして出力する場合、i.LINK以外の端子へは4チャンネルの音声出力が可能です。

ダビングする

- 1 本機の準備をする。
 - ◆ 46ページの「準備する」をご覧ください。
- 2 レコーダーの準備をする。
 - ◆ 詳しくは、使用するレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 3 本機で再生を始め、レコーダーで録画する。
 - ◆ 詳しくは、使用するレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 4 ダビングが終わったら、レコーダーの録画を停止し、本機の再生を停止する。

デュプリケート (同一タイムコードのワークテープ作成)

DUPLICATE PLUSは本機がレコーダーとなりi.LINKで接続されたプレーヤーのテープをタイムコードごとデュプリケート (複製) する機能です。DUPLICATE ボタンを使って、オリジナルテープをデュプリケートすると、同一タイムコードのワークテープの作成が容易に行えます。

本機はHDV1080、DVCAM、DV (SP)のフォーマット入力に対応します。

また、デュプリケート中のテープエンドや本機のSTOP操作による一時停止中に、プレーヤー側、またはレコーダー側のカセットを交換することができます (59ページ)。したがって、複数のテープから1つのテープに継続してデュプリケートすることができます。(本機はカセットメモリーCIIのデュプリケートには対応していません。)

ご注意

本機能は、1対1接続でご使用ください。また、デュプリケート中にi.LINKケーブルを抜かないでください。

DUPLICATE PLUSを設定する

[VTR SET]メニューの[DUPLICATE PLUS]を設定します。

フォーマットを設定する

[DUPLICATE PLUS]の[FORMAT SEL]でデュプリケートするフォーマットを選択します。指定以外のフォーマット部分は、無記録部分を検出したときと同じ動作をします (59ページ)。

ALL：オリジナルテープをそのままデュプリケートする。

HDV1080：HDV1080フォーマット (インターレースおよびプログレッシブ) のみを自動検出し、デュプリケートする。

HDV1080(i)：HDV1080フォーマットのインターレース方式の部分のみを自動検出し、デュプリケートする。

HDV1080(p)：HDV1080フォーマットのプログレッシブ方式の部分のみを自動検出し、デュプリケートする。

DVCAM：DVCAMフォーマットのみを自動検出し、デュプリケートする。

DV SP：DV (SP)フォーマットのみを自動検出し、デュプリケートする。

ご注意

●パソコンに取り込むときにフォーマットが混在すると、パソコンがハングアップすることがあります。本機のデュプリケート機能を使用してダビングしたテープをパソコンに取り込む場合は、単一フォーマットでのデュプリケートをおすすめします。

●[FORMAT SEL]をALLに設定してデュプリケート中に、非対応のHDVフォーマット (720/60pなど) が入力された場合は、無信号記録になりその部分をスキップします。また、非対応のDVフォーマット (DV LPなど) が入力された場合は、DV SPとして記録します。

●デュプリケートの途中で入力のフォーマットが切り替わった場合、切り替わり目部分が一部欠ける場合があります。

●[DUPLICATE PLUS]の[FORMAT SEL]でHDV 1080(i)またはHDV 1080(p)を選択すると、サーチ速度は等倍速になります。

自動巻き戻し機能を設定する

[DUPLICATE PLUS]の[AUTO REW]でプレーヤーとレコーダーの自動巻き戻し機能の有無を選択します。

ON：プレーヤー、レコーダーともに、自動的に巻き戻してからデュプリケートを開始する。

また、複数のカセットから継続してデュプリケートする場合は、カセット交換した側を自動的に巻き戻してからデュプリケートを再開します。

OFF：任意の位置からデュプリケートを開始する。

ご注意

プレーヤーの仕様により、一部の機種では自動巻き戻し後テープの先頭検出ができない場合があります。その場合は、[AUTO REW]設定を[OFF]にしてご使用ください。

DUPLICATE PLUSを実行する

デュプリケートの操作は[DUPLICATE PLUS]の設定により以下のように異なります。

ご注意

デュプリケート中にプレーヤーを操作すると、処理が中断されたり、正しくないテープが作成されたりすることがあります。実行中はプレーヤーを操作しないでください。

DUPLICATE PLUSの[AUTO REW]が[ON]の場合

1 本機とプレーヤーをi.LINKケーブル (別売) で接続し、電源を入れ、本機のINPUT SELECTスイッチを[HDV/DV]に切り換える。

2 STOPボタンを押して、本機を停止状態にする。

(続く)

デュプリケート (同一タイムコードのワークテープ作成)

- 3** 本機の DUPLICATE ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押す。

本機、プレーヤーともに、自動的にテープトップまで巻き戻り、本機は記録一時停止状態に、プレーヤーは再生一時停止状態になってから、本機の DUPLICATE ボタンと PLAY ボタンのインジケーターが点灯し、デュプリケートが始まります。

ご注意

- プレーヤー側のテープのローディングが終了してからデュプリケートを開始してください。
- デュプリケートは、i.LINK の通信が確立してから開始されます。このため記録内容の頭の部分が一部欠けます。
- プレーヤーにオートリピートなどの機能があるときは、オートリピートを OFF にしてください。
- プレーヤーにスチルタイマー機能があるときは、テープトップまで巻き戻す間の自動動作を防ぐため、できるだけ長い時間の設定にしてください。
- DSR-45 とデュプリケートするときは DSR-45 の REMOTE/LOCAL スイッチを [LOCAL] に設定してください。
- デュプリケート中にプレーヤーを手動で操作して、警告メッセージ (PLAYER UNCONTROLLABLE) が表示されて中断した場合、再度デュプリケートをするには、一度本機の EXEC ボタンを押してデュプリケートを終了してから実行してください。

DUPLICATE PLUS の [AUTO REW] が [OFF] の場合

- 1** 本機とプレーヤーを i.LINK ケーブル (別売) で接続し、電源を入れ、本機の INPUT SELECT スイッチを [HDV/DV] に切り換える。
- 2** 本機とプレーヤーのテープを、デュプリケートを開始する位置にしておく。
- 3** STOP ボタンを押して、本機を停止状態にする。
- 4** 本機の DUPLICATE ボタンを押しながら、PLAY ボタンを押す。

本機は記録一時停止状態に、プレーヤーは再生一時停止状態になってから、本機の DUPLICATE ボタンと PLAY ボタンのインジケーターが点灯し、デュプリケートが始まります。

デュプリケートの開始位置を調節するには手順 **4** で、DUPLICATE ボタンを押しながら、PAUSE ボタンと PLAY ボタンを押してください。この場合、もう一度 PAUSE ボタンを押すまで、デュプリケートは始まりません。

LCD モニターの [PLAYER] 表示が [READY] の点滅表示になったことを確認してから、プレーヤーのテープを好みの位置に調節してください。PAUSE ボタンを押してデュプリケートを始めることができます。

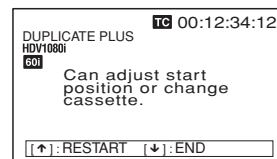
ご注意

- プレーヤー側のテープのローディングが終了してからデュプリケートを開始してください。
- デュプリケートは、i.LINK の通信が確立してから開始されます。このため記録内容の頭の部分が一部欠けます。デュプリケートを開始する少し前の位置から再生を始めてください。
- プレーヤーにオートリピート機能などがあるときは、それらの機能を OFF にしてください。また、自動巻き戻し機能があるときは、それらの機能を ON にしてください。
- テープトップの部分では、デュプリケートできないことがあります。プレーヤー側を画像のある部分まで頭出ししてからデュプリケートを行ってください。
- テープの途中に無記録部分がある場合、無記録部分終了直後の記録内容の頭の部分が欠けることがあります。
- プレーヤー側のタイムコードが不連続な場合や正しく歩進しない場合、本機でのタイムコードの記録や表示がずれることがあります。

デュプリケートを途中で中止するには

- 1** 本体の STOP ボタンを押し、デュプリケートを一時停止する。

一時停止中は、以下の選択画面が表示されます。



- 2** ▾ ボタンを押す。

デュプリケートを終了します。

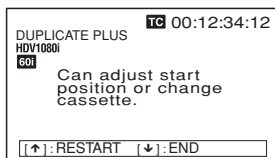
複数のカセットから継続してデュプリケートする

デュプリケートの一時停止中に、プレーヤー側のテープを交換することができます。したがって、複数のテープから1つのテープに継続してデュプリケートすることができます。

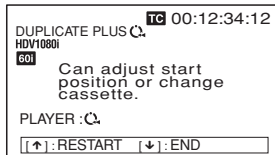
テープを交換するには

- 1 プレーヤー側のテープエンド時、または本機のSTOPボタンを押し、デュプリケートの一時停止状態を確認する。

一時停止中は、選択画面が表示されます。



- 2 プレーヤー側のテープを取り出し、別のテープを入れる。



[AUTO REW]が[ON]に設定されているとき、が表示されます。

この際にレコーダー側のテープを取り出し、別のテープと交換することもできます。

- 3 冂ボタンを押す。

デュプリケートが再開されます。

[AUTO REW]が[ON]に設定されている場合、交換されたテープは自動巻き戻しします。

ご注意

- カセット交換した場合、つなぎ目の頭の部分が一部欠けることがあります。
- デュプリケート一時停止して、再開する場合、再開直後の記録内容の頭の部分が欠けることがあります。

デュプリケート中に無記録部分を検出したときには

本機は、デュプリケート中に、プレーヤー側のテープに無記録部分を検出した場合、無記録部分を自動的にスキップします。無記録部分を検出したときのプレーヤー/レコーダー(本機)の動作は以下ようになります。

プレーヤーの検出状態	プレーヤー/レコーダー(本機)の動作
無記録部分を検出すると	プレーヤー：再生を続ける レコーダー：記録を続ける
無記録部分を検出してから一定時間たつと	プレーヤー：再生を続け、さらに一定時間たつと、早送り再生で進む レコーダー：停止する
次の記録部分を検出すると	プレーヤー：無記録部分が終わる直前の位置まで、約2倍速で戻る レコーダー：停止を続ける
無記録部分が終わる直前の位置に戻ると	プレーヤー：再生一時停止後、再生を開始する レコーダー：記録一時停止後、記録を開始する

以上の一連の動作を自動的に行うことにより、無記録部分を短くしてデュプリケートします。

ご注意

- プレーヤーの仕様により、一部の機種ではスキップ機能が働かないものがあります。
- 次の記録部分を検出してデュプリケート記録が再開された直後は、記録内容の頭の部分が欠けることがあります。
- 無記録部分にはさまれた記録部分の長さが1分未満のときは、この記録部分がデュプリケートされないことがあります。

(続く)

デュプリケート (同一タイムコードのワークテープ作成)

デュプリケート時の警告表示

デュプリケート中に、LCDモニターおよびビデオ出力画面に中止／

警告NO. および警告メッセージが出る場合があります。

以下の表で内容をご確認のうえ、必要な操作を行ってください。

中止／警告 NO.	警告メッセージ	意味／対策
00	RECORDER: INPUT SELECT is not set to HDV/DV.	レコーダー側 (本機) のINPUT SELECTスイッチがHDV/DV以外になっている。 →INPUT SELECTスイッチをHDV/DVにしてください。
01	i.LINK: Cable not connected.	i.LINKケーブルが正しく接続されていない。 →i.LINKケーブルを正しく接続してください。
02	i.LINK: Check i.LINK connection.	i.LINK接続を複数またはループ状に接続した。 →複数台とのi.LINK接続はできません。1対1接続してください。
03	i.LINK: Check i.LINK connection.	i.LINKケーブルを抜き差しした。 →i.LINKケーブルの接続を確認し、再度デュプリケートを実行してください。
10	PLAYER: Recording.	プレーヤー側が記録状態になっている。
11	PLAYER: No cassette	プレーヤー側にカセットが入っていない。
12	PLAYER: Cannot control.	プレーヤー側が制御不能になっている。
13	PLAYER: Cannot control.	プレーヤー側が制御を拒否している。
14	PLAYER: Cannot control.	プレーヤー側が無効の状態、またはレコーダー (本機) の要求と異なる状態になっている。
15	PLAYER: Cannot control.	プレーヤー側が不都合な状態になっている。
16	PLAYER: Cannot record due to copyright protection.	プレーヤー側のカセットが著作権保護のための信号が重畳されているカセットのため、デュプリケートを強制終了した。 →著作権保護のための信号が重畳されているカセットはデュプリケートできません。
17	PLAYER: Error detected.	プレーヤー側の異常を検出した。
18	PLAYER: Moisture	プレーヤー側が結露している。 →プレーヤーの取扱説明書に従って対処してください。
20	RECORDER: No cassette inserted.	レコーダー側にカセットが入っていない。
21	RECORDER: The tape is locked -check the tab.	レコーダー側のカセットの誤消去防止ツマミが誤消去防止状態になっている。 →カセットの誤消去防止ツマミを確認してください。
22	RECORDER: Reinsert the cassette.	レコーダー側の異常を検出した。 →カセットを入れ直してください。
23	RECORDER: Re-attach the power source.	レコーダー側の異常を検出した。 →電源コードを一度抜いてください。
24	RECORDER: Moisture condensation. Eject the cassette	レコーダー (本機) がカセットを入れた状態で結露している。 →カセットを取り出してから、1時間以上放置してください。
25	RECORDER: Moisture condensation. Turn off for 1H.	レコーダー (本機) がカセットを入れていない状態で結露している。 →本機を、そのまま1時間以上放置してください。
26	RECORDER: Dirty video head. Use a cleaning cassette.	レコーダー (本機) のビデオヘッドが汚れて目づまりしている。 →付属のクリーニングカセットを使って、ヘッドをクリーニングしてください (92ページ)。

ご注意

上記以外の警告メッセージが出た場合は、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご連絡ください。

音声ダビング

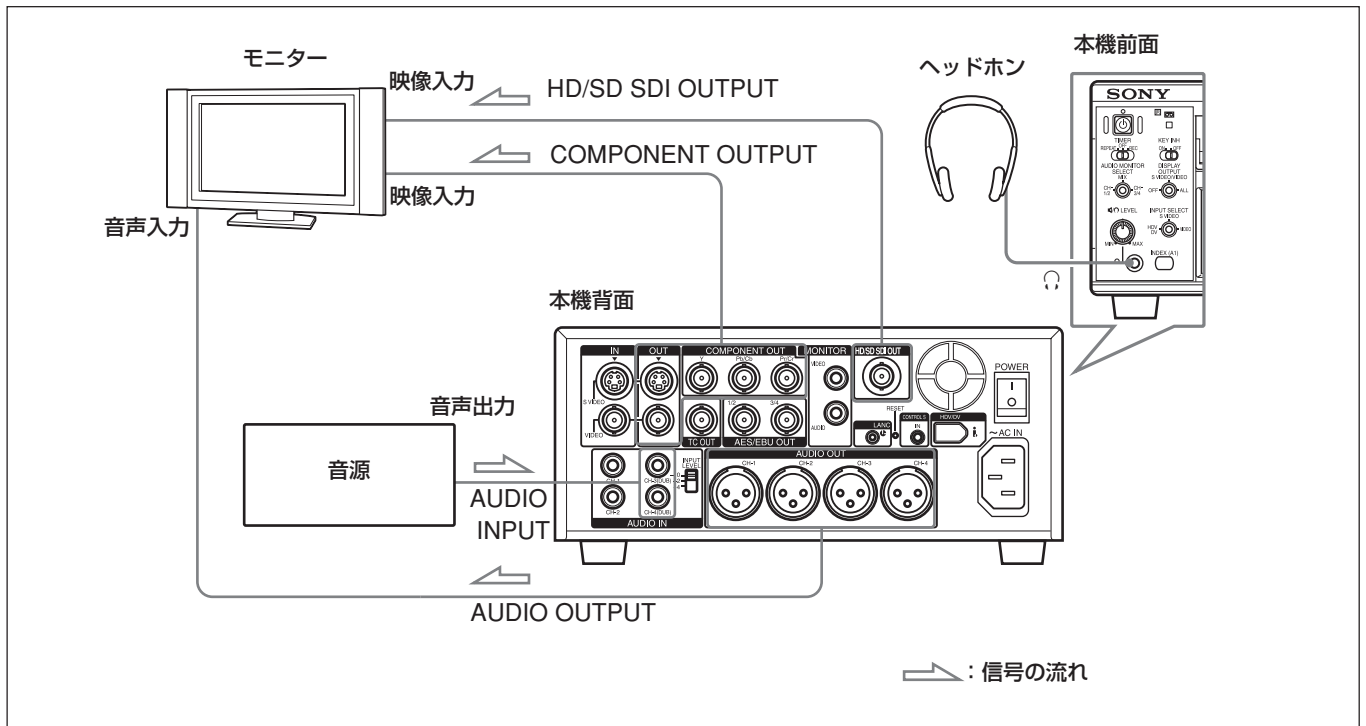
記録済みのテープに後から音声だけを録音することができます(アフレコ)。

ご注意

- 音声ダビングは、DVCAMフォーマットで記録済みの、オーディオモードが32 kHz (4チャンネル、12ビット) のテープにのみ実行できます。オーディオモードが48 kHz (2チャンネル、16ビット) のテープには実行できません。テープのオーディオモードが32 kHzであれば、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]の設定にかかわらず音声ダビングを実行できます。
 - ◆ [AUDIO MODE]について詳しくは、「AUDIO SETメニュー」(75ページ)をご覧ください。
- 音声ダビングは、チャンネル3/4同時でのみ行えます。チャンネル1/2に音声ダビングはできません。

外部機器の接続

音声ダビング時の基本的な接続例を以下に示します。



HD/SD SDI OUT端子をご使用の場合で、SDI音声非対応モニターの場合は、音声接続が必要です。

(続く)

音声ダビングを実行する

- 1 本機のAUDIO IN端子と音源をピンケーブル（別売）で接続する。
- 2 INPUT SELECTスイッチをHDV/DV以外に設定する。
- 3 INPUT LEVELスイッチを切り換えて、オーディオ入力信号のレベルを、-10、-2、+4から選ぶ。
- 4 本機のテープを再生する。
- 5 音声ダビングを始める位置でPAUSEボタンを押して、本機を再生一時停止状態にする。
- 6 AUDIO DUBボタンを押したままPLAYボタンを押して、本機を音声ダビング一時停止状態にする。

本機のAUDIO DUBインジケータが点灯します。
- 7 AUDIO INPUTスイッチで、録音レベルの調整方法を切り換える。
- 8 AUDIO REC LEVELつまみで、録音レベルを調整する。

手順7で、MANUを選んだ場合のみ調整します。ステータスチェックのオーディオレベルメーターを見ながら、AUDIO REC LEVELつまみを回して、最大音量のときにレベルが0 dBを越えないように調整します。0 dBを越えると、音がひずみます。
- 9 PAUSEボタンを押す。

本機のPAUSEインジケータが消灯し、音声ダビングが始まります。

音声ダビングを一時停止するには

PAUSEボタンを押します。

もう一度PAUSEボタンを押すと、音声ダビングを再開します。

音声ダビングを終了するには

STOPボタンを押します。

希望の音声をモニターするには

AUDIO MONITOR SELECTスイッチを以下のように設定します。

CH-1/2：テープ上の、チャンネル1/2の音声を聞く。

CH-3/4：チャンネル3/4にダビングする音声を聞く。

MIX：テープ上の音声とダビングしている音声の合成音を聞く。

- ◆ 音声ダビング中のオーディオレベル表示については、25ページをご覧ください。

ご注意

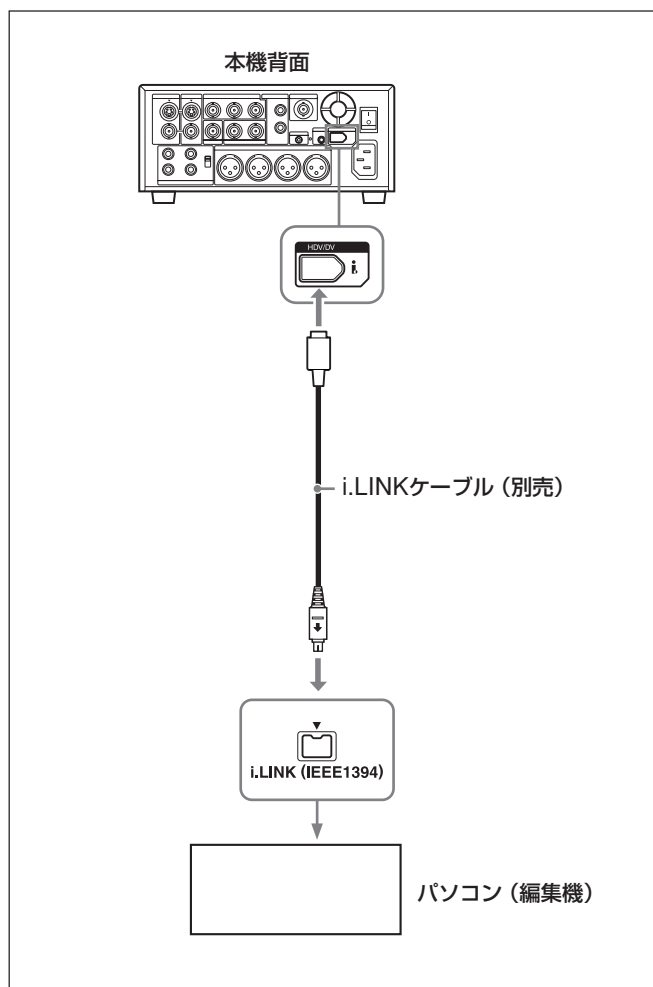
- 音声ダビングを実行中に、テープ上の音声をモニターすることができますが、再生と録音の間で時間の遅れがあるため、音声ダビング後のテープを再生したときには、音声ダビングを実行中にモニターしたときと比べて、ダビングした音声が遅れて聞こえる場合があります。
- 音声ダビングは無記録部分には実行できません。

編集する (パソコンと接続する)

本機のi.LINK端子を使ってパソコン (編集機) とi.LINK接続することにより、編集システムを構築することができます。本機では、i.LINK接続時のみプログレッシブ信号を出力することができます。

- 編集機との接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時は使用する編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、使用する編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

接続する



ご注意

- i.LINKケーブルは、先にパソコンとつないでから本機とつないでください。先に本機につなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- i.LINK端子を持つパソコンと本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめパソコンの電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、パソコンのi.LINK端子から出力している高圧電流 (8~40 V) が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- i.LINKケーブルをつなぐ前に[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]と[i.LINK SET]の設定をしてください。接続してから設定すると、パソコン (編集機) が本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。
- パソコン (編集機) が扱えないフォーマット信号を入出力すると、パソコン (編集機) が本機を正しく認識しなかったり、ハングアップしたりすることがあります。
- 本機がEEモードで、入力した信号をi.LINK端子からパソコンに出力する場合、INPUT SELECTスイッチで選択されたS VIDEO信号またはVIDEO信号が出力されます。本機の再生信号のみをi.LINK端子から出力する場合は、INPUT SELECTスイッチをHDV/DVに切り換えてください。

準備する

テープの画像をパソコン (編集機) に取り込むには

- HDVで記録したテープをHDVで編集機に取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[HDV]に設定して (67ページ)、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]にしてください (69ページ)。
- DVCAM (DV) で記録したテープをDVCAM (DV) で編集機に取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]に設定してください (69ページ)。
- HDVで記録したテープをDVCAM (DV) で編集機に取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]、または[DV SP]にし、[DOWN CONVERT]を設定してください (69ページ)。

ご注意

- 使用する編集機のソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。ご使用の前に、必ず本機が対応機種として推奨されていることをご確認ください。
- DVCAM (DV) で記録したテープをアップコンバートしてHDVで編集機に取り込むことはできません。
- [IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[AUTO]に設定していると、HDVとDVCAM (DV) が混在記録されたテープをお使いになった場合、パソコン (編集機) が本機を正しく認識しなかったり、編集が正しく行われない場合があります。
- 編集時にHDVで記録されたテープを変速再生する場合、出力映像には制限事項があります。「変速再生する」の「HDVフォーマットの場合」の表をご確認ください (38ページ)。
- HDVをDVCAMやDVにダウンコンバートしたテープを使う場合、従来のDVCAM/DV用の編集ソフトウェアによってはタイムコードに対するサーチができなかったり、エラーになったりすることがあります。
- i.LINK端子から入力したHDV信号を記録すると、つなぎ目が約1秒間の静止画になります。編集についてはデジタルノンリニア編集を推奨します。
- ご使用になる編集ソフトウェアが、画像・音声と同時にタイムコードも出力する機能を備えている場合、出力されるタイムコードを記録するには本機の[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定する必要があります。
 - ◆ [TC/UB SET]メニューについて詳しくは、「TC/UB SETメニュー」(78ページ)をご覧ください。
- [TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定して、i.LINK端子で接続している外部機器からタイム

コードも入力した場合、入力されるタイムコードが不連続だったり正しく歩進しなかったりすると、入力されるタイムコードとテープに記録されるタイムコードや本機のタイムコード表示がずれる場合があります。また、このようにして記録された、タイムコードが不連続なテープを用いた場合、組み合わせる機器によっては編集やサーチ動作が正しく行われない場合があります。

- 編集機の周辺機器の接続のしかたについては、編集機に付属の取扱説明書をご覧ください。また、接続時のご使用になる編集ソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 編集機能は編集ソフトウェアに依存します。実際の編集方法については、ご使用になる編集ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 本機には、HDVをDVCAM (DV) にダウンコンバートして、HDV/DV端子に出力する機能が搭載されています。編集ソフトウェアによっては、このダウンコンバートしたDV信号では正しく編集できないことがあります。その場合は、以下の設定に従ってテープをダビングし、編集時はこのテープを使用してください。

DVCAMに対応したテープを作成する

[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]に設定し、[DOWN CONVERT]を設定して、DVCAMフォーマットに対応したレコーダーでDVCAM記録を行ってください。

民生用DVに対応したテープを作成する

[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DV SP]に設定し、[DOWN CONVERT]を設定して、DVフォーマットに対応したレコーダーでDV記録を行ってください。

パソコン (編集機) の画像を本機に取り込むには

- HDVで取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[HDV]にし (67ページ)、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[OFF]に設定してください (69ページ)。
- DVCAM (DV) で取り込むときは、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を[DV]に設定してください (67ページ)。また、記録したいフォーマットに従って、[REC MODE]で[DVCAM]または[DV SP]を選択してください (67ページ)。編集ソフトウェアに合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]を[DVCAM]あるいは[DV SP]に設定してください (69ページ)。

メニューで行う調整と設定

メニューの操作

本機では、メニュー画面で各種の設定を行います。操作を始める前に、[OTHERS]メニューの[CLOCK SET]で本機の内蔵時計を合わせてください。時計の設定以外は工場出荷時の設定で使えますが、必要に応じて設定を変えてください。

また、本機の設定内容はVCR PROFILEとして内蔵メモリに保存できます。本機を多人数で使用する場合や多目的で使用する場合には[OTHERS]メニューの[VCR PROFILE]で設定を保存してください。保存した設定を使うと適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

ご注意

- メニューの操作中に電源コードを抜かないでください。メニューの設定が変更されることがあります。
- 本機の内蔵バックアップ電池が消耗した場合は、内蔵時計の設定、[60i/50i SEL]の設定および[FREE RUN]のタイムコードは初期化されます。内蔵バックアップ電池は、約24時間の通電でフル充電され、約1か月間保持されます。

メニューの設定を変える

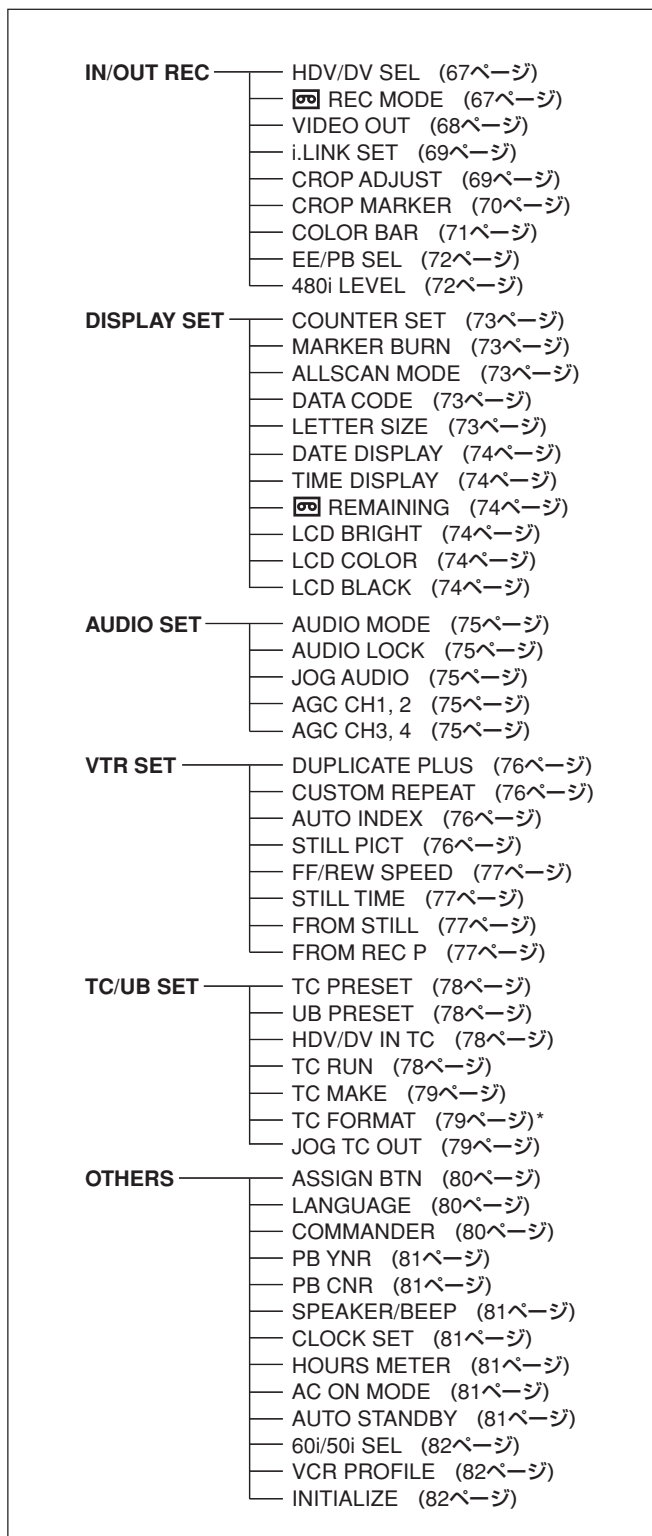
- 1 MENUボタンを押す。
- 2 左/右ボタンを押してアイコンを選び、EXECボタンを押して決定する。
- 3 左/右ボタンを押してサブメニューを選び、EXECボタンを押して決定する。
- 4 左/右ボタンを押して設定を変更する。
- 5 EXECボタンを押してサブメニューに戻る。
- 6 必要な変更が終了するまで手順1～5を繰り返す。

左/右ボタンを押して[⇐RETURN]を選ぶと、一つ前の階層に戻ります。




メニューの項目の移動、調整項目に<⇒/⇔>を使用することもできます。


メニューの構成

本機のメニューは、以下のようにメニューとサブメニューから構成されています。





*60i方式使用時のみ設定可能

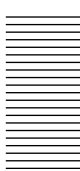
アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 IN/OUT REC	VIDEO OUT	<p>映像出力端子の設定を切り換えます。</p> <p>SDI/CMPNT HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子から出力されるフォーマットを切り換えます。 [60i/50i SEL] の設定を [60i] に設定しているときは、[480i]、[480p/480i]、[1080i/480i]、[720p/480i] から選択します。 [60i/50i SEL] の設定を [50i] に設定しているときは、[576i]、[576p/576i]、[1080i/576i]、[720p/576i] から選択します。</p> <p>DOWN CONVERT HDV 再生時や  HDV/DV 端子に HDV 信号を入力しているときの HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子とアナログ端子からダウンコンバート出力するときの設定をします。 [SQUEEZE]: 両面の天地を生かし、水平方向に圧縮して出力する。 LETTER BOX: 垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。 EDGE CROP: 両面の天地を生かし、左右を切り捨てる方法で出力する。</p> <p>DV WIDE CONV DV ワイド映像のアスペクト比を変換して HD/SD SDI OUT 端子、COMPONENT OUT 端子とアナログ端子から出力するときの設定をします。 [SQUEEZE]: 両面の天地を生かし、水平方向に圧縮して出力する。 LETTER BOX: 垂直方向を圧縮することにより、縦横比を損なうことなく出力する。 EDGE CROP: 両面の天地を生かし、左右を切り捨てる方法で出力する。</p> <p>SD-SDI SET VIDEO INDEX SD ワイド信号のアスペクト比、信号形式を VIDEO INDEX に重畳するかどうかを設定する。 [ON]: 重畳する。 OFF: 重畳しない。 RP188 ATC RP188 ATC (Ancillary Time Code) を重畳するかどうかの設定をする。 [ON]: 重畳する。 OFF: 重畳しない。 VITC LNSEL 50i 50i の SD 信号の垂直ブランキングの何ライン目に VITC を乗せるかの情報を設定する。 9 ~ 22 (19) ライン VITC LNSEL 60i 60i の SD 信号の垂直ブランキングの何ライン目に VITC を乗せるかの情報を設定する。 12 ~ 20 (16) ライン</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生しているテープや  HDV/DV 端子に入力しているフォーマットにかかわらず、本メニューで表示される選択項目は [OTHERS] メニューの [60i/50i SEL] の設定に従ったものが表示されます。 480p および 576p で COMPONENT OUT 端子に出力する場合、本機はワイド識別信号を重畳しません。本機が出力する映像のダウンコンバートの形式に従って、モニター側の設定を行ってください。 DVCAM (DV) フォーマットテープの再生時、NTSC/PAL フォーマットの EE 画像の表示時は、[SDI/CMPNT] の設定にかかわらず、COMPONENT OUT 端子からは 480i もしくは 576i で出力されます。 [SDI CMPNT] の設定で [480p/480i] または [576p/576i] を選択した場合、480p 信号または 576p 信号はコンポーネント端子からのみ出力され、HD/SD SDI OUT 端子からは出力されません。






アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
<p>⇔ IN/OUT REC</p>	<p>i.LINK SET (42、63 ページ)</p>	<p>[HDV/DV SEL]が[AUTO]または[HDV]に設定のとき、下記の設定が有効になります。</p> <p>HDV→DV CONV</p> <p><input type="checkbox"/>OFF: ダウンコンバートしない。</p> <p>DVCAM: DVCAM フォーマットにダウンコンバートする。</p> <p>DV SP: DV SPフォーマットにダウンコンバートする。</p> <p>DOWN CONVERT</p> <p>HDV再生時に[HDV→DVCONV]が[DVCAM]または[DV SP]のときに有効です。</p> <p><input type="checkbox"/>SQUEEZE: 両面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。</p> <p>EDGE CROP: 両面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。</p> <p>DOWN CONV AU</p> <p>オーディオ4チャンネルで記録されたHDV再生時にi.LINKに出力する2チャンネルを選択する。</p> <p><input type="checkbox"/>CH1,CH2: チャンネル1とチャンネル2をi.LINKに出力する。</p> <p>CH3,CH4: チャンネル3とチャンネル4をi.LINKに出力する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [DVCAM]を選択した場合、以下の制限事項があります。 <ul style="list-style-type: none"> - テープ上の絶対番地 (ATN : Absolute Track Number) はDVCAMフォーマットに換算した値を通常再生スピード (1倍速) で再生中、または内蔵カラーバーをHDVフォーマットで記録しているときのみ出力します。それ以外の変速再生中は、HDVフォーマットで記録されているテープ上の値を出力します。 - 通常再生スピード (1倍速) で再生中に無記録部分が存在した場合、その部分をDVCAMに換算した絶対番地と見積もって走行します。 - DSR-25/45/50などに搭載しているデュプリケート機能を使ってテープをダビングする場合は[DVCAM]を選択してください。 - [DVCAM]に設定し、デュプリケート後にできたテープとオリジナルのHDVフォーマットで記録されたテープの絶対番地は一致しないので、ご注意ください。(タイムコードの数値は正しくコピーされます。) • [DOWN CONVERT]の設定を変更すると、COMPONENT OUT端子、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子の映像信号が一瞬乱れる場合があります。 • 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が信号を正しく認識できないことがあります。 • [EDGE CROP]を選択した場合、S VIDEO、VIDEO出力に制限があります。詳しくは88ページをご覧ください。 • オーディオ2チャンネルで記録されたHDV再生時には、[DOWN CONV AU]の設定に関わらず、i.LINKにはチャンネル1とチャンネル2を出力します。 • [DOWN CONV AU]の設定を切り換えた瞬間にはノイズが出る場合があります。
	<p>CROP ADJUST (42 ページ)</p>	<p>16:9から4:3のアスペクト比へエッジクロップでダウンコンバートするときの位置を調整します。本機の⇔ボタンでエッジクロップマーカーを左右に移動させ、EXECボタンを押して決定する。(⇐/⇒ボタンも使用できます。)</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> •  HDV/DV端子からDVワイド映像をエッジクロップで出力することはできません。 • DVワイド映像のEDGE CROP出力時は、調整は偶数値のみ選択できます。

(続く)

メニューの操作

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
↔ IN/OUT REC	CROP MARKER (42 ページ)	エッジクロップマーカ表示の有無を切り換えます。 <input type="checkbox"/> OFF: エッジクロップマーカを表示しない。 <input type="checkbox"/> ON: エッジクロップマーカを表示する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none">• [IN/OUT REC]メニューで[VIDEO OUT]の[DOWN CONVERT]または[DV WIDE CONV]、[i.LINK SET]の[DOWN CONVERT]のいずれかが[EDGE CROP]に設定されているときに有効になります。• エッジクロップマーカは、HDVフォーマットのテープ再生時と  HDV/DV端子にHDVフォーマットの信号を入力しているとき、またはDVワイドフォーマットのテープ再生時と  HDV/DV端子、S VIDEO IN端子、VIDEO IN端子にDVワイドフォーマット(SD信号)の信号を入力しているときに表示されます。•  HDV/DV端子からDVワイド映像をエッジクロップで出力することはできません。



アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 IN/OUT REC	COLOR BAR	<p>COLOR BAR カラーバーの表示／非表示を切り換えます。また、音声トーン信号 (1 kHz 60i時：フルビット-20 dB / 50i時：フルビット-18 dB) の出力を切り換えます。</p> <p>[OFF]： カラーバーを表示しない。トーン信号を出力しない。 ON： カラーバーを表示する。トーン信号を出力しない。 ON [TONE]： カラーバーを表示する。トーン信号を出力する。</p> <p>TYPE カラーバーの種類を切り換えます。</p> <p>TYPE 1： カラーバーTYPE 1を出力する。 [TYPE 2]： カラーバーTYPE 2を出力する。 TYPE 3： カラーバーTYPE 3を出力する。 TYPE 4： カラーバーTYPE 4を出力する。 BLACK： 0IREのブラック信号を出力する。</p> <p>DV BARS [TYPE]で設定されたカラーバーのアスペクト比を切り換えます。(DVCAM/DV(SP)のみ)。</p> <p>[16:9]： カラーバーのアスペクト比を16:9にする。 4:3： カラーバーのアスペクト比を4:3にする。</p> <p>HDV TONE [COLOR BAR]を[ON[TONE]]に設定しているとき、HDVフォーマットで出力するトーン信号のチャンネル数を切り換えます。</p> <p>[2CH]： カラーバーの音声出力を2チャンネルにする。 4CH： カラーバーの音声出力を4チャンネルにする。</p> <p>で注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • カラーバーとトーン信号はHD/SD SDI OUT端子、 HDV/DV端子、COMPONENT OUT端子とアナログ端子に出力されます。 • 再生時、カラーバーとトーン信号は出力できません。 • i.LINKに出力されるカラーバー／トーン信号とテープに記録されるカラーバー／トーン信号のフォーマットは[HDV/DV SEL]と[ REC MODE]の設定に従います。 <ul style="list-style-type: none"> - [HDV/DV SEL]が[AUTO]のときは、文字情報表示のモニター表示部「フォーマット表示 ① (23ページ)」で表示されるフォーマットで出力・記録されます。 - [HDV/DV SEL]が[HDV]のときは、HDVフォーマットで出力・記録されます。 - [HDV/DV SEL]が[DV]で、[ REC MODE]が[DVCAM]のときは、DVCAMフォーマットで出力・記録されます。 - [HDV/DV SEL]が[DV]で、[ REC MODE]が[DV SP]のときは、DV (SP)フォーマットで出力・記録されます。 • カラーバー出力はプログレッシブ方式での記録はできません。[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定(82ページ)に従い、1080/60iまたは1080/50iフォーマットで記録されます。 • [COLOR BAR]の設定は、本機の電源を入れなおすと自動的に[OFF]になります。 • 本機で出力するカラーバーはNTSC (60i) 時、「セットアップ／無し (0 IRE)」信号です。 • 本機のアスペクト比が4:3の場合でも、カラーバーは16:9のものを内部で発生します。HDVフォーマット時、エッジクロップ (4:3) で出力する場合や、DVフォーマットで、[DV BARS]を[4:3]に設定した場合は、[TYPE 2]を選択してください。 • 本機のカラーバーはHDV(1080i)の解像度で発生したものです。HDV(1080i)以外の解像度で出力する場合、このカラーバーを演算で縮小して出力します。このため、カラーバーの色の境目などで若干の乱れがあります。 • 記録中に設定を変えることはできません。 • DVフォーマット時、トーン信号のオーディオモードを切り換えるには、[AUDIO SET]メニューの[AUDIO MODE]で設定を変更してください。

(続く)

メニューの操作

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定																	
⇐⇒ IN/OUT REC	EE/PB SEL (11 ページ)	<p>停止、早送り、巻戻し時の設定をします。</p> <p>[EE]: EE画とEE音を出力する。</p> <p>PB: 映像と音声をミュートする。</p> <p>ご注意</p> <p>[PB]に設定した場合、停止状態のときにREC、DUPLICATE、AUDIO DUBの各ボタンを単独で押すと、本機の出力は以下ようになります。(カセットが記録禁止になっている場合を除く)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>映像</th> <th>音声</th> <th>タイムコード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>REC ボタン</td> <td>入力している映像のEE画</td> <td>入力している音声のEE音 (CH-1/2) ^{a)}</td> <td rowspan="4">(53 ページを参照)</td> </tr> <tr> <td>DUPLICATE ボタン ^{b)}</td> <td> HDV/DV端子に入力されている映像</td> <td> HDV/DV端子に入力されている音声</td> </tr> <tr> <td>AUDIO DUB ボタン</td> <td>ミュート画 (黒)</td> <td>入力している音声のEE音 (CH-3/4) ^{a)}</td> </tr> <tr> <td>ボタンを押していないとき</td> <td>ミュート画 (黒)</td> <td>ミュート (消音)</td> </tr> </tbody> </table> <p>a) AUDIO MONITOR SELECT スイッチの設定による。</p> <p>b) INPUT SELECT スイッチをHDV/DVに設定しているとき。</p>		映像	音声	タイムコード	REC ボタン	入力している映像のEE画	入力している音声のEE音 (CH-1/2) ^{a)}	(53 ページを参照)	DUPLICATE ボタン ^{b)}	HDV/DV端子に入力されている映像	HDV/DV端子に入力されている音声	AUDIO DUB ボタン	ミュート画 (黒)	入力している音声のEE音 (CH-3/4) ^{a)}	ボタンを押していないとき	ミュート画 (黒)	ミュート (消音)
		映像	音声	タイムコード															
REC ボタン	入力している映像のEE画	入力している音声のEE音 (CH-1/2) ^{a)}	(53 ページを参照)																
DUPLICATE ボタン ^{b)}	HDV/DV端子に入力されている映像	HDV/DV端子に入力されている音声																	
AUDIO DUB ボタン	ミュート画 (黒)	入力している音声のEE音 (CH-3/4) ^{a)}																	
ボタンを押していないとき	ミュート画 (黒)	ミュート (消音)																	
	480i LEVEL	<p>コンポーネントの出力が[480i]の場合の出力レベルを切り換えます。</p> <p>[BETACAM]: COMPONENT OUT端子をBETACAMレベルにする。</p> <p>SMPTE: COMPONENT OUT端子をSMPTEレベルにする。</p> <p>ご注意</p> <p>詳しくは、本機の仕様にあるCOMPONENT OUT端子 (101 ページ) をご覧ください。</p>																	

DISPLAY SETメニュー

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
■ DISPLAY SET	COUNTER SET (25ページ)	<p>タイムカウンター表示画面の設定を切り換えます。</p> <p>DISPLAY</p> <p><input type="checkbox"/> ON: タイムカウンター表示を有効にする。 OFF: タイムカウンター表示を無効にする。</p> <p>SIZE</p> <p><input type="checkbox"/> LARGE: 大きいタイムカウンターを表示する。 SMALL: 小さいタイムカウンターを表示する。</p> <p>COLOR</p> <p><input type="checkbox"/> TYPE1: タイムカウンターをタイプ1の色で表示する。 TYPE2: タイムカウンターをタイプ2の色で表示する。 TYPE3: タイムカウンターをタイプ3の色で表示する。 TYPE4: タイムカウンターをタイプ4の色で表示する。</p>
	MARKER BURN (43ページ)	<p>MARKER BURNの出力の有無を選択します。</p> <p><input type="checkbox"/> OFF: MARKER BURNを出力しない。 ON: MARKER BURNを出力する。</p> <p>ご注意 MARKER BURNを出力するとき、制限があります。詳しくは43ページをご覧ください。</p>
	ALLSCAN MODE	<p>LCD モニターの映像を縮小し、外部モニターなどでは確認できない画像の周辺部を確認することができます。</p> <p><input type="checkbox"/> OFF: ALLSCAN MODEを無効にする。 ON: ALLSCAN MODEを有効にする。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • ALLSCAN MODEはHDVフォーマットのみ有効です。DVCAMフォーマット、DVフォーマット（SPモード）再生時は無効になります。 • フォーマットが混在している場合、フォーマットの切り替わり時に映像が乱れます。 • [ON]に設定しているとき、COMPONENT OUTの出力値が480i、576i、480p/480i、576p/576iに設定されている場合、S VIDEO OUT端子およびVIDEO OUT端子の出力はレターボックスになります。詳しくは88ページの表をご覧ください。 • ALLSCAN MODEの設定は電源を入れなおすと[OFF]になります。 • [DISPLAY SET]メニューの[MARKER BURN]と[ALLSCAN MODE]を同時に[ON]に設定した場合、LCDモニターのマーカーは正しい位置に表示されませんが、故障ではありません。各ビデオ出力端子には正しく出力されます。
	DATA CODE (38ページ)	<p>アナログビデオ出力へのデータコードの表示/非表示を切り換えます。</p> <p><input type="checkbox"/> OFF: データコードを表示しない。 DATE: 日付データを表示する。</p>
	LETTER SIZE	<p>メニュー画面で、カーソルのある行の文字サイズを切り換えます。</p> <p><input type="checkbox"/> NORMAL: 通常の大きさの文字で表示する。 2×: 縦倍角文字で表示する。</p>

(続く)


メニューの操作


アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 DISPLAY SET	DATE DISPLAY	データコード表示での日付の表示形式を切り換えます。 Y/M/D : 年/月/日の順番に表示する。 M/D/Y : 月/日/年の順番に表示する。 D/M/Y : 日/月/年の順番に表示する。 ご注意 [OTHERS]メニューの[LANGUAGE]を ENGLISH または ENG[SIMP]に設定した場合、[DATE DISPLAY]は M/D/Yに設定すると、月は英語3文字表示されます(例: JAN)。 [CLOCK SET](81 ページ) もご覧ください。
	TIME DISPLAY	データコード表示での時刻の表示形式を切り換えます。 12H : 12時間表示にする。 24H : 24時間表示にする。
	 REMAINING (24 ページ)	AUTO : 以下のときに、テープ残量を8秒間表示する。 - カセットが入った状態で電源を入れ、テープ残量が確定したとき - ▶PLAY ボタンを押したとき 以下のときに、テープ残量を常に表示する。 - 早送り、巻き戻し中 - 早送り再生、巻き戻し再生中 ON : テープの残量を常に表示する。
	LCD BRIGHT	LCD モニターの明るさを調整します。 ↑ / ↓ ボタンを押してバーを動かして調整し、EXEC ボタンを押して決定する。(工場出荷時の値を指すマークは、バーの下に表示されます。)
	LCD COLOR	LCD モニターの色の濃さを調整します。 ↑ / ↓ ボタンを押してバーを動かして調整し、EXEC ボタンを押して決定する。(工場出荷時の値を指すマークは、バーの下に表示されます。)
	LCD BLACK	LCD モニターでの映像をミュートし、文字情報のみを表示します。 OFF : 映像を表示する。 ON : 映像をミュートする。 ご注意 [ON]に設定しても、本機背面の各端子から出力される映像はミュートされません。

AUDIO SETメニュー

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
🎵 AUDIO SET	AUDIO MODE (25 ページ)	<p>オーディオモードを切り換えます。</p> <p>[FS32K]: オーディオモードを4チャンネルモード (12ビットモード) にする。 FS48K: オーディオモードを2チャンネルモード (16ビットモード) にする。(オーディオ領域すべてを使って音声を記録するため高音質記録が可能です。)</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • DVフォーマットのときのみ設定できます。 • i.LINK入力時はこの設定にかかわらず、入力された信号と同じオーディオモードになります。 • HDV記録時は、自動的に[FS48K]で記録されます。 • 記録中に設定を変更することはできません。 • オーディオモードを切り換えた瞬間にはノイズが出ることがあります。 • DVCAMでアフレコをするときは、[FS32K]に設定します。
	AUDIO LOCK	<p>[UNLOCK MODE]: オーディオとビデオのサンプリングクロックをそれぞれ独立して記録する。民生用のDVフォーマットでは、アンロックモードが採用されています。</p> <p>LOCK MODE: オーディオとビデオのサンプリングクロックを同期化して記録する。オーディオ編集時のデジタル処理やスムーズなつなぎ目を作るときに有効です。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • DV (SPモード) のときのみ設定できます。 • HDV/DVCAMのときは、自動的に[LOCK MODE]に固定されます。 • i.LINK入力時はこの設定にかかわらず、入力された信号と同じ設定になります。
	JOG AUDIO (39 ページ)	<p>変速再生時の音声出力の有無を切り換えます (DVCAM/DV(SP)のみ)。</p> <p>[OFF]: 変速再生時に音声を出不さない。 ON: 変速再生時に音声を出す。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • HDVフォーマットで記録されたテープを再生する場合は、変速再生時に音声を出力することはできません。 • [ON]に設定しても、記録フォーマットの違い (DVCAM/DV) やテープの状態などによっては、音声が出なかったり途切れたりすることがあります。
	AGC CH1, 2 (26 ページ)	<p>チャンネル1, 2のAGC(Auto Gain Control)の連動/非連動を切り替えます。</p> <p>[SEPARATE]: チャンネル1と2を連動させない。 LINKED: チャンネル1と2を連動させる。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • i.LINK入力時は無効です。 • [LINKED]の設定は、前面パネルのAUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定した場合のみ有効です。
AGC CH3, 4 (26 ページ)	<p>チャンネル3, 4のAGC(Auto Gain Control)の連動/非連動を切り替えます。</p> <p>[SEPARATE]: チャンネル3と4を連動させない。 LINKED: チャンネル3と4を連動させる。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • i.LINK入力時は無効です。 • [LINKED]の設定は、前面パネルのAUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定した場合のみ有効です。 	

VTR SETメニュー

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 VTR SET	DUPLICATE PLUS (57ページ)	デュプリケート (複製) 時のフォーマット選択と自動巻き戻しの有無を切り換えます。 FORMAT SEL [ALL]: 全てのフォーマットをデュプリケートする。 HDV1080: HDV1080フォーマット (インターレースおよびプログレッシブ) のみを自動検出し、デュプリケートする。 HDV1080(i): HDV1080フォーマットのインターレース方式の部分のみを自動検出し、デュプリケートする。 HDV1080(p): HDV1080フォーマットのプログレッシブ方式の部分のみを自動検出し、デュプリケートする。 DVCAM: DVCAMフォーマットのみデュプリケートする。 DV SP: DVフォーマット (SPモード) のみデュプリケートする。 AUTO REW [ON]: プレーヤー、レコーダーともに、自動的に巻き戻してからデュプリケートを開始する。複数のカセットから継続してデュプリケートする場合は、カセット交換した側を自動的に巻き戻してからデュプリケートを再開します。 OFF: 任意の位置からデュプリケートを開始する。 ご注意 デュプリケート中は、この項目は設定できません。
	CUSTOM REPEAT (40ページ)	オートリピートのリピート回数、リピート間隔、リピート開始時刻を設定します。 REPEAT TIMES ON/OFF: リピート回数設定の有無を選択する。 TIMES: リピート回数を設定する。 上/下ボタンを押してリピート回数値を変更し、EXECボタンを押して決定します。 REPEAT CYCLE ON/OFF: リピート間隔設定の有無を選択する。 CYCLE: リピート間隔を設定する。 上/下ボタンを押してリピート間隔の数値を変更し、EXECボタンを押して決定します。 START TIME ON/OFF: 開始時刻設定の有無を選択する。 TIME: 開始時刻を設定する。 上/下ボタンを押して、時、分の各数値を変更します。また、左/右ボタンを押して、時と分を切り換えます。EXECボタンを押して決定します。
	AUTO INDEX (47ページ)	停止状態から記録を開始したときの、インデックス信号の自動打ち込みの設定を切り換えます。 [ON]: 記録開始時にインデックス信号を自動的に打ち込む。 OFF: 記録開始時にインデックス信号を自動的に打ち込まない。
	STILL PICT	静止画状態のときに表示する画像を切り換えます (DVCAM/DV(SP)のみ)。 [AUTO]: 画像の動きに応じて最適化した画像を表示する。 FRAME: フレーム画像を表示する。 FIELD: フィールド画像を表示する。 ご注意 <ul style="list-style-type: none"> • [FIELD]に設定した場合には、第2フィールドを表示します。 • HDVフォーマットの場合は、画像の動きに応じて最適化した画像を表示します。

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 VTR SET	FF/REW SPEED (12ページ)	<p>早送り/巻戻し時の走行動作を切り換えます。</p> <p>[FF/REW]: 映像なしの最速スピードで走行する。 SHUTTLEMAX: 映像ありの最速スピードで走行する。</p> <p>DVCAM NTSC: 約14倍速 PAL: 約17倍速</p> <p>HDV/DV (SP) 約24倍速</p>
	STILL TIME	<p>静止画状態からテープ保護モードに移るまでの時間を切り換えます。</p> <p>[30sec]: 30秒 1min: 1分 2min: 2分 3min: 3分</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生一時停止状態を長時間続けると、テープおよび本機のビデオヘッドが損傷を受けたり、ビデオヘッドが目づまりしたりすることがあります。特殊な場合を除き、なるべく短い時間を選択してください。特にミニDVカセットで、記録時間が60分を超えるものを使用する場合は、[30sec] もしくは[1min]に設定してください。 再生一時停止状態で設定変更したときは、最初の保護モードへの移行は、設定変更前の時間で行われます。2回目からの移行は設定変更後の時間で行われます。
	FROM STILL	<p>静止画状態から、[STILL TIME]で設定した時間が経過した後に移行するテープ保護モードを切り換えます。</p> <p>[STOP]: 停止する。 STEP FORWARD: 正方向に1フレーム送る。</p> <p>ご注意</p> <p>HDVフォーマットで記録されたテープの場合は、[STEP FORWARD]を選択すると数フレーム正方向に送られます。</p>
	FROM REC P	<p>記録一時停止してから3分間経過した後に移行するテープ保護モードを切り換えます。</p> <p>[STOP]: 停止する。 REC PAUSE: 記録一時停止状態のままにする。</p> <p>ご注意</p> <p>[REC PAUSE]を選択して、記録一時停止状態を長時間続けると、テープおよび本機のビデオヘッドが損傷を受けたり、ビデオヘッドが目づまりする場合があります。特殊な場合を除き、[STOP]を選択してください。特にミニDVカセットで、記録時間が60分を超えるものを使用する場合は、[STOP]に設定してください。</p>

TC/UB SETメニュー

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
00:00 TC/UB SET	TC PRESET (49 ページ)	<p>タイムコードの値をリセット/設定します。または任意の値を設定します。</p> <p>PRESET : タイムコードの値を任意に設定する。</p> <p>RESET : タイムコードの値を00:00:00:00にリセットする。</p> <p>ご注意 この項目を設定する前に、あらかじめ[TC MAKE]を[PRESET]に設定してください。[TC MAKE]を[REGENERATE]、もしくは[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]にしているときは、この設定は反映されません。</p>
	UB PRESET (50 ページ)	<p>ユーザービットの値をリセット/設定します。または任意の値を設定します。</p> <p>PRESET : ユーザービットの値を任意に設定する。(16進数8桁の設定ができます。各桁0～9の数字とA～Fのアルファベットで指定します。)</p> <p>RESET : ユーザービットの値を00 00 00 00にリセットする。</p> <p>ご注意 INPUT SELECTスイッチがHDV/DVでHDVフォーマットの信号を入力している際はこの設定は反映されません。(ただし、カラーバー表示、記録時は有効です。)</p>
	HDV/DV IN TC (49 ページ)	<p>i.LINK入力時に記録するタイムコードを選択します。</p> <p>INTERNAL : 本機内部で発生させたタイムコードを記録する。([TC MAKE]の設定が[REGENERATE]のときで、テープに何も記録されていない場合は、00:00:00:00から記録します。すでに記録されている信号に続けて記録する場合は、直前に記録されているタイムコードに連続するタイムコードを記録します。)</p> <p>EXTERNAL :  HDV/DV 端子から入力されている映像・音声と一緒に、タイムコードも記録する。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [EXTERNAL]に設定していて、前面パネルのINPUT SELECTスイッチでHDV/DVを選択している状態で、 HDV/DV端子から信号が入力されない状態で記録すると、タイムコードとして、「--:--:--:--」が記録されます。信号が入力されると、その信号のタイムコードが記録されます。 • [EXTERNAL]に設定していて、外部から入力されているタイムコードが不連続な場合や正しく歩進しない場合、本機でのタイムコードの記録や表示がずれることがあります。またこの状態で記録したテープを使うと、組み合わせる機器によっては、編集やサーチが正しく行われなことがあります。
	TC RUN (52 ページ)	<p>タイムコードの歩進モード (カウントアップ) を設定します。</p> <p>REC RUN: 記録中のみタイムコードが進む。</p> <p>FREE RUN: 記録停止中もタイムコードが進む。(タイムコードの初期値を現在の時刻に合わせるなど)に使用します。)</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> • [FREE RUN]のタイムコードは、電源が入っていない間は内蔵時計の精度で進みます。このため、再度電源を入れたときにずれが生じる場合があります。 • 本機の内蔵バックアップ電池が消耗すると、[FREE RUN]のタイムコードは初期化されます。


アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
00:00 TC/UB SET	TC MAKE (52 ページ)	<p>記録を開始したときのタイムコードの値を設定します。</p> <p>REGENERATE : テープにすでに記録されているタイムコードに連続したタイムコードになる。(テープにタイムコードが記録されていない場合は、00:00:00:00から記録します。)</p> <p>PRESET : [TC PRESET]で設定した値から記録する。</p>
	TC FORMAT (52 ページ)	<p>60i時のタイムコードの記録方式を選択します。</p> <p>AUTO : すでにテープに設定されている方式に合わせる。(テープに何も記録されていない場合は、ノンドロップフレームモードになります。途中でテープのタイムコードの記録方式が読み取れなくなった場合は、その直前の読み取れる位置の方式を継続します。この直前の位置の方式はカセットを取り出すとクリアされ、再度同じ位置から始める場合はノンドロップフレームモードになります。[TC MAKE]を[PRESET]に設定している場合には、ノンドロップフレームモードになります。)</p> <p>DF : ドロップフレームモードにする。</p> <p>NDF : ノンドロップフレームモードにする。</p> <p>ご注意</p> <p>[60i/50i SEL]が50iに設定されていると、本機は50i仕様の機器として動作します。このため、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。60i方式の信号をi.LINK入力している場合でも[60i/50i SEL]が50iに設定されていると、[TC FORMAT]の設定にかかわらず、内部で発生するタイムコードはノンドロップフレームモードになります。ドロップフレームに設定するときは、[60i/50i SEL]を60iにしてください。この場合[TC FORMAT]の設定は、[60i/50i SEL]が50iに設定される以前の状態に戻ります。</p>
	JOG TC OUT	<p>変速再生時のTC OUT 端子からのタイムコード出力の有無を設定します。</p> <p>OFF : タイムコードを出力しない。</p> <p>ON : タイムコードを出力する。</p>

OTHERSメニュー

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定																																													
OTHERS	ASSIGN BTN (8, 9, 11 ページ)	<p>本機の ASSIGN ボタン (INDEX(A1)ボタン、AUDIO DUB(A2)ボタン、RESET(A3)ボタン) に、初期設定値以外の機能を割り当てる設定を行います。 各 ASSIGN ボタンに設定可能な機能は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>INDEX(A1)ボタン</th> <th>AUDIO DUB(A2)ボタン</th> <th>RESET(A3)ボタン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>INDEX MARK ^{a)}</td> <td>AUDIO DUB ^{a)}</td> <td>COUNT. RESET ^{a)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">HDV → DV CONV ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">SDI/CMPNT ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">PB ZOOM</td> </tr> <tr> <td colspan="3">END SEARCH ^{b)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">DATA CODE ^{b), c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">ALLSCAN MODE ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">COLOR BAR ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">SEARCH SEL ^{b)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">SEARCH ►► ^{b)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">SEARCH ◀◀ ^{b)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">COUNT. SIZE ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">COUNT. COLOR ^{c)}</td> </tr> <tr> <td colspan="3">FF/REW SPEED ^{c)}</td> </tr> </tbody> </table> <p>a) 初期設定値 b) リモコンのボタンと同じ機能 c) 本機のメニューでも設定できます。詳しくは、各メニュー項目をご覧ください。</p> <p>PB ZOOM 再生中の動画を約 1.1～5 倍の範囲で拡大表示します。 ◆ PB ZOOM について詳しくは、「再生ズームする」(39 ページ) をご覧ください。</p> <p>END SEARCH 最後に記録した部分を 5 秒だけ再生して停止します。つなぎ撮りをしたいときや、最後に記録した画像を確認したいときに使用します。一度カセットを取り出すとこの機能は働きません。</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 各 ASSIGN ボタンの初期設定機能を、異なった ASSIGN ボタンに割り当てることはできません。 ASSIGN ボタンに初期設定値以外を割り当てると、モニター表示のデータ表示画面の左下に A1、A2、A3 が表示されます。 	INDEX(A1)ボタン	AUDIO DUB(A2)ボタン	RESET(A3)ボタン	INDEX MARK ^{a)}	AUDIO DUB ^{a)}	COUNT. RESET ^{a)}	HDV → DV CONV ^{c)}			SDI/CMPNT ^{c)}			PB ZOOM			END SEARCH ^{b)}			DATA CODE ^{b), c)}			ALLSCAN MODE ^{c)}			COLOR BAR ^{c)}			SEARCH SEL ^{b)}			SEARCH ►► ^{b)}			SEARCH ◀◀ ^{b)}			COUNT. SIZE ^{c)}			COUNT. COLOR ^{c)}			FF/REW SPEED ^{c)}		
	INDEX(A1)ボタン	AUDIO DUB(A2)ボタン	RESET(A3)ボタン																																												
	INDEX MARK ^{a)}	AUDIO DUB ^{a)}	COUNT. RESET ^{a)}																																												
HDV → DV CONV ^{c)}																																															
SDI/CMPNT ^{c)}																																															
PB ZOOM																																															
END SEARCH ^{b)}																																															
DATA CODE ^{b), c)}																																															
ALLSCAN MODE ^{c)}																																															
COLOR BAR ^{c)}																																															
SEARCH SEL ^{b)}																																															
SEARCH ►► ^{b)}																																															
SEARCH ◀◀ ^{b)}																																															
COUNT. SIZE ^{c)}																																															
COUNT. COLOR ^{c)}																																															
FF/REW SPEED ^{c)}																																															
	LANGUAGE	画面表示させる言語を選択したり、変更したりすることができます。英語、簡易英語、日本語から選択できます。																																													
	COMMANDER (22 ページ)	<p>本機の操作方法を切り換えます。</p> <p>WIRELESS: 付属リモコンで操作する。 CONTROL S: CONTROL S 端子に接続したリモートコントロールユニット DSRM-10 (別売) で操作する。(リモコンでは操作できません。)</p> <p>ご注意</p> <ul style="list-style-type: none"> 付属リモコンだけでなく、ソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが [VTR4] に設定されているもの) が本機に向けて使用された場合、本機はリモコン操作に反応します。リモコンによる本機の操作をすべて無効にしたいときは、この設定を [CONTROL S] にしてください。 [CONTROL S] では DSRM-20 (生産完了品: 別売) もお使いいただけます。 																																													

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
OTHERS	PB YNR	再生輝度信号に対するノイズリダクション処理のレベルを切り換えます。 <input type="checkbox"/> OFF: ノイズリダクションをかけない。 LOW: ノイズリダクションを弱くかける。 HIGH: ノイズリダクションを強くかける。 ご注意 ・ノイズリダクションをかけると、映像の内容によっては残像を生じる場合があります。 ・ノイズリダクション処理は、HDV/DV端子から出力される画像にも作用します。HDV/DV端子を使用したダビング、編集の際はご注意ください。
	PB CNR	再生色差信号に対するノイズリダクション処理のレベルを切り換えます。 <input type="checkbox"/> OFF: ノイズリダクションをかけない。 LOW: ノイズリダクションを弱くかける。 HIGH: ノイズリダクションを強くかける。 ご注意 ・ノイズリダクションをかけると、映像の内容によっては残像を生じる場合があります。 ・ノイズリダクション処理は、HDV/DV端子から出力される画像にも作用します。HDV/DV端子を使用したダビング、編集の際はご注意ください。
	SPEAKER/BEEP	ビープ音とスピーカーからの音声出力の有無を設定します。 ヘッドホンを接続しているときは、この設定にかかわらずヘッドホンには音声が出力され、スピーカーからは出力されません。 <input type="checkbox"/> ON[SPK/BEEP]: ビープ音と音声の両方を出力する。 <input type="checkbox"/> ON[SPEAKER]: ビープ音を出さず、音声のみ出力する。 <input type="checkbox"/> ON[BEEP]: 音声を出さず、ビープ音のみ出力する。 <input type="checkbox"/> OFF: ビープ音、音声とも出力しない。
	CLOCK SET	1 上/下ボタンを押して数値を合わせ、左/右ボタンを押して年、月、日、時を選択する。 2 EXECボタンを押して決定する。 ご注意 ・[DISPLAY SET]メニューの[TIME DISPLAY]を[12H]に設定しているとき、真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。 ・3か月以上本機に通電しない状態が続くと内蔵の充電式電池が放電して、日付・時刻の設定が解除されます。その場合、充電式電池を充電してから設定し直してください(95ページ)。
	HOURS METER (95ページ)	本機のデジタル時間計による、各種の累計時間/回数を10時間または10回単位で表示します。 OPERATION: 通電時間 DRUM RUN: ドラムの回転時間 TAPE RUN: テープの走行時間 THREADING: テープのアンスレディング回数
	AC ON MODE	AC電源を入れたときの、本機の動作状態を設定します。 <input type="checkbox"/> STANDBY: スタンバイモードになる。 ON: 電源が入った状態になる。
	AUTO STANDBY	本機が停止状態で、ボタン操作がない状態が1時間以上続いたときに、本機をスタンバイモードにするかどうかを設定します。 <input type="checkbox"/> OFF: スタンバイモードにしない。 ON: スタンバイモードにする。

(続く)

アイコン/メニュー	サブメニュー	設定
 OTHERS	60i/50i SEL (46 ページ)	1080/60i (NTSC 方式) と 1080/50i (PAL 方式) を切り換えます。 1 上 / 下 を押して [YES] を選び、EXEC ボタンを押して決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 60i/50i SEL Change to 50i? Reboots after change. <hr/> YES NO </div> 2 上 / 下 を押してもう1度 [YES] を選び、EXEC ボタンを押して決定する。
	VCR PROFILE	本機の設定内容をメニュープロフィールとして内蔵メモリに5つまで保存できます。 保存した設定を使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。 LOAD: 保存されているメニュープロフィールを読み込んで設定を実行します。 1 上 / 下 を押して読み込むメニュープロフィールを選択し、EXEC ボタンを押す。 2 確認画面で 上 / 下 を押して [YES] を選択し、EXEC ボタンを押して決定する。 いったん本機が再起動し、選択したメニュープロフィールが反映されます。 SAVE: 現在の設定内容をメニュープロフィールとして内蔵メモリに保存します。 1 上 / 下 を押して [NEW FILE] または既存のプロファイル名を選択し、EXEC ボタンを押す。 2 確認画面で 上 / 下 を押して [YES] を選択し、EXEC ボタンを押して決定する。 メニュープロフィールが保存されます。 PROFILE NAME: 保存したメニュープロフィールの名前を変更します。 1 上 / 下 を押して名前を変えるメニュープロフィールを選択し、EXEC ボタンを押す。 PROFILE NAME 画面が表示されます。 2 プロファイル名画面で、上 / 下 / 左 / 右 を押して文字を選択し、EXEC ボタンを押して決定する。 この操作を繰り返して名前を入力する。 - 12文字までの名前を入力できます。 - 使用できる文字は A~Z, 0~9, 特殊文字(-_/# & : . * @) 3 上 / 下 / 左 / 右 を押して [OK] を選択し、EXEC ボタンを押して決定する。 プロファイル名が変更されます。 DELETE: 保存したメニュープロフィールを削除します。 1 上 / 下 を押してプロファイル名を選択し、EXEC ボタンを押す。 2 確認画面で 上 / 下 を押して [YES] を選択し、EXEC ボタンを押して決定する。 メニュープロフィールが削除されます。 ご注意 以下の間に本機の電源を切らないでください。VCR PROFILE のデータが破損するおそれがあります。 - SAVE 操作中 - PROFILE NAME 編集中
	INITIALIZE	MENU 項目の設定を工場出荷時にリセットします。CLOCK SET の設定は変更されません。 1 上 / 下 を押して [YES] を選び、EXEC ボタンを押して決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> INITIALIZE Reset all settings except "CLOCK SET" to defaults. <hr/> YES NO </div> 2 上 / 下 を押してもう1度 [YES] を選び、EXEC ボタンを押して決定する。

保守・点検

困ったときは

修理に出すまえに、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

全体操作について

症状	原因／対策
メニューが設定できない。	<ul style="list-style-type: none"> • KEY INH スイッチがONに設定されている。 →[OFF]に設定してから、メニューを設定してください。 • [IN/OUT REC]メニューの設定によっては、一部のメニューが設定できないことがあります。 →[IN/OUT REC]メニューの設定を変えてください (67ページ)。 • EE時または再生時のみ設定できるメニューがあります。 →本機をEEモードまたは再生状態にしてください。 • 停止時のみ設定できるメニューがあります。 • 時刻を設定しないと設定できないメニューがあります。
操作していないのにメニュー設定が変わる。	<ul style="list-style-type: none"> • メニューの操作中やLCDモニターの明るさを調節中電源を抜いた。 →このような場合、メニューの設定が変わってしまうことがあります。メニューを設定し直してください。
操作していないのに本機がひとりで動作してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • [OTHERS]メニューの[COMMANDER]が[WIRELESS]に設定されているときに、本機の近くでソニー製のリモコン (リモコンモードまたはコマンドモードが[VTR4]に設定されているもの) が使用された。 →[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。 • TIMERスイッチがREPEATに設定され、[VTR SET]メニューの[CUSTOM REPEAT]→[START TIME]が[ON]に設定されている。 →TIMERスイッチをOFFにするか、[START TIME]を[OFF]に設定してください。
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	→[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[WIRELESS]にしてください。
本機の設定は正しいのに、リモートコントロールユニットDSRM-10 (別売) から記録の操作ができない。	→リモートコントロールユニットDSRM-10のRECボタンを押したままPLAYボタンを押してください。

(続く)



困ったときは

症状	原因／対策
KEY INH スイッチをONに設定しているのに、本機がリモコン操作に反応してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • KEY INH スイッチをONに設定していても、リモコンでの操作は有効です。リモコンからの操作を無効にしたい場合は、[OTHERS]メニューの[COMMANDER]を[CONTROLS]に設定してください。
電源プラグをコンセントに差すと、自動的に電源が入る。	<ul style="list-style-type: none"> • [OTHERS]メニューの[AC ON MODE]が[ON]に設定されている。 → [AC ON MODE]を[STANDBY]に設定してください。 • 本機にカセットが入っていて、TIMERスイッチがREPEATまたはRECに設定されている。 → TIMERスイッチをOFFに設定してください。
LCDモニターに映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • [DISPLAY SET]メニューの[LCD BLACK]が[ON]に設定されている。 → [OFF]に設定してください。 • アナログ入力時で、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]の設定が入力信号のフォーマットに合っていない。 → 入力している信号に合わせてメニューを切り換えてください。
[OTHERS]メニューの[VCR PROFILE]でいずれかの項目を選択したとき、プロフィールリスト右側の文字列に「--- ERROR! ---」が表示される。また、[LOAD]または[PROFILE NAME]を選択したとき、「--- ERROR! ---」と表示されている項目が選択できない。	<ul style="list-style-type: none"> • メニュープロフィールの保存中またはプロフィール名の変更中に電源を切ったためにプロフィールデータが破損した。 → エラー表示されているプロフィールと同じ名前プロフィールの上書きをするか、エラー表示されているプロフィールを削除してから新規保存してください。(エラー表示は解消できますが、エラーとなったプロフィールの設定値を読み出すことはできません。)


電源について

症状	原因／対策
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグが抜けている。 → 電源プラグを差し込んでください。 • KEY INH スイッチがONに設定されている。 → KEY INH スイッチをOFFに設定してください。 • 本機背面のPOWERスイッチが○側 (OFF) になっている。 → POWERスイッチを 側 (ON) にしてください。
電源が入っているのに操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> • KEY INH スイッチがONに設定されている。 → KEY INH スイッチをOFFに設定してください。 • 結露が起きている (94 ページ)。 • カセットを斜めに挿入している。 → カセットを抜き、まっすぐ入れ直してください。 <p>→ 電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから約1分後に電源をつないでください。それでも操作できないときは、RESET ボタンを先のとがったもので押してください。RESET ボタンを押すと、日時と[60i/50i SEL]の設定が解除されます。</p>

カセットについて

症状	原因/対策
カセットが入らない。	<ul style="list-style-type: none"> 結露が起きている (94 ページ)。 →電源を入れたまま、1時間以上待ってください。 カセットを斜めに挿入している。 →カセットを抜き、まっすぐ入れ直してください。 すでに本機内にカセットが入っている。 →カセットを取り出して、使用したいカセットを挿入してください。
テープの取り出しに時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。 →テープを保護するため、本機がどのような状態にあっても確実に、安全にテープを取り出せるように、取り出し時のスピードを落としています。カセット取り出し動作中は、 (カセット) インジケータースイッチが点滅します。
カセットが取り出せない。	→電源が正しく接続されているか確認してください。
EJECT ボタンを押してもテープが出てこない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が結露しかけている (94 ページ)。
カセットメモリー付きカセットで、カセットレベル表示やタイトル表示が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機はカセットメモリーに対応していないため、表示されません。
テープ残量表示が出ない。	→常に表示したいときは、[DISPLAY SET]メニューで  [REMAINING]を[ON]にしてください。

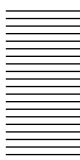
出力・再生について

症状	原因/対策
再生できない。	→テープが最後まで行っているときは巻き戻してください。
逆方向に変速再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"> HDVで記録したテープでは逆方向への変速再生はできません (38 ページ)。
テープの30p/24pを検出しない。	<ul style="list-style-type: none"> 早送り再生・巻き戻し再生中は30p/24p記録された部分が、60iとして検出されます。 →30p/24pを区別して検出したい場合は、通常の再生にて検索してください。
再生した画像に横線が入る、モザイク状のノイズが出る、画像がぼけたり映らなかったりする。	<ul style="list-style-type: none"> ビデオヘッドが汚れている。 →付属のクリーニングカセットできれいにしてください。 テープに傷がある。 →カセットを交換してください。 DV (LPモード) で記録されたテープを再生している。 →本機はHDV、DVCAM、DV (SPモード) にのみ対応しています。DV (LPモード) で記録されたテープは再生できません。
 HDV/DV端子を使ってつないだ他機の画像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> →i.LINKケーブル (別売) を抜いて、もう1度つないでください。 INPUT SELECTスイッチが[HDV/DV]以外に設定されている。 → [HDV/DV]に切り換えてください。

(続く)

困ったときは

症状	原因/対策
EE画とEE音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • [IN/OUT REC]メニューの[EE/PB SEL]が[PB]に設定されている。 →[EE]に設定してください。 • INPUT SELECTスイッチが、入力している信号以外の位置に設定されている。 →入力している信号に合わせて設定してください。
再生時に音声が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • テープに傷がある。 →カセットを交換してください。 • ビデオヘッドが汚れている。 →付属のクリーニングカセットできれいにしてください。 • DV (LPモード) で記録されたテープを再生している。 →本機はHDV、DVCAM、DV (SPモード) にのみ対応しています。DV (LPモード) で記録されたテープは再生できません。
デュプリケートできない。	<ul style="list-style-type: none"> • LCDモニターに表示される中止/警告NO.および警告メッセージを確認して、必要な操作を行ってください (60 ページ)。
日付サーチやインデックスサーチができない。	<ul style="list-style-type: none"> • テープの初めや途中に無記録部分がある場合、正常にサーチを行えないことがあります。故障ではありません。
記録開始まで巻き戻しても、タイムコードが00:00:00:00にならない。	<ul style="list-style-type: none"> • 記録開始付近のタイムコードは正しく表示されませんが、故障ではありません。再生を開始すれば、開始点からタイムコードも画像も正しく表示されます。
早送り/巻き戻し中にユーザービットが正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> • HDVをi.LINK入力したときで、入力する映像にユーザービットがない信号を記録した場合、ユーザービットは正しく表示されません。再生中は[--- --- ---]、早送り/巻き戻し中は[00 00 00]と表示されます。
日付情報表示に[--- --- ---]が表示される。(38 ページ)	<ul style="list-style-type: none"> • 日付・時刻を設定しないで録画したテープを再生している。 →日付・時刻を設定してください。 • テープの無記録部分を再生している。 • テープに傷やノイズがあると、データコードを読めません。
テレビやモニターなどにつないで再生するとき、SDIケーブル、コンポーネントビデオケーブルを正しく接続しているのに、画像や音声がでない。	<p>→接続する機器に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]を正しく設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • COMPONENT OUT端子からは音声は出力されません。 →音声ケーブルも合わせてつないでください
4:3 テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。	<p>→HD/SD SDI OUT端子、COMPONENT OUT端子から出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]と[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</p> <p>■ HDV/DV端子で出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]→[HDV→DV CONV]と[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</p> <p>S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子から出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]を正しく設定して、再生してください。</p> <p>→ワイドで記録されたDVCAM(DV)フォーマットの映像をCOMPONENT OUT端子、S VIDEO OUT端子またはVIDEO OUT端子から出力するときは、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DV WIDE CONV]を正しく設定して再生してください。</p>
[TC/UB SET]メニューの[HDV/DV IN TC]を[EXTERNAL]に設定したのに、i.LINK入力している信号のタイムコードが記録されない。	<ul style="list-style-type: none"> • デジタルノンリニア編集機のi.LINK出力信号にタイムコードが出力されていない。 →ご使用の編集ソフトウェアがタイムコード出力に対応しているかどうか確認してください。 • INPUT SELECTスイッチがHDV/DVに設定されていない。 →HDV/DVに設定してください。



症状	原因／対策
1/10スロー再生および-1/10スロー再生を1分以上続けると、再生モードになる。	→テープを保護するため、1/10スロー再生および-1/10再生が1分以上続くと再生モードになります。1/3スロー再生または-1/3スロー再生にしてください。
再生一時停止状態が解除され、STOPする。	<ul style="list-style-type: none"> • テープを保護するため、一定時間がたつと本機を停止する設定になっています。 → [VTR SET]メニューの[FROM STILL]を[STEP FORWARD]に設定してください。ただしこの場合は、[STILL TIME]で設定した時間ごとに、正方向に送られます。
再生一時停止状態が解除され、一定時間ごとにコマ送りされる。	<ul style="list-style-type: none"> • テープを保護するため、一定時間がたつと正方向に送られる設定になっています。 → [VTR SET]メニューの[FROM STILL]を[STOP]に設定してください。ただしこの場合は、[STILL TIME]で設定した時間がたつとSTOP状態になります。
停止状態で、何も操作しない状態が1時間続くと、スタンバイモード（電源OFF状態）になる。	<ul style="list-style-type: none"> • [OTHERS]メニューの[AUTO STANDBY]が[ON]に設定されている。 → [AUTO STANDBY]を[OFF]に設定してください。
再生一時停止状態、記録一時停止状態、音声ダビング一時停止状態が自動的に解除される。	<ul style="list-style-type: none"> • テープおよびヘッドを保護するため、これらの状態が3分続くと、自動的にSTOP状態になります。 → 一時停止状態を継続したい場合は[VTR SET]メニューの[FROM REC P]を[REC PAUSE]にしてください。
テープトップまでテープを巻き戻すと、再生してしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • TIMERスイッチがREPEATに設定されている。 → TIMERスイッチをOFFに設定してください。 • REWボタンを押しながらPLAYボタンを押した。 → REWボタンを押しながらPLAYボタンを押すと、テープトップまで巻き戻した後に再生を開始します（12ページ）。
再生中に、テープの途中で巻き戻ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • TIMERスイッチがREPEATに設定されている。 → TIMERスイッチをREPEATに設定している場合、再生中にインデックス信号や無記録部分を検出すると自動的にテープが巻き戻されます。TIMERスイッチをOFFに設定してください。
テープエンドになると、テープが巻き戻ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> • TIMERスイッチがREPEATに設定されている。 → TIMERスイッチをREPEATに設定している場合、テープエンドを検出すると自動的にテープが巻き戻されます。TIMERスイッチをOFFに設定してください。
デジタルノンリニア編集システムで本機が動作しない。機能が働かない。	<ul style="list-style-type: none"> • INPUT SELECTスイッチがHDV/DV以外に設定されている。 → HDV/DVに設定してください。 • 編集機や編集ソフトウェアの機能が本機に対応していない。 → 編集機および編集ソフトウェアの取扱説明書を確認のうえ、編集機および編集ソフトウェアのメーカーに確認してください。
i.LINKケーブルを接続しているのに外部機器の映像が映らない。	<ul style="list-style-type: none"> → i.LINKケーブルを抜いて、もう一度まっすぐつなぎ直してください。 • INPUT SELECTスイッチがHDV/DV以外に設定されている。 → HDV/DVに設定してください。
ビデオケーブルを正しくつないでいるのに画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • [IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[SDI/CMPNT]の設定によっては出力に制限があります。詳しくは68ページをご覧ください。 • INPUT SELECTスイッチの設定が接続ケーブルと合っていない。 → INPUT SELECTスイッチを接続ケーブルに合わせてS VIDEOまたはVIDEOに設定してください。

(続く)

困ったときは

症状	原因/対策																
テレビやモニターなどにつないで再生するときに、画像の色が抜けたり画像が乱れたりする。	<ul style="list-style-type: none"> →本機の[60i/50i SEL]のフォーマットにあったテレビやモニターと接続してください。 →テープのフォーマットに合わせて[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]を設定してください(82ページ)。 																
画面上に2/2-STが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> •他機でサラウンド外部マイクを使って4CHマイク記録したテープを再生しているときに表示されます。本機はサラウンド外部マイクによる4CHマイク記録には対応していません。(サラウンド外部マイクを使って4CHマイク記録したDVCAMまたはDV(SP)フォーマットのテープ再生時に表示されます。) 																
S VIDEO OUT端子またはVIDEO OUT端子からの出力形式が、[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]→[DOWN CONVERT]の設定と異なってしまう。	<p>S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子からの出力形式は下記の状態に固定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> •以下の設定になったとき、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子からの出力形式はEDGE CROP (エッジクロップ) に固定されます。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生フォーマット</td> <td>HDV (HDV1080i)</td> </tr> <tr> <td>[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]</td> <td>[DOWN CONVERT] SQUEEZEまたはLETTER BOX [SDI/CMPNT] 480p/480i、576p/576i</td> </tr> <tr> <td>[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]</td> <td>[HDV → DV CONV] DVCAMまたはDV SP [DOWN CONVERT] EDGE CROPに設定</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> •以下の設定になったとき、S VIDEO OUT端子、VIDEO OUT端子からの出力形式はLETTER BOX (レターボックス) に固定されます。 <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生フォーマット</td> <td>HDV (1080iもしくは720p)</td> </tr> <tr> <td>[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]</td> <td>[SDI/CMPNT] 480i、576i、480p/480i、576p/576i</td> </tr> <tr> <td>[DISPLAY SET]メニューの[ALLSCAN MODE]</td> <td>ON</td> </tr> </tbody> </table>	項目	設定値	再生フォーマット	HDV (HDV1080i)	[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]	[DOWN CONVERT] SQUEEZEまたはLETTER BOX [SDI/CMPNT] 480p/480i、576p/576i	[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]	[HDV → DV CONV] DVCAMまたはDV SP [DOWN CONVERT] EDGE CROPに設定	項目	設定値	再生フォーマット	HDV (1080iもしくは720p)	[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]	[SDI/CMPNT] 480i、576i、480p/480i、576p/576i	[DISPLAY SET]メニューの[ALLSCAN MODE]	ON
項目	設定値																
再生フォーマット	HDV (HDV1080i)																
[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]	[DOWN CONVERT] SQUEEZEまたはLETTER BOX [SDI/CMPNT] 480p/480i、576p/576i																
[IN/OUT REC]メニューの[i.LINK SET]	[HDV → DV CONV] DVCAMまたはDV SP [DOWN CONVERT] EDGE CROPに設定																
項目	設定値																
再生フォーマット	HDV (1080iもしくは720p)																
[IN/OUT REC]メニューの[VIDEO OUT]	[SDI/CMPNT] 480i、576i、480p/480i、576p/576i																
[DISPLAY SET]メニューの[ALLSCAN MODE]	ON																

録画・アフレコについて

症状	原因/対策
電源プラグをコンセントに差すと、自動的に記録を始めてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> •TIMERスイッチがRECに設定されている。 →TIMERスイッチをRECに設定している場合、本機に電源が供給されると自動的に記録を開始します。TIMERスイッチをOFFに設定してください。
KEY INHスイッチを[ON]に設定しているのに、ひとりでに再生・記録される。	<ul style="list-style-type: none"> •TIMERスイッチがREPEATやRECに設定されている。 →TIMERスイッチの設定は、KEY INHスイッチの設定に優先します。TIMERスイッチをOFFに設定してください。 •[OTHERS]メニューの[COMMANDER]が[WIRELESS]に設定されている場合は、KEY INHスイッチをONに設定していても本機はリモコンによる操作に反応します。 →[COMMANDER]を[CONTROL S]に設定してください。

症状	原因/対策
i.LINK端子を使ってもつないだ他機の画像が映らない。	→i.LINKケーブル（別売）を抜いて、もう1度つないでください。 • INPUT SELECTスイッチがHDV/DV以外に設定されている。 →HDV/DVに切り換えてください。 →[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を正しく設定してください。
INPUT LEVELスイッチの設定について • 入力レベルの設定がわからない。 • 音が小さい。 • 音がひずむ。	再生機側の出力レベルを確認してください（再生機の出力レベルについては再生機に付属の取扱説明書をご覧ください）。それに合わせて本機の背面パネルのINPUT LEVELスイッチを設定してください。 再生機側の出力レベルがわからない場合は、以下の方法をお試しください。 ① 本機に接続する再生機が装備しているオーディオ端子に合わせて、本機のINPUT LEVELスイッチを設定する。 • ピンジャック端子を装備している再生機をつなぐ場合：－10 • XLR端子を装備している再生機をつなぐ場合：＋4または－2 ② 前面パネルのAUDIO INPUTスイッチをAUTOに設定してから再生機に再生用テープを入れ、最大音声再生時に入力レベルが0 dBを越えないことを確認します。0 dBを越える場合は、INPUT LEVELスイッチの設定を＋4などの位置まで下げるか、またはAUDIO INPUTスイッチをMANUに設定して、AUDIO REC LEVELつまみで、音の大きさを調整します。入力レベルが0 dBを越えると音がひずみます。
音声ダビングできない。音声ダビングの途中で止まる。	• HDVまたはDVフォーマットで記録されたテープに音声ダビングしようとしている。 →音声ダビングは、あらかじめDVCAMフォーマットで、オーディオモードが32 kHz（4チャンネル）で記録されたテープにのみ実行できます。また、音声ダビング中に以下の信号を検出した場合、本機は自動的に音声ダビングを中止し、LCDモニターおよび外部モニターに警告表示します。 - 無記録部分 - 32 kHz（4チャンネル）以外の記録 - DVCAMフォーマット以外の記録 • チャンネル1/2に音声ダビングしようとしている。 →音声ダビングできるのはチャンネル3/4のみです。チャンネル1/2には音声ダビングできません。
HD/SD SDI OUT端子、AUDIO OUT端子、 ◻（ヘッドホン）端子から音が出ない。または、 出ている音声が希望の音声ではない。	• 出力したい音声のチャンネルに合わせてAUDIO MONITOR SELECTスイッチを設定してください。 • HDVまたはDVのフォーマットにかかわらず、オーディオモードが2チャンネルの場合、AUDIO MONITOR SELECTスイッチの設定をCH-3/4にすると音声出力されません。
CH3、CH4でダビング中の音声が聞こえない。	→AUDIO MONITOR SELECTスイッチをMIXまたはCH-3/4に設定してください。
編集時、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない。	→接続する機器に合わせて、[IN/OUT REC]メニューの[HDV/DV SEL]を正しく設定してください。
デジタルノンリニア編集システムで本機が動作しない。機能が働かない。	• INPUT SELECTスイッチがHDV/DV以外に設定されている。 →HDV/DVに設定してください。 • 編集機や編集ソフトウェアの機能が本機に対応していない。 →編集機および編集ソフトウェアの取扱説明書をご確認のうえ、編集機および編集ソフトウェアのメーカーにご確認ください。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示・警告表示

LCD モニターまたは外部モニターに、以下のように警告表示されることがあります。詳しい説明は、() 内のページをご覧ください。







表示	原因と対処のしかた
C:□□:□□/E:□□:□□ (自己診断表示)	お客様自身で対応できる場合でも2、3回繰り返して正常に戻らないときは、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。 C:21:□□ →結露しているため。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直してください (94 ページ)。 C:22:□□ →ビデオヘッドが汚れているため。クリーニングカセットできれいにしてください (92 ページ)。 C:31:□□/C:32:□□ →上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直してください。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください (94 ページ)。 →電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう1度操作し直してください。 →テープを交換してください。
■ (結露の警告) *	→カセットを取り出し、電源をはずして、約1時間放置してください (94 ページ)。
ⓧ (テープ関連の警告)	遅い点滅 • テープ残量が5分を切った。
▲ (テープを取り出す必要がある警告) *	速い点滅 • 結露している (94 ページ)。 • 自己診断表示が表示されている (90 ページ)。

*警告表示・お知らせメッセージが出るときは、ピーブ音 (お知らせブザー) が鳴ります (81 ページ)。

お知らせメッセージ一覧

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが表示されます。メッセージに従って操作してください。

項目	表示	原因と対処のしかた
結露	■▲ Moisture condensation. Eject the cassette. (■▲ 結露しています カセットを取り出してください)	→詳しくは94 ページをご覧ください。
	■ Moisture condensation. Turn off for 1H. (■ 結露しています 約1時間放置してください)	→詳しくは94 ページをご覧ください。

項目	表示	原因と対処のしかた
カセット・テープ	 Insert a cassette. (カセットを入れてください)	→29ページをご覧ください。
	 Reinsert the cassette. (カセットを入れなおしてください)	テープの損傷などがないか確認してください。
	  The tape is locked -check the tab. (カセットの誤消去防止ツマミを確認してください)	→28ページをご覧ください。
	 The tape has reached the end. (テープが終わっています)	—
アフレコ	Cannot add audio. INPUT SELECT is set to HDV/DV. (アフレコできません INPUT SELECTがHDV/DV に設定されています)	—
	Not recorded in DVCAM mode. Cannot add audio. (DVCAM以外の録画モードで記録されている部分です アフレコできません)	—
	Cannot add audio. (アフレコできません)	記録されている音声フォーマットが32kHz (4-channel、12ビット)でないとアフレコできません。また、[OTHERS]メニューの[60i/50i SEL]が正しく設定されていることを確認してください。
	Cannot add audio on the blank portion of a tape. (無記録部分です アフレコできません)	—
	HDV recorded tape. Cannot add audio. (HDV記録テープです アフレコできません)	—
	Cannot add audio. "HDV/DV SEL" is set to HDV. (アフレコできません "HDV/DV 選択" がHDVに設定されています。)	—
	Cannot record due to copyright protection. (コピープロテクトされています 記録できません)	—
その他	Change to correct tape format. (非対応のフォーマットです)	対応していないフォーマットのため、再生できません。
	No output image in "HDV/DV SEL". Change format. (このHDV/DV SELの設定では表示できない信号です。表示するには設定を変更してください)	→[HDV/DV SEL]の設定を適切なフォーマットに変更してください (67ページ)。
	 Dirty video head. Use a cleaning cassette. (ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください)	→92ページをご覧ください。
	Unplug power cable. (電源コードを一度抜いてください)	—
	Reinsert the cassette. (カセットを入れなおしてください)	—
	Invalid input signal. (非対応の入力信号です)	本機で受信できない入力信号です。入力信号を確認してください。
	Power voltage error. (電源電圧が異常です)	—

本機の性能を保持するために

VTRについて

直射日光の当たる場所や、熱器具の近くに置かない
キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

湿気が多い場所に置かない

水滴のかかる場所など、湿気が多い場所に置かないでください。また、水の入った物や花瓶などを本機の上に乗せないでください。故障の原因になります。

異常に高温な場所に置かない

窓を閉め切った自動車内（特に夏期）などに放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因になります。

寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだとき

本体の内部に水滴が付くことがあります。そのまま使うとテープやヘッドを傷める原因となることがあります。また、エアコンなどの冷風が直接当たる場所で使うと、同様のことが起こりますのでご注意ください。

重い物を載せない

キャビネットを傷めたり、故障の原因になったりします。

ぶつけないように

持ち運ぶときは衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

キャビネットを傷めないために

表面にはプラスチックが多く使われています。殺虫剤など、揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげたりする原因になります。

ベンジンやシンナーでふかない

変質したり、塗料がはげたりすることがありますので避けてください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書に従ってください。

キャビネットは乾いた柔らかい布で

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

磁石を近づけない

磁気を帯びているものを近づけると、大切な記録が損なわれることがあります。

携帯電話・トランシーバーなどによる電磁波障害を防止するために

携帯電話やトランシーバーなどを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。携帯電話やトランシーバーなどの取り扱いに際しては、下記のようにご注意ください。

- 本機の近くでは、携帯電話やトランシーバーの電源はできるだけ切ってください。
- PHSやポケットベルは、出力が小さいので携帯電話ほどの影響はないと考えられますが、性能の安定を確保するため、同様にできるだけ電源を切ってください。

放射線のある場所で使わない

誤動作することがあります。

約1000時間のご使用を目安に点検を

ビデオは非常に高い精度を必要とする機械です。長く使う間には、ヘッドやテープの駆動部分が汚れたり磨耗したりします。使用環境（温度、湿度、ほこりなど）によって異なりますが、約1000時間使ったら、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店に点検（清掃、注油、一部部品交換）についてご相談ください。

他機との接続について

i.LINKケーブルなどで本機と他の機器やパソコンなどをつなぐ場合、端子の向きを確認してつないでください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。

ヘッドのクリーニング

ビデオヘッドが汚れると、正常に記録できなかつたり、ノイズの多い再生画像になったりします。付属のクリーニングカセットを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

大切な記録の前にはクリーニングを

ビデオヘッドが汚れていると、正常な記録が行えなくなり、画面にノイズが出たり、音が途切れたりすることがあります。大切な記録の前にはクリーニングを行ってください。

約50時間のご使用を目安にクリーニングを


ビデオを使用すると、ビデオヘッドには微量な汚れが徐々に堆積します。約50時間使用したら、クリーニングを行ってください。

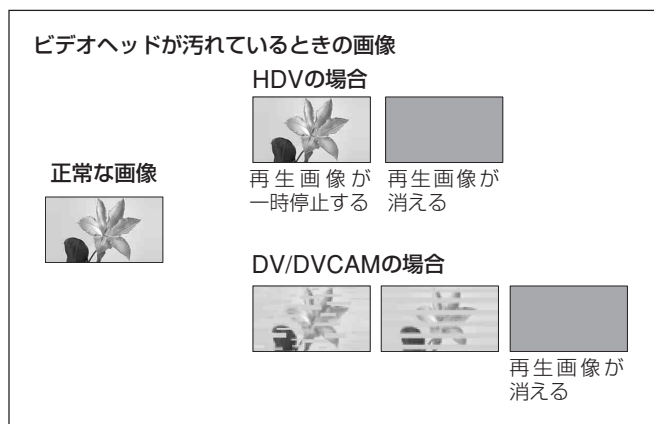
ビデオヘッドの汚れやすいテープを使用後にはクリーニングを

テープによってはビデオヘッドの汚れやすいものがあります。特に、ヘッド汚れの症状が出たテープを使用した後はクリーニングを行ってください。

ヘッド汚れの症状が出たときには

定期的にクリーニングを行っても、偶発的にヘッド汚れの症状が起ることがあります。次のような症状になったときは、クリーニングを行ってください。

- 再生画像に四角いノイズが出る
- 再生画像が静止する
- 再生画像の一部が動かない
- 再生画像が出ない
- 再生音声途切れ
- 録画中に「 Dirty video head. Use a cleaning cassette. (ヘッドが汚れています クリーニングカセットを使ってください)」が表示される



クリーニングするには

クリーニングカセットを10秒間再生して、ビデオヘッドをきれいにしてください。

※ クリーニングカセットを使用しても再生画像が静止したり、上記の症状が改善されないときは、テープに問題がある可能性がありますので、そのテープのご使用を避けてください。

詳しくはクリーニングカセットの説明書をよくお読みになり、その手順に従ってください。

ご注意

次のような使い方をすると、ビデオヘッドが汚れる原因になります。

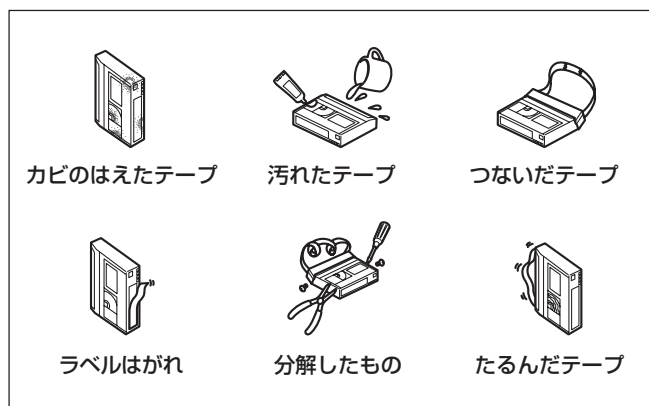
- 温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使用したとき
→ 結露が起きます。詳しくは94ページをご覧ください。
- 傷んだテープを使用したとき
- 本機を長時間使用したとき
- ほこり、チリ、砂ほこりの多いところで使用したとき
- テープを本機に長い間入れたままにしたとき

クリーニングカセットを巻き戻して使用できる回数には制限がありません。付属のクリーニングカセットを規定回数使い終わったときは、別売のクリーニングカセットをお買い求めください。

長時間使用するとビデオヘッドは摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像や音声に戻らないときは、ヘッドが摩耗している可能性があります。ヘッドの交換が必要になりますのでソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

カセットについて

下記のようなテープを使うと故障の原因になりますので、ご注意ください。



カセット使用について

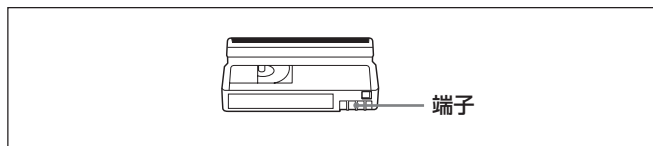
- 初めて使用するカセットを使うときは、まず5秒ぐらいテープを走行させてから記録することをおすすめします。
- 長期間保管したカセットを使うときは、しばらくテープを早送りしてから巻き戻しをすることをおすすめします。カセットの巻きムラを修正できます。
- テープを走行させずに、本機に何度も出し入れしないでください。テープが緩み、傷の原因になります。

(続く)

本機の性能を保持するために

端子のクリーニング

カセットの金メッキ端子が汚れたりゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく働かないことがあります。カセットの取り出し回数10数回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



カセットにラベルを貼るときは

指定の場所以外には、絶対に貼らないでください。故障の原因となります。

カセットの保管について

- ご使用後はテープを巻き戻し、ケースに入れ、立てて保管してください。巻き戻さずに保管すると画像や音声がかかる原因になります。
- 次のような場所では保管しないでください。
 - 高温になる場所（炎天下や自動車内、熱器具の近く）
 - 湿気の多い場所
 - 強力な磁気のある場所（テレビやスピーカーの近く）

液晶画面について

液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんので安心してお使いください。

液晶画面を太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売の液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーを染み込ませて使ってください。

結露について

温度差のある場所へ本機やカセットを急に持ち込んだときにテープや本機のヘッドに水滴が付くことを結露といいます。結露したテープやヘッドを使用すると、テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になったりします。

結露が起ると、「 Moisture condensation. Eject the cassette (結露しています カセットを取り出してください)」または「 Moisture condensation. Turn off for 1H. (結露しています 約1時間放置してください)」と警告表示が出ます。

結露が起きやすいのは以下のような場合です。

- 寒い屋外から暖房のきいた室内へ持ち込んだとき
- 冷房のきいた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所で使用する時

本機やカセットを温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に入れて密封してください。持ち込んだ後は、1時間以上放置し、持ち込んだ先の温度になじんでから開封してください。

結露が起ると

カセットを直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、EJECTボタン以外は働きません。

電源を切って、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押してもやが点滅しなければ使えます。

結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、約10秒間カセットが出てこないことがありますが、故障ではありません。

デジタル時間計による定期点検

デジタル時間計は、本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレディング回数をそれぞれ累計して、メニュー画面に表示します。定期点検の目安として、この時間計をご利用ください。なお、定期点検は、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

[OTHERS]メニューの[HOURS METER]で、以下の4種類の値を確認できます。メニューの使いかたについては、81ページをご覧ください。

•OPERATION (通電時間) 表示

電源を入れていた通電時間を累計して、10時間単位で表示します。

•DRUM RUN (ドラム回転時間) 表示

テープのスレディングが完了した状態でヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示します。

•TAPE RUN (テープ走行時間) 表示

テープの走行時間を累計して、10時間単位で表示します。

•THREADING (スレディング) 表示

テープのアンスレディング回数を累積して、10回単位で表示します。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使っている限り常に充電されますが、使う時間が短いと徐々に放電し、1か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。この場合は充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことはできます。

充電方法

電源コード(付属)をAC IN端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。約24時間、本機背面のPOWERスイッチを|側(ON)にしておきます。

(前面パネルのON/STANDBYスイッチをONにする必要はありません。)

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

付録

ダビングについて

S VIDEO、VIDEO端子を使用したダビング

S VIDEO、VIDEO端子で接続した本機と他の機器間でダビングを行うと、本機を録画機として使用した場合は、[IN/OUT REC]メニューの[REC MODE]の設定によって、記録されるフォーマットが決まります。

詳細は、下記の一覧表をご確認ください。

ダビングのしかたによっては、そのテープを使っての再生、編集性に制約が生じることがあります。あらかじめ「第4章 i.LINK端子を使ったダビング、デュプリケート、音声ダビングとパソコンとの接続」をお読みになったうえで、ダビングを行ってください。

編集ソフトウェアによっては、[LOCK MODE]で作成したテープでも正しく編集できる場合があります。その場合は、必要に応じて[LOCK MODE]に設定してください。

本機を録画機として使用した場合の記録テープ

入力信号フォーマット	メニュー項目		記録テープのフォーマット (AUDIO MODE)
	REC MODE	AUDIO LOCK	
NTSCまたはPAL	DVCAM	—	DVCAM (LOCK MODE)
	DV SP	LOCK MODE	DV (LOCK MODE)
		UNLOCK MODE	DV (UNLOCK MODE)

i.LINK端子を使用したダビング

i.LINKケーブルを使用して接続したデジタルビデオ機器間でダビングを行うと、本機を再生機として使用した場合は、再生テープのフォーマットと本機のメニュー設定によって、i.LINK端子から出力されるフォーマットが決まります。録画機として使用した場合は、i.LINK端子から入力されるフォーマットと本機のメニュー設定によって、記録されるテープのフォーマットが決まります。詳細は、98ページの一覧表をご確認ください。

ダビングのしかたによっては、そのテープを使っての再生、編集性に制約が生じることがあります。あらかじめ「第4章 i.LINK端子を使ったダビング、デュプリケート、音声ダビングとパソコンとの接続」をお読みになったうえで、ダビングを行ってください。

本機を再生機として使用した場合のi.LINK出力

再生テープのフォーマット	メニュー項目		i.LINK出力フォーマット (AUDIO MODE)
	HDV/DV SEL	i.LINK SET	
		HDV→DV CONV	
HDV	AUTO	OFF	HDV (LOCK MODE)
		DVCAM	DVCAM (LOCK MODE)
		DV (SP)	DV (UNLOCK MODE)
	HDV	OFF	HDV (LOCK MODE)
		DVCAM	DVCAM (LOCK MODE)
		DV (SP)	DV (UNLOCK MODE)
	DV	—	出力なし
DVCAM	AUTO	—	DVCAM (再生テープに従う)
	HDV	—	出力なし
	DV	—	DVCAM (再生テープに従う)
DV	AUTO	—	DV (再生テープに従う)
	HDV	—	出力なし
	DV	—	DV (再生テープに従う)


ご注意

- 本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合は、他機をつないで本機の画像を記録するときに、記録が制限されることがあります。
- 本機では、DVCAM (DV)をHDVにアップコンバートすることはできません。
- HDV再生時に[i.LINK SET]の[HDV→DV CONV]で[DV SP]を選択すると、AUDIO MODEはUNLOCK MODEに固定されます。
- 本機でDVCAM、DVフォーマットのテープを再生する場合、DVCAM、DVフォーマットおよびLOCK MODE、UNLOCK MODEを相互に変換することはできません。

ダビングについて

本機を録画機として使用した場合の記録テープ

i.LINK入力のフォーマット	メニュー項目		記録テープのフォーマット (AUDIO MODE) ³⁾
	HDV/DV SEL	 REC MODE ¹⁾	
HDV	AUTO	—	HDV (LOCK MODE)
	HDV	—	HDV (LOCK MODE)
	DV	—	無記録
DVCAM	AUTO	DVCAM	DVCAM (入力信号に従う)
		DV SP	DV (入力信号に従う)
	HDV	—	無記録
	DV	DVCAM	DVCAM (入力信号に従う)
		DV SP	DV (入力信号に従う)
	DV	AUTO	DVCAM
DV SP			DV (入力信号に従う)
HDV		—	無記録
DV		DVCAM	DVCAM ²⁾ (入力信号に従う)
		DV SP	DV (入力信号に従う)

- 録画機として使用する場合、入力する信号フォーマットの種類がDVCAM/DVのときは[IN/OUT REC]メニューの REC MODE]の設定によって、記録するフォーマットが決まります。
- 本機を「DVCAM機」として設定し、録画機側として使用して、DVフォーマットで記録されたテープをダビングすると、作成したテープの記録フォーマットはタイムコードの書式の一部分に不整合がある（ただし、特殊な場合を除き、編集精度に影響はありません）ようなDVCAMフォーマットとなります。
- 本機でLOCK MODE、UNLOCK MODEを相互に変換することはできません。[AUDIO MODE]は入力信号に従います。

ご注意

- 本機では、i.LINKに入力されたHDVフォーマットの信号をDVCAM (DV)にダウンコンバートして記録することはできません。
- 上記2) のようなテープを編集に使用すると、再生機、録画機のフォーマットにかかわらず、機能に制約を生じることがあります。
- DVCAMフォーマットのテープを他のDV機で再生した場合、機器によっては再生できますが、再生の内容は保証されません。したがって、再生テープに正しいDVCAMフォーマットのテープを使用している場合でも、ダビングして作成されるテープはタイムコードの一部に不整合な箇所があるDVCAMフォーマットのテープとなる場合があります。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像、音声は本機では記録することができません。このような映像、音声を記録しようとすると、本機と接続した外部モニターに「Cannot record due to copyright protection. (コピープロテクトされています 記録できません)」と表示されます。

i.LINK (アイリンク) について

本機のi.LINK端子はHDV/DV端子に準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DVCAM (DV) 対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- i.LINK (アイリンク) はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100 (最大転送速度 約100 Mbps*)

S200 (最大転送速度 約200 Mbps)

S400 (最大転送速度 約400 Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100 Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については45、55ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機には対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DVCAM (DV) 対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

ご注意

- パソコン、本機にi.LINKケーブルをつなぐとき、端子の向きを確認してください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- i.LINKケーブルは、先にパソコンとつないでから本機とつないでください。先に本機をつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINKケーブルで接続する場合、i.LINKケーブルを抜き差しするときは、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。機器の電源プラグを差したままi.LINKケーブルを抜き差しすると、機器のi.LINK端子から出力している高圧電流(8~40V)が本機に流れ込み、本機の故障の原因となる恐れがあります。
- 本機のi.LINK端子は6ピンタイプですが、電源供給はされません。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製のi.LINKケーブルをお使いください。

i.LINK、はソニー株式会社の商標です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお確かめください。特に、第6章「保守・点検」に該当する項目がないか、お調べください。

それでも具合の悪いときはお問い合わせ窓口へ

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーのお問い合わせ窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカセットレコーダー補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニーのお問い合わせ窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

システム

ヘッドシステム (映像/音声、記録/再生)

回転2ヘッドヘリカルスキャン

録音方式 (HDV) MPEG-1 Audio Layer2 (2チャンネル)

MPEG-2 Audio Layer2 (4チャンネル)

16ビット48 kHz (ステレオ)

転送レート 384 kbps

録音方式 (DVCAM (DV))

12ビットFs32K (チャンネル1/2、チャンネル3/4)

16ビットFs48K (チャンネル1/2)

映像信号 1080/60i方式、NTSCカラー、EIA標準方式

1080/50i方式、PALカラー、CCIR標準方式

使用可能カセット **DVCAM** マークのついた標準DVCAMカセット

DVCAM マークのついたミニDVCAMカセット

テープ速度 (HDV) 約18.812 mm/秒

テープ速度 (DVCAM)

約28.218 mm/秒

テープ速度 (DV) 約18.812 mm/秒

録画・再生時間 (HDV)

276分 (PHDV-276DM 使用時)

63分 (PHDVM-63DM 使用時)

録画・再生時間 (DVCAM)

184分 (PHDV-276DM 使用時)

41分 (PHDVM-63DM 使用時)

録画・再生時間 (DV SP)

276分 (PHDV-276DM 使用時)

63分 (PHDVM-63DM 使用時)

AUDIO端子

アナログオーディオ入力

AUDIO IN ピンジャック×4: -10/-2/+4 dBu

インピーダンス: 47 kΩ以上、不平衡

最大入力レベル:

-10: +18 dBu (約6 Vrms)

-2: +24 dBu (約12.5 Vrms)

+4: +30 dBu (約25 Vrms)

アナログオーディオ出力

AUDIO OUT XLR型3ピン (凸) ×4
+4dBu、600 Ω 負荷
ローインピーダンス、平衡

MONITOR AUDIO

ピンジャック×1
インピーダンス: 1k Ω 以下
出力レベル: (47k Ω 負荷時、不平衡)
60i時: 8.2dBu (=フルビット: 2Vrms)
50i時: 6.2dBu (=フルビット: 1.59Vrms)

ヘッドホン出力

◻ (ヘッドホン) ステレオミニジャック×1 (∅ 3.5)
16 Ω 負荷

VIDEO端子

IN/OUT BNC型、不平衡、
ビデオ信号: 1.0 Vp-p、75 Ω、負同期
同期信号: 0.286 Vp-p (60i/NTSC)
0.3 Vp-p (50i/PAL)
バースト: 0.286 Vp-p (60i/NTSC)
0.3 Vp-p (50i/PAL)

MONITOR VIDEO 端子

ピンジャック×1、不平衡
ビデオ信号: 1.0 Vp-p、75 Ω、負同期
同期信号: 0.286 Vp-p (60i/NTSC)
0.3 Vp-p (50i/PAL)
バースト: 0.286 Vp-p (60i/NTSC)
0.3 Vp-p (50i/PAL)

S VIDEO端子

IN/OUT 4ピンミニDIN、不平衡
ビデオ信号
Y: 1.0 Vp-p、75 Ω、負同期
C: 0.286 Vp-p、バースト、75 Ω (60i/NTSC)
0.3 Vp-p、バースト、75 Ω (50i/PAL)
同期信号:
0.286 Vp-p (60i/NTSC)
0.3 Vp-p (50i/PAL)

COMPONENT OUT端子

OUT BNC型
480iNTSC出力時
[IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL]にて[BETACAM]選
択時

Y: 1.0 Vp-p
(0.286 Vp-p 負同期付き、75 Ω、不平衡)
Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y:
0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)
(7.5 IRE セットアップ付き75%カラーバー時)

[IN/OUT REC]メニューの[480i LEVEL]にて[SMPTE]選択時

Y: 1.0 Vp-p
(0.3 Vp-p 負同期付き、75 Ω、不平衡)
Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y:
0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)
(セットアップなし100%カラーバー時)

その他の出力の場合

Y: 1.0 Vp-p (75 Ω、不平衡)
Pb/Cb/B-Y、Pr/Cr/R-Y:
0.7 Vp-p (75 Ω、不平衡)
(セットアップなし100%カラーバー時)
480i/480pはYに0.3 Vp-p 負同期付き
1080i/720pはY/Pb/Prに0.6 Vp-pの3値同期
付き

i HDV/DV端子

i.LINK (IEEE1394、6ピンコネクター S100)

HD/SD SDI OUT端子

BNC型×1
SD-SDI:
SD-SDIフォーマット SMPTE259M-C
(270Mbps)
HD-SDI:
HD-SDIフォーマット SMPTE292M

AES/EBU OUT端子

BNC型×2
AES-3id-1995

TC OUT端子

BNC型×1
2.2 Vp-p、600 Ω / 1.2 Vp-p、75 Ω
0.5 Vp-p ~ 4 Vp-p (スルー出力、600 Ω)

(続く)

仕様

リモートコントロール端子

LANC ステレオミニミニジャック (ø 2.5)

CONTROLS IN ステレオミニジャック (ø 3.5)

液晶画面

画面サイズ:

6.7 cm (2.7型、アスペクト比 16:9)

総ドット数: 211 200ドット

横 960 × 縦 220

電源部・その他

電源 AC100 V、50/60 Hz

消費電力 13W (再生時)

許容動作温度 5 °C ~ 40 °C

許容保存温度 - 20 °C ~ 60 °C

最大外形寸法 212 × 98 × 390.3 mm (幅 / 高さ / 奥行き)

(最大突起含む)

本体質量 約 4.4 kg

付属品 リモコン (1)

電源ケーブル (1)

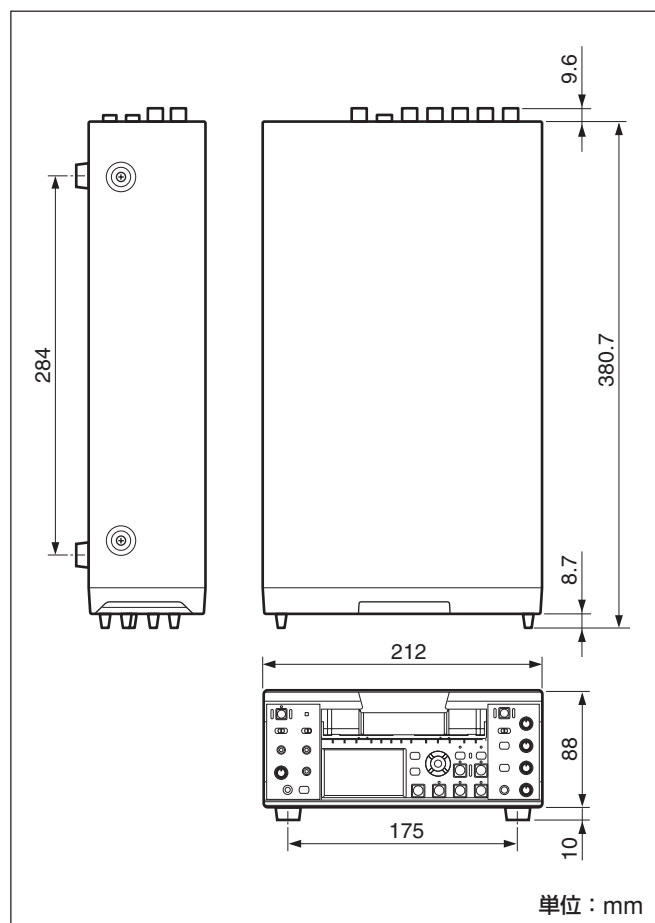
クリーニングカセット (1)

取扱説明書 (1)

保証書 (1)

ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



索引

◆ サブメニュー項目についてはサブメニュー索引 (105 ページ) をご覧ください。

あ

頭出し	39
アナログ信号出力	
再生時	33
EE モード時	31
アフレコ	61
アンロックモード	31
インジケータ部	14
インデックスサーチ	39
インデックス信号	47
液晶画面	94
エッジクロップマーカー	42
オーディオ画面	25
オーディオモード表示	24
オートリピート	27, 40
お知らせメッセージ	90
音声ダビング	61

か

各部の名称と働き	6
カスタムリピート	27, 40
カセット	28
入れる／取り出す	29
困ったときは	85
使用上の注意	93
カセットメモリー	28
記録	44
困ったときは	88
記録フォーマット	31
記録時	32
クリーニングカセット	92
警告表示	90
結露	94
コマ送り	38
困ったときは	83

さ

サーチ	39
再生	35
困ったときは	85
再生ズーム	39
時刻合わせ (CLOCK SET)	81
自己診断表示	90
出力信号	
再生時	33
EE モード時	31
仕様	100
ステータスチェック画面	25
スピーカー	8
スピーカーレベル調節	7
スロー	38
絶縁シート	22
接続	35, 44
前面パネル	6

た

タイマー	48
タイムコード	49
出力	54
状態別一覧	53
選択	51
ダビング	56
i.LINK 出力	97
i.LINK 入力	98
S VIDEO/VIDEO 端子	96
著作権について	30
定期点検	95
データコード	38
データ表示画面	23
テープ残量表示	24
デジタル時間計	95
デジタル信号出力	
再生時	34
EE モード時	31
デュプリケート	57
警告表示	60
複数のカセットから	59
無記録部分の検出	59
電源	29
困ったときは	84
電池交換	22

な

内蔵タイムコードジェネレーター	49
内蔵電池	95
入力信号	
記録時	32
EE モード時	31

は

背面パネル	16
パソコン (編集機)	63
日付サーチ	39
フレームモード	52
ヘッドホン端子	7
ヘッドホンレベル調節	7
編集	63
パソコンから取り込む	64
パソコンに取り込む	64
変速再生	38
変速再生用ボタン	21
保守・点検	83
歩進モード	52

ま

ミニDV CAM カセット	28
メニュー	65
構成	66
項目	67
設定変更	65
プロファイル保存	65
AUDIO SET	75
DISPLAY SET	73
IN/OUT REC	67
OTHERS	80
TC/UB SET	78
VTR SET	76
メニュー画面	23
文字情報表示	23

や

ユーザービット	49
---------------	----

5

ライセンス	95
リモコン	21
レコーダー	44
連動マーク	26
ロックモード	31

A

AC IN 端子	16
AES/EBU	5
AES/EBU OUT 端子	16
ASSIGN ボタン設定値表示	27
AUDIO DUB ボタン	11
AUDIO INPUT スイッチ	13
AUDIO IN 端子	20
AUDIO MONITOR SELECT スイッチ	7
AUDIO OUT 端子	20
AUDIO REC LEVEL つまみ	13
AUDIO SET メニュー	75

C

COMPONENT OUT 端子	19
CONTROL S 端子	17
COUNTER SELECT ボタン	10, 22

D

DATA CODE ボタン	21
DF (Drop Frame)	31
DISPLAY OUTPUT スイッチ	8
DISPLAY SET メニュー	73
DISPLAY ボタン	10
DOWN CONVERT	68, 69
DUPLICATE PLUS	57
DUPLICATE ボタン	11
DVCAM カセット	28
DVCAM フォーマット	4, 31
DV カセット	28
DV フォーマット	4, 31

E

EE モード	9
EJECT ボタン	30
END SEARCH	80
END SEARCH ボタン	22
EXEC ボタン	9

F

FF ボタン	12
FS32K	46
FS48K	46

H

HD/SD SDI OUT 端子	18
HDV/DV 端子	17
記録	45
再生	36
ダビング	55
編集	63
HDV フォーマット	4, 31

I

i.LINK	99
→HDV/DV 端子	
IN/OUT REC メニュー	67
INDEX MARK ボタン	22
INDEX ボタン	8
INPUT SELECT スイッチ	8

K

KEY INH スイッチ	6
--------------	---

L

LANC 端子	18
LCD モニター	9

M

MARKER BURN	43
MENU ボタン	9
MONITOR AUDIO 端子	16
MONITOR VIDEO 端子	16

N

NDF (Non Drop Frame)	31
----------------------	----

O

ON/STANDBY スイッチ	6
OTHERS メニュー	80

P

PAUSE ボタン	12
PB ZOOM	80
PLAY ボタン	12
POWER スイッチ	17

R

REC ボタン	12
REPEAT CYCLE	40
REPEAT TIMES	40
RESET ボタン	18
カウンターリセット	9
REW&PLAY ボタン	22
REW ボタン	12

S

S VIDEO 端子	19
SDI	5
SEARCH SELECT ボタン	21
SHUTTLE MAX ボタン	22
START TIME	40
STATUS CHECK ボタン	9
STOP ボタン	12

T

TC OUT 端子	16
TC/UB SET メニュー	78
TIMER スイッチ	7

V

VIDEO 端子	19
VTR SET メニュー	76

X

x.v.Color 再生	30
--------------	----

サブメニュー索引

数字

480i LEVEL	72
60i/50i SEL	82

A

AC ON MODE	81
AGC CH1, 2	75
AGC CH3, 4	75
ALLSCAN MODE	73
ASSIGN BTN	80
AUDIO LOCK	75
AUDIO MODE	75
AUTO INDEX	76
AUTO STANDBY	81

C

CLOCK SET	81
COLOR BAR	71
COMMANDER	80
COUNTER SET	73
CROP ADJUST	69
CROP MARKER	70
CUSTOM REPEAT	76

D

DATA CODE	73
DATE DISPLAY	74
DUPLICATE PLUS	76

E

EE/PB SEL	72
-----------------	----

F

FF/REW SPEED	77
FROM REC P	77
FROM STILL	77

H

HDV/DV IN TC	78
HDV/DV SEL	67
HOURS METER	81

I

i.LINK SET	69
INITIALIZE	82

J

JOG AUDIO	75
JOG TC OUT	79

L

LANGUAGE	80
LCD BLACK	74
LCD BRIGHT	74
LCD COLOR	74
LETTER SIZE	73

M

MARKER BURN	73
-------------------	----

P

PB CNR	81
PB YNR	81

R

REC MODE	67
REMAINING	74

S

SPEAKER/BEEP	81
STILL PICT	76
STILL TIME	77

T

TC FORMAT	79
TC MAKE	79
TC PRESET	78
TC RUN	78
TIME DISPLAY	74

U

UB PRESET	78
-----------------	----

V

VCR PROFILE	82
VIDEO OUT	68

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、
VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキ
を使用しています。

Printed in Japan



3276290020